

# 四日市市

## 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報 (平成 30 年度版三重県市町要覧による)

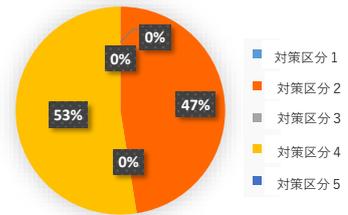
市町名	四日市市	三重県
人口 (人)	310,255	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	12.8%	12.4%
森林面積 (ha)	2,865.41	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	2,557.33	348,833.49
森林率 (%)	14.0%	64.0%
都市公園面積 (m <sup>2</sup> /人口) * 3	10.1	10.1

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

## 対策区別別事業費割合 ★①-5、②-5



## 2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	2	小学校支障木伐採業務委託	3,388,000	3,388,000		3,388,000				
2	2	中学校支障木伐採業務委託	4,151,400	4,151,400		4,151,400				
3	2	都市公園危険木処理事業	4,394,500	4,394,500		4,394,500				
4	2	里山・竹林環境保全支援事業	1,623,653	1,206,000		1,206,000				
5	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	9,798,800	2,449,700		2,449,700				
6	4	市民活動センター運営事業	929,500	929,500				929,500		
7	4	一般備品整備事業(小学校)	7,032,520	7,032,520				7,032,520		
8	4	一般備品整備事業(中学校)	9,270,030	9,270,030				9,270,030		
計			40,588,403	32,821,650	0	15,589,600	0	17,232,050	0	0

## 3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>本市は、東側に伊勢湾、西側に鈴鹿山脈に接し伊勢湾沿いには石油化学工業等の発達した中核都市です。四日市市総合計画の基本構想で「環境・防災先進都市」を将来都市像の一つに位置付けており、公害の歴史と教訓から、豊かな環境を基本とした都市整備と、防災力強化を両軸に、快適性と安全・安心が高い水準で保たれたまちづくりを目指しています。</p> <p>みえ森と緑の県民税市町交付金を活用することにより、都市公園や地域の里山や竹林を整備し、緑にふれあう環境を整えるとともに、公共施設等での県産材の利用を進めることにより、森への関心、木材利用の意義への理解を深め、緑を身近に感じ大切にしていくことのできる社会づくりを推進します。</p>
事業実施により期待される効果
<p>森林整備を行ったことにより、地域住民の生活の安全性が確保されたとともに、整備された場所は子供の遊び場としても利用され、子供が森林にふれあう場を作ることができた。</p> <p>木製品を導入したことにより、施設利用者に森林や木材について学び、ふれあう場を提供することができた。</p>
情報発信への取組
<p>みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図るためHPの掲載や、導入した木製品へのロゴマークの焼き印などをつけた。</p>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	③ 私有林整備	497	497
2	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	1,628	1,628
3	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	4,975	4,975
4	① 意向調査の準備作業	6,792	6,792
5	⑰ 基金積立 (森林整備等)	22,382	22,382
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	36,274	36,274

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	小学校支障木伐採業務委託					
事業費	3,388,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,388,000			

1. 事業の目的						
<p>四日市市立各小学校において、支障木や危険木の伐採等を行うことにより、台風や強風に起因する倒木や枝折れによる被害を未然に防ぎ、学校関係者の安全を確保する。</p>						
2. 事業実績概要						
【事業内容】						
<p>長年手つかずのまま大きくなりすぎた支障木・危険木の伐採等を行い、倒木や折れ枝等の被害を予防的に防ぐ。</p>						
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】						
<p>四日市市</p>						
【実施個所及び箇所数】						
<p>2校 (小山田小学校・大谷台小学校)</p>						
【事業量】						
<p>小山田小学校 伐採10本 大谷台小学校 伐採22本 処理5本</p>						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
【事業実施により期待される効果】						
<p>長年手つかずのまま大きくなりすぎた支障木・危険木の伐採等を行い、倒木や折れ枝等の被害を予防的に防いだ。 それにより、学校敷地内の安全が確保され、児童生徒がより安心して校庭等を利用できるようになった。</p>						
【効果を発揮させるための工夫・取組】						
<p>教頭だけでなく、用務員等その学校に長年勤務する職員と帯同して学校敷地内を点検することによって、支障木や潜在的に危険のある樹木を発見しやすくしている。</p>						
【新たな対策・視点及び改善点】						
<p>長年手つかずのまま大きくなりすぎた支障木・危険木の伐採等を行い、倒木や折れ枝等の被害を予防的に防いだ。 既に取り入れた学校からは好評の声が上がっているため、上記の学校でも取り入れた。</p>						

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市		新規・継続の別	継続
番号	事業名						
1	小学校支障木伐採業務委託						
事業費	3,388,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金		その他	
			3,388,000				
<b>4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】</b>							
<b>【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】</b>							
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考		
	委託事業	造園業者	補助事業ではない				
<b>【委託先及び補助対象者等の選定理由】</b>							
一般競争入札							
<b>【主な経費内訳】</b>							
(別紙のとおり)							
<b>5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】</b>							
<b>【受益者及び、期待する波及効果】</b>							
	受益者	小山田小学校 350人 大谷台小学校 1,100人					
	期待する波及効果	保護者等の学校利用者の安全が確保される					
<b>【公的関与の必要性】</b>							
市有施設であるため							
<b>【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元ボランティア団体やPTAなどによる奉仕活動、NPO団体及び市費による対応</li> <li>・市立小学校であるため、転用が想定されず、該当しない。</li> </ul>							
<b>6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】</b>							
<b>【情報発信の内容】</b>							
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）					
施工看板に掲示	実施中	小学校関係者					
HP掲載	実施前・後	小学校関係者					
<b>7. 写真及びその他資料</b>							
別紙のとおり							
<b>8. その他特記事項（受益者の反応等）</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幹の中が朽ちているものもあり、倒れる前に切っただいてよかった」</li> <li>・「運動場の南側がすっきりした」</li> </ul>							

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
事業名	小学校支障木伐採業務委託		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
<b>【小山田小学校】</b>						
支障木伐採	30 ≦ C < 60	本	2.00	3,900	7,800	
	60 ≦ C < 90	本	2.00	9,700	19,400	
	90 ≦ C < 120	本	2.00	18,500	37,000	
	120 ≦ C < 150	本	2.00	47,500	95,000	
	150 ≦ C < 180	本	2.00	105,500	211,000	
薬液注入	30 ≦ C < 60	本	2.00	3,200	6,400	
	60 ≦ C < 90	本	2.00	4,000	8,000	
	90 ≦ C < 120	本	2.00	4,700	9,400	
	120 ≦ C < 150	本	2.00	5,400	10,800	
	150 ≦ C < 180	本	2.00	6,300	12,600	
樹木処分		式	1.00		70,929	
諸経費	共通仮設費	式	1.00		48,327	
	現場管理費	式	1.00		213,169	
	一般管理費	式	1.00		176,175	
	消費税	式	1.00		92,600	
<b>【大谷台小学校】</b>						
支障木伐採	30 ≦ C < 60	本	10.00	3,900	39,000	
	90 ≦ C < 120	本	2.00	18,500	37,000	
	120 ≦ C < 150	本	4.00	47,300	189,200	
	150 ≦ C < 180	本	2.00	105,200	210,400	
支障枝処理	60 ≦ C < 90	本	1.00	6,300	6,300	
	120 ≦ C < 150	本	1.00	30,800	30,800	
	150 ≦ C < 180	本	3.00	51,600	154,800	
伐根	90 ≦ C < 120	本	1.00	43,000	43,000	
	120 ≦ C < 150	本	3.00	77,900	233,700	
樹木処分		式	1.00		134,356	
諸経費	共通仮設費	式	1.00		173,000	
	現場管理費	式	1.00		490,115	
	一般管理費	式	1.00		412,329	
	消費税	式	1.00		215,400	
				合計	3,388,000	

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	小学校支障木伐採業務委託
-----	--------------

## 7の(1). 写真



写真1

小山田小学校・着工前 (伐採)



写真2

小山田小学校・着工後 (伐採)



写真3

小山田小学校・薬液注入



写真4

小山田小学校・工事看板



写真5

大谷台小学校・着工前 (剪定)



写真6

大谷台小学校・着工後 (剪定)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	小学校支障木伐採業務委託
-----	--------------

7 の ( 1 ) . 写真



写真7  
大谷台小学校・着工前 (伐採)



写真8  
大谷台小学校・着工後 (伐採)



写真9  
大谷台小学校・着工前 (伐採)



写真10  
大谷台小学校・着工後 (伐採)



写真11  
大谷台小学校・工事看板



写真12  
大谷台小学校・工事看板

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	小学校支障木伐採業務委託
-----	--------------

7 の (1) . 写真



「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」

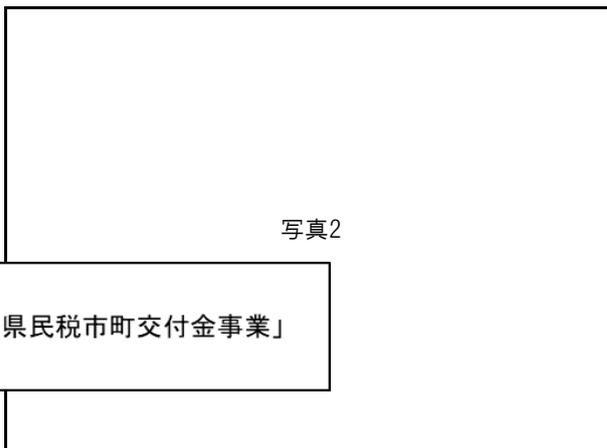


写真2

写真1  
小山田小学校・工事看板

写真2



写真3



写真4

写真3

写真4



写真5



写真6

写真5

写真6

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	小学校支障木伐採業務委託
-----	--------------

## 7 の ( 2 ) . その他資料

## 【小山田小学校 学校ホームページより】

2022/11/10 樹木伐採 | by 小山田小教職員

11月7日(月)～9日(水)の3日間、「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を活用し、敷地内の樹木伐採を行っていただきました。  
伐採していただく樹木は、子どもたちの安全を守るという観点で選びました。

1つ目は、校舎東側に生えていた、大きなナンキンハゼです。



写真に写っている3階、4階の窓の場所には、火災時に使用する避難用の救助袋が設置されています。万が一の場合、使用する際に救助袋が引っかかったりする恐れがあるということで、今回伐採していただきました。



伐採は、一気に根元から切り倒すのではなく、少しずつ枝を切り落としながら、時間をかけて行われました。



作業が終わると、こんなにも窓がはっきり見え、すっきりした景観になりました。

## 【大谷台小学校 学校ホームページより】

日誌

学校の様子 >> 記事詳細 < 前の記事へ 次の記事へ >

2022/09/27 樹木伐採 | by 大谷台小HP管理者

9月26日(月)  
校庭にあるサワグルミの木が大きく育ち、根が張りすぎ校庭下の道路まで伸びてしまっているため、「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を活用して、伐採していただくことになりました。  
チェーンソーで枝を払い、最後に太い幹を根元から切って、クレーン車で釣り上げてトラックに乗せるという作業をしていただきました。太い幹ですが、中には幹の中が朽ちているものもあり、倒れる前に切っていただいていたと思います。  
子どもたちには危険なので近寄らないようにと言いましたが、作業をしている方の姿から学べることもあると感じました。チェーンソーで木を切る様子や、クレーン車で安全に気を付けて木を吊り上げる様子や、周りの枝をパッカー車で処分する様子など、30分ほど見入ってしまいました。  
12本伐採していただく予定で、運動場の南側がすっきりします。





第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	中学校支障木伐採業務委託					
事業費	4,151,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,151,400			

1. 事業の目的						
<p>四日市市立各中学校において、支障木や危険木の伐採等を行うことにより、台風や強風に起因する倒木や枝折れによる被害を未然に防ぎ、学校関係者の安全を確保する。</p>						
2. 事業実績概要						
【事業内容】						
<p>長年手つかずのまま大きくなりすぎた支障木・危険木の伐採等を行い、倒木や折れ枝等の被害を予防的に防ぐ。</p>						
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】						
四日市市						
【実施個所及び箇所数】						
2校 (塩浜中学校・三重平中学校)						
【事業量】						
塩浜中 伐採42本						
三重平中 伐採29本 処理1本						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
【事業実施により期待される効果】						
<p>長年手つかずのまま大きくなりすぎた支障木・危険木の伐採等を行い、倒木や折れ枝等の被害を予防的に防いだ。</p> <p>それにより、学校敷地内の安全が確保され、児童生徒がより安心して校庭等を利用できるようになった。</p>						
【効果を発揮させるための工夫・取組】						
<p>教頭だけでなく、用務員等その学校に長年勤務する職員と帯同して学校敷地内を点検することによって、支障木や潜在的に危険のある樹木を発見しやすくしている。</p>						
【新たな対策・視点及び改善点】						
<p>長年手つかずのまま大きくなりすぎた支障木・危険木の伐採等を行い、倒木や折れ枝等の被害を予防的に防いだ。</p> <p>既に取り入れた学校からは好評の声が上がっているため、上記の学校でも取り入れた。</p>						

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
2	中学校支障木伐採業務委託				
事業費	4,151,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,151,400		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札

【主な経費内訳】  
(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	塩浜中学校 200人 三重平中学校 500人
期待する波及効果	保護者等の学校利用者の安全が確保される

【公的関与の必要性】

市有施設であるため

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

- ・地元ボランティア団体やPTAなどによる奉仕活動、NPO団体及び市費による対応
- ・市立中学校であるため、転用が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	中学校関係者
HP掲載	実施前・後	中学校関係者

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

- ・「倒木や枯葉掃除等の心配が大きく減った」
- ・「作業によって敷地内がすっきりした感じになり、より明るくなった」

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
事業名	中学校支障木伐採業務委託		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
<b>【塩浜中学校】</b>						
支障木伐採	30 ≦ C < 60	本	10.00	3,900	39,000	
	60 ≦ C < 90	本	16.00	9,800	156,800	
	90 ≦ C < 120	本	11.00	18,500	203,500	
	120 ≦ C < 150	本	5.00	37,700	188,500	
薬液注入	キョウチクトウ	本	1.00	900	900	
	30 ≦ C < 60	本	7.00	3,200	22,400	
	60 ≦ C < 90	本	11.00	4,100	45,100	
	90 ≦ C < 120	本	6.00	4,700	28,200	
	120 ≦ C < 150	本	1.00	5,500	5,500	
伐根		本	2.00	45,100	90,200	
樹木処分		式	1.00	157,509	157,509	
諸経費	共通仮設費	式	1.00		109,783	
	現場管理費	式	1.00		451,236	
	一般管理費	式	1.00		349,372	
	消費税	式	1.00		184,800	
<b>【三重平中学校】</b>						
支障木伐採	30 ≦ C < 60	本	5.00	3,900	19,500	
	60 ≦ C < 90	本	16.00	9,700	155,200	
	90 ≦ C < 120	本	3.00	18,400	55,200	
	120 ≦ C < 150	本	3.00	43,700	131,100	
	150 ≦ C < 180	本	1.00	93,700	93,700	
	210 ≦ C < 240	本	1.00	262,500	262,500	
薬液注入	30 ≦ C < 60	本	1.00	3,200	3,200	
	60 ≦ C < 90	本	1.00	4,000	4,000	
	120 ≦ C < 150	本	1.00	5,400	5,400	
	150 ≦ C < 180	本	1.00	6,200	6,200	
	210 ≦ C < 240	本	1.00	7,500	7,500	
支障枝処理		式	1.00		60,000	
樹木処分		式	1.00		119,639	
諸経費	共通仮設費	式	1.00		116,250	
	現場管理費	式	1.00		517,221	
	一般管理費	式	1.00		369,390	
	消費税	式	1.00		192,600	
合計					4,151,400	

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	中学校支障木伐採業務委託
-----	--------------

7 の ( 1 ) . 写真



写真1

塩浜中学校・着工前 (伐採)



写真2

塩浜中学校・着工後 (伐採)



写真3

塩浜中学校・薬液注入



写真4

塩浜中学校・工事看板



写真5

写真5



写真6

写真6

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	中学校支障木伐採業務委託
-----	--------------

## 7の(1). 写真



写真7

三重平中学校・着工前 (伐採)



写真8

三重平中学校・着工後 (伐採)



写真9

三重平中学校・着工前 (伐採)



写真10

三重平中学校・着工後 (伐採)



写真11

三重平中学校・薬液注入



写真12

三重平中学校・工事看板

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	中学校支障木伐採業務委託
-----	--------------

7 の (1) . 写真



写真7  
三重平中学校・工事看板



写真3

写真9



写真5

写真11



写真8



写真4

写真10



写真6

写真12

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	中学校支障木伐採業務委託
-----	--------------

## 7 の ( 2 ) . その他資料

## 【塩浜中学校 学校ホームページより】

2022/12/08 ■ 塩浜中学校林整備事業 | by 教頭

「みえ森と緑の県民税市町交付金」で、12月5日(月)～7日(水)に名阪造園さんに敷地内の比較的大きな樹木を伐採していただきました。道路に少しはみ出している樹木もあったため、作業によって敷地内がすっきりした感じになり、より明るくなりました。名阪造園さん、寒い中での作業ありがとうございました。<伐採前①>



<伐採後①>



2022/11/20 ■ 樹木伐採

| by 校長

このたび「みえ森と緑の県民税市町村交付金事業」の一環として、敷地内の樹木伐採を行っていただきました。毎年の剪定作業では手に負えない、土手の上のフェンス際の大木を数本(東側のケヤキ、南側のクス、西側のポプラ)を伐採していただき、倒木や枯葉掃除等の心配が大きく減りました。



06:38

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	都市公園危険木処理事業					
事業費	4,394,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,394,500			

## 1. 事業の目的

泊山霊園緑地、三重城山緑地等において、危険木の伐採をおこなうことで、台風に起因する倒木や枝折れを未然に防ぎ、利用者の安全を確保する。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

泊山霊園緑地、三重城山緑地等における樹木等の伐採作業等について、業者に委託する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

四日市市

## 【実施箇所及び箇所数】

泊山霊園緑地、三重城山緑地、美里ヶ丘 1 号緑地、市管理緑地、納屋防災緑地

## 【事業量】

危険木伐採 7本ほか一式、支障枝処理 58本

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

利用者及び通行者の安全性が確保され、利用者が安心して公園を利用することができる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

利用者が多い箇所に近接する枯木を優先的に伐採する。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

枯れそうな樹木を早期に発見し、倒木による事故を未然に防ぐよう努める。

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市		新規・継続の別	継続
番号	事業名						
3	都市公園危険木処理事業						
事業費	4,394,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金		その他	
			4,394,500				
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】							
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】							
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考		
	委託事業	造園業者	補助事業ではない				
【委託先及び補助対象者等の選定理由】							
園路脇等の伐採作業は高度の技術を要するため、現場経験豊富な地元造園業者へ委託した。							
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)							
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】							
【受益者及び、期待する波及効果】							
	受益者	利用者（約30万人）					
	期待する波及効果	今後の都市公園利用者及び周辺の住居等の安全が確保される					
【公的関与の必要性】							
公共施設である公園等の利用者の安全を確保する必要があるため。							
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】							
特になし。							
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】							
【情報発信の内容】							
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）					
HP掲載	今後（秋季）	みえ森と緑の県民税を活用した取組としてホームページに掲載する。					
7. 写真及びその他資料							
別紙のとおり							
8. その他特記事項（受益者の反応等）							
地元自治会や公園利用者から、安全に公園を利用できるようになったという声が寄せられた。							

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
事業名	都市公園危険木処理事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

## 三重城山緑地①

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採(90≦C<120、準備工含む)	本	1	130,000	130,000	
機械経費・諸経費	式	1	45,000	45,000	
消費税	式	1		17,500	
事業費				192,500	

## 美里ヶ丘 1 号緑地

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採(60≦C<90、運搬・処分含む)	本	1	25,000	25,000	
諸経費	式	1	15,000	15,000	
消費税	式	1		4,000	
事業費				44,000	

## 泊山霊園緑地

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採	本	4	35,000	140,000	
諸経費	式	1	10,000	10,000	
消費税	式	1		15,000	
事業費				165,000	

## 市管理緑地

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採	式	1	350,000	350,000	
諸経費	式	1	100,000	100,000	
消費税	式	1		45,000	
事業費				495,000	

## 三重城山緑地②

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採(運搬・処分含む)	本	1	28,000	28,000	
機械経費・諸経費	式	1	35,000	35,000	
消費税	式	1		6,300	
事業費				69,300	

## 納屋防災緑地

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
支障木処理(C<30)	本	1	1,726	1,726	
支障木処理(30≦C<60)	本	4	3,318	13,272	
支障木処理(60≦C<90)	本	11	6,360	69,960	
支障木処理(90≦C<120)	本	19	16,584	315,096	
支障木処理(120≦C<150)	本	16	30,838	493,408	
支障木処理(150≦C<180)	本	5	51,603	258,015	
支障木処理(180≦C)	本	2	76,458	152,916	
運搬・処分費	式	1	253,676	253,676	
諸経費	式	1	1,558,931	1,558,931	
消費税	式	1		311,700	
事業費				3,428,700	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	都市公園危険木処理事業
-----	-------------

## 7 の ( 1 ) . 写真

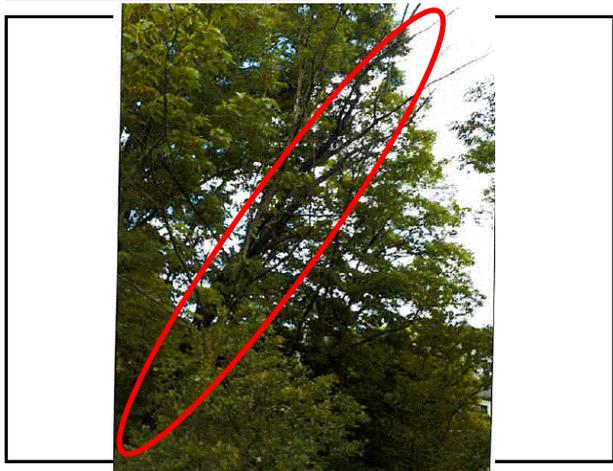


写真1

三重城山緑地① 伐採前

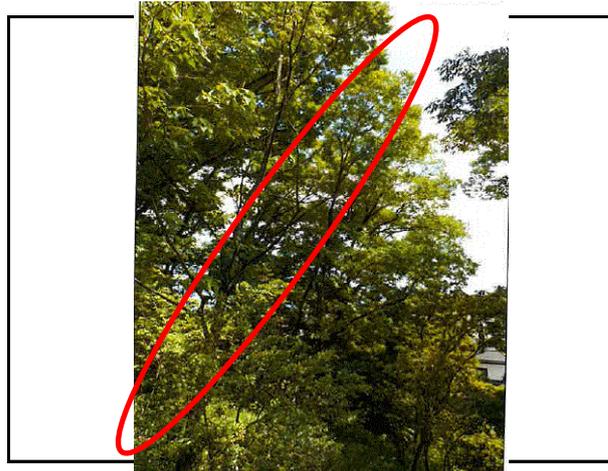


写真2

三重城山緑地① 伐採後

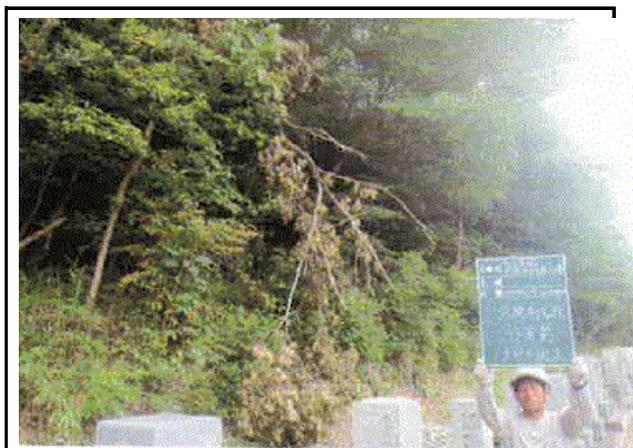


写真3

泊山霊園緑地 伐採前

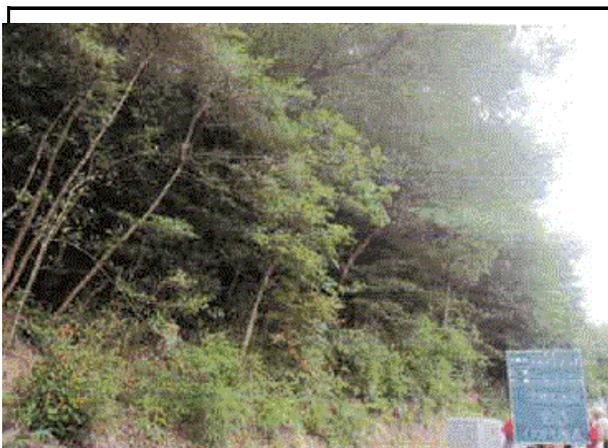


写真4

泊山霊園緑地 伐採後

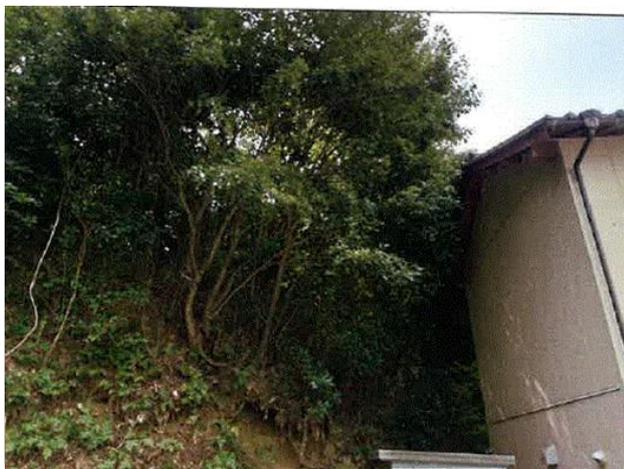


写真5

市管理緑地 伐採前



写真6

市管理緑地 伐採後

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	都市公園危険木処理事業
-----	-------------

7 の (1) . 写真



写真1  
三重城山緑地② 伐採前



写真2  
三重城山緑地② 伐採後



写真3  
納屋防災緑地 処理前



写真4  
納屋防災緑地 処理後



写真5

写真5



写真6

写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	里山・竹林環境保全支援事業					
事業費	1,623,653 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,206,000		417,653	

## 1. 事業の目的

市内の里山保全活動団体等が地域住民の憩いの場としての利用や安全性の確保を目的として、自主的に里山や竹林を整備する取組みを支援して、持続的な活動に資することを目的とする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

市内の地域団体が自主的に里山や竹林を整備する取組みに対して、事業費の一部を支援する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

自治会等の地域団体

## 【実施個所及び箇所数】

4箇所

## 【事業量】

<中村町自主防災クリーン隊> 事業費：296,636円 うち補助金：222,000円

<山一里地・里山クラブ> 事業費：680,307円 うち補助金：500,000円

<四日市メリノール学院> 事業費：605,244円 うち補助金：453,000円

<桜自然塾> 事業費：41,466円 うち補助金：31,000円

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

荒廃した里山や竹林が再生され、憩いの場や安全性が確保されるとともに、生物多様性の保存に資することが期待できる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

市民センターに周知を図る。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

- ・市民への事業のPR
- ・申請者が3団体から4団体に増加した。

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	里山・竹林環境保全支援事業					
事業費	1,623,653 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,206,000		417,653	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	自治会等	3/4以内	500,000	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

公募による実施

【主な経費内訳】  
(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	中村町：約442名 平尾町：約626名 山之一色町：約551名 桜町西：約648名
期待する波及効果	倒竹除去により下草刈りが可能、道路の見通しがよくなる等

【公的関与の必要性】

荒廃した里山や竹林を再生させることで市民生活の安全性や生物多様性を確保することができる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

当該地の転用規制等は困難であるが、適正利用について確認済みである。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後（今秋）	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、ホームページに掲載する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

- ・「スッキリしてきれいになった。」
- ・「町内の景観が良くなった。」



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	里山・竹林環境保全支援事業
-----	---------------

## 7 の ( 1 ) . 写真



写真1

中村町自主防災クリーン隊活動前



写真2

中村町自主防災クリーン隊活動後



写真3

メリノール学院 活動前



写真4

メリノール学院 活動後



写真5

中村町自主防災クリーン隊

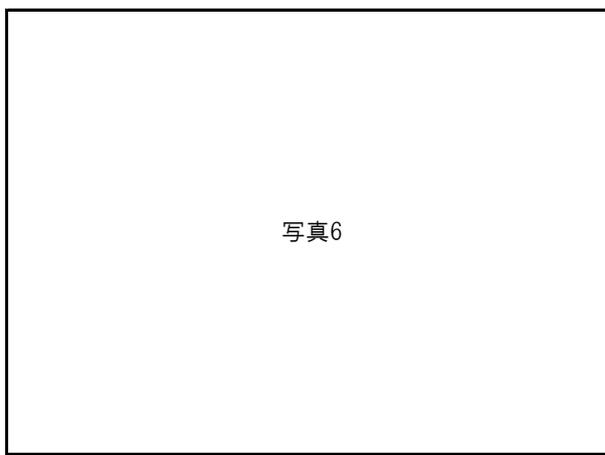


写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
5	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	9,798,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,449,700		7,349,100	

1. 事業の目的						
<p>市内において、台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採し、ライフラインの維持及び住民の生命や財産を守ることを目的にする。</p>						
2. 事業実績概要						
【事業内容】						
<p>台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採する。</p>						
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】						
四日市市						
【実施個所及び箇所数】						
1 箇所						
【事業量】						
樹木伐採 122 本 樹木枝払 2 本						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
【事業実施により期待される効果】						
<p>ライフラインが寸断される恐れのある樹木を除去することで近隣住民の安全性が確保された。</p>						
【効果を発揮させるための工夫・取組】						
<p>ライフライン事業者、県と協議し効果の高い事前伐採地域を検討した。</p>						
【新たな対策・視点及び改善点】						
<p>電力会社、県と共に伐採する地域、樹木の検討を早期から行った。</p>						

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
5	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事業費	9,798,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,449,700		7,349,100

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	智積町：約1,907名	川島町北部：約1,247名
期待する波及効果	市民の安全性確保	

## 【公的関与の必要性】

ライフラインが寸断される恐れのある樹木を除去することで市民の安全性を確保することができる。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

当該地の転用規制等は困難であるが、適正利用について確認済みである。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後(今秋)	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図る。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

- ・「全体的にスッキリした。」
- ・「電線に接触していた樹木が除去されたため、火災の心配がなくなった。」



第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の (1) . 写真



写真1  
伐採前



写真2  
伐採後



写真3  
伐採前



写真4  
伐採後



写真5



写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
6	市民活動センター運営事業					
事業費	929,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			929,500			

1. 事業の目的						
<p>市民活動の拠点である市民活動センター「なやプラザ」において、施設の利用促進を目的として、来館者にとってさらに魅力のある空間とするために三重県材を活用した木製家具を導入することで、施設利用者に対し、森林や木材について学び、ふれあう機会を提供し、森林に対する県民の意識向上に繋げる。</p>						
2. 事業実績概要						
【事業内容】						
<p>令和元年度に三重県材を用いた机及び椅子を導入、令和2年度に木質床パネル設置、令和3年度に木質ルーバーパネルを設置した市民活動センター「なやプラザ」内のフリースペースおよび共有エリアに県材木製家具を新たに導入する。</p>						
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】						
四日市市						
【実施個所及び箇所数】						
1 箇所						
【事業量】						
県産材ソファ：3 台、県産材サイドテーブル：2 台、県産材書類棚：1 台						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
【事業実施により期待される効果】						
<p>三重県材を活用した家具を配置することにより、施設利用者には、森林や木材について学び、ふれあう機会を提供し、森林の役割や木材利用の意義について考えるきっかけとなることが期待される。</p>						
【効果を発揮させるための工夫・取組】						
<p>施設利用者に対し、三重県材を活用した家具を導入したフリースペースの利用を呼びかける中で、令和3年度以前に導入した木製設備・家具等が整備されている旨も積極的に周知していく。また、パンフレットスタンドを活用し事業チラシ・環境分野の市民活動団体の資料を配架するなど森林や木材について学べる場所としても展開していく。</p>						
【新たな対策・視点及び改善点】						
来館者にとって魅力ある空間となるよう、三重県材を活用したエリアをさらに拡充した。						

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
6	市民活動センター運営事業				
事業費	929,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			929,500		
<b>4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】</b>					
<b>【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】</b>					
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
物品購入	その他	補助事業ではない			
<b>【委託先及び補助対象者等の選定理由】</b>					
本市の過去の交付金事業において入札のあった事業者など、県産材を活用した事業について対応可能な事業者から、見積合せにより選定。					
<b>【主な経費内訳】</b>					
(別紙のとおり)					
<b>5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】</b>					
<b>【受益者及び、期待する波及効果】</b>					
受益者	施設利用者（R4年度：36,656人/年間）				
期待する波及効果	施設利用者からの口コミによる波及効果も期待できる				
<b>【公的関与の必要性】</b>					
本市が管理する公的施設の施設整備の一環として実施する事業であるため。					
<b>【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】</b>					
当該施設は指定管理による運営となっているため、当該事業において導入した木製家具は、指定管理者により長期にわたり利用できるよう適正に管理を行う。					
<b>6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】</b>					
<b>【情報発信の内容】</b>					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
ロゴマーク掲示	実施後	交付金事業による導入品であることを示すシールを木製家具に貼付する			
広報誌掲載	実施後	施設の広報紙に「みえ森と緑の県民税」を活用し、木製家具を導入したことを掲載するなどして周知を図る。			
<b>7. 写真及びその他資料</b>					
別紙のとおり					
<b>8. その他特記事項（受益者の反応等）</b>					
木の温もりを感じると好評である。					



## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	市民活動センター運営事業
-----	--------------

## 7の(1). 写真



写真1

導入した木製家具(フリースペース全景)



写真2

県産材ソファ

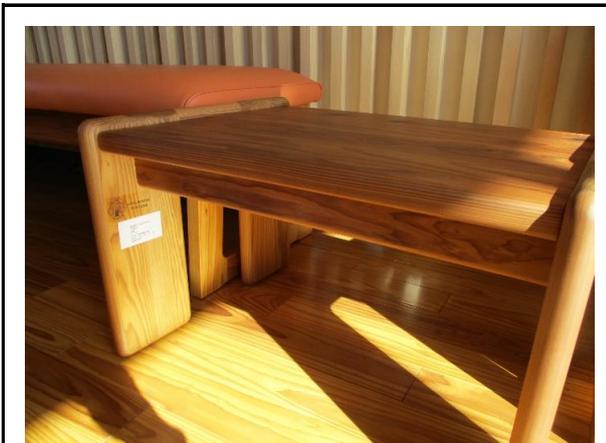


写真3

県産材サイドテーブル

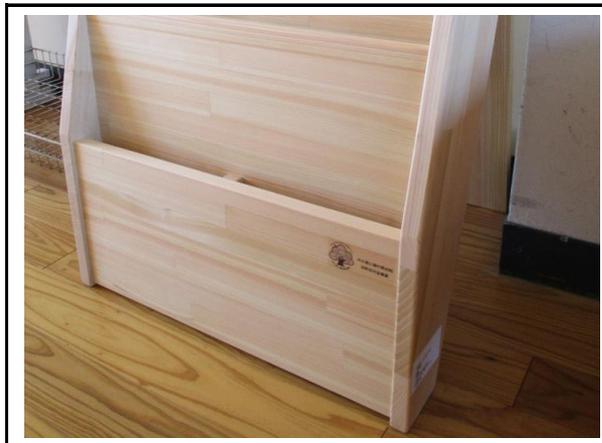


写真4

県産材書類棚



写真5

交付金事業シール(ソファ)



写真6

交付金事業シール(書類棚)

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	市民活動センター運営事業
-----	--------------

7 の (2) . その他資料

・ なやプラザ広報紙での紹介記事

館内紹介

## なやプラザのココ

## 『「再生館」から「ふらっとサロン」へ』

「ふらっとサロン」は玄関を入ってすぐの東側階段を 2 階へ上がった右手にあるフリースペースの事です。

ふらっとサロンと呼ばれる以前は「再生館」という名で、自由に使っていたそうです。

しかし、いつの間にか物が増え、狭い空間にソファとテーブルが追いやられ、使い勝手の面でも良い環境ではなくなり、利用する方を見かけることも少なくなりました。

管理者としてもただ放置していたわけではなく、時間を見つけ、少しずつモノを整理したり、ソファの配置を変えたりと、使いやすいように整理をしておりました。

そのような折、三重県産の木材を使った再生館の改装のお話を頂きました。これを機に、再生館に置かれていたものも整理させていただきました。



改装されたスペースには三重の木材を使った机とイスが二卓十脚、ベンチ三脚を設置。壁面や床にも三重県産の木材を使い、とても雰囲気の良い空間になりました。

ご利用時の事務所への声掛けと利用者名簿への記入等のルールを守りつつ、あらゆる市民の方々の交流の場としてご活用していただけるよう願っています。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
7	一般備品整備事業 (小学校)				
事業費	7,032,520 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,032,520		

1. 事業の目的					
<p>市内小学校に、三重県材を用いた図書室の机と椅子を導入することにより、児童が木にふれあい、森林や木材について学ぶことのできる場を提供する。</p>					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
<p>市内 2 校の小学校の図書室に三重県材を用いた机及び椅子を導入する。</p>					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】					
<p>木工製造業者 (補助事業ではない)</p>					
【実施個所及び箇所数】					
<p>三重北小学校 大谷台小学校 計 2 校</p>					
【事業量】					
<p>三重北小学校 図書室 机 10 台 椅子 40 脚 大谷台小学校 図書室 机 12 台 椅子 48 脚 計 机 22 台 椅子 88 脚</p>					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
<p>三重県材を活用した備品を配置することにより、児童が森林や木材について学び、ふれあう機会を提供し、森や木への理解を深めることが期待できる。</p>					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
<p>学校ホームページや学校だより等で紹介することにより、保護者や地域住民等への情報発信を行う。</p>					
【新たな対策・視点及び改善点】					
<p>図書室に三重県材を使用した机や椅子を導入することで、実際に木のあたたかさに触れることができるようになり、森や木に対する関心を高めていく。</p>					

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
7	一般備品整備事業（小学校）				
事業費	7,032,520 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,032,520		
<b>4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】</b>					
<b>【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】</b>					
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
	物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		
<b>【委託先及び補助対象者等の選定理由】</b>					
<p>購入先の決定は、指名競争入札による。</p> <p>三重県産木材におけるひのき材の備品選定理由について</p> <p>三重県産木材で、公共施設における机、椅子等の備品に用いられるものとしては、ひのきと杉が代表的なものとなっている。</p> <p>ひのきと杉の特性を考察した場合、</p> <p>1. ひのきは、杉と比較して、強度が高く、耐久性に優れている。一方、杉は傷がつきやすく、反りやすく、われやすい面がある。</p> <p>2. ひのきは木目がきれいであり、色は白か淡いピンクの為、色味を合わせやすい。一方、杉は木目が粗く、色味が白・赤・黒等ばらつきがある。</p> <p>3. 杉の場合は、傷のつきやすさや色味のばらつき等の欠点をクリアするためには、材料の選木や強度を出すための前処理等、家具の組立前にかかる工程が多いなど、コスト増につながる。</p> <p>以上のことから、ひのき製品を採用した。</p>					
<b>【主な経費内訳】</b>					
(別紙のとおり)					
<b>5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】</b>					
<b>【受益者及び、期待する波及効果】</b>					
	受益者	三重北小学校全児童数：約160人、大谷台小学校全児童数：約520人			
	期待する波及効果	三重県材を活用した備品を配置することにより、児童が森林や木材について学び、ふれあう機会を提供し、森や木への理解を深めることが期待できる。			
<b>【公的関与の必要性】</b>					
公立小学校へ導入のため					
<b>【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】</b>					
みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを示したプレートを取り付けており、公有財産として適正に管理を行う。					
<b>6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】</b>					
<b>【情報発信の内容】</b>					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
7	一般備品整備事業（小学校）				
事業費	7,032,520 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,032,520		
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施前	机、椅子作成時にみえ森と緑の県民税を活用した事業であることを示したプレートを取り付け、児童の関心を深めるきっかけとする。			
HP掲載	実施後	実施後に学校ホームページで紹介する。			
学校だより等掲	実施後	実施後に学校だよりで紹介する。			
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					
<p>児童からも「木のいい香りがする」「触り心地がいい」「木目や色が明るくきれい」といった感想が聞かれ、木のぬくもりを感じながら落ち着いた雰囲気での読書、学習環境の向上につながっている。</p> <p>また、児童だけでなく職員やPTA、地域の方が参加するコミュニティースクール等の会議でも活用され、児童同様に大変好評である。</p>					



第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	一般備品整備事業(小学校)
-----	---------------

7の(1). 写真



写真1

図書室 机、椅子



写真2

図書室 机、椅子



写真3

表示プレート



写真4



写真5



写真6

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	一般備品整備事業 (小学校)
-----	----------------

## 7 の ( 2 ) . その他資料

## 三重北小学校 ホームページ掲載資料 (令和 5 年 3 月 3 1 日付)

また、22日(水)には、「みえ森と緑の事業」による新しい机と椅子が図書室に設置されました。木の良い香りがしています。新年度、たくさん子ども達が図書室を利用してくれることを期待しています。



## 大谷台小学校 ホームページ掲載資料 (令和 5 年 3 月 2 7 日付)

■ 2023/03/27 ■ 図書室

図書室に新しい机といすが届きました。三重県の「みえ森と緑の県民税 市町交付金事業」で作っていただきました。ありがとうございました。木目が素敵で、図書室が明るくなりました。来年度は図書室に多くの子がやってきて、本をたくさん読んでほしいと思います。



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
8	一般備品整備事業 (中学校)				
事業費	9,270,030 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,142,380	5,127,650	

## 1. 事業の目的

市内中学校に、三重県材を用いた図書室の机と椅子、技術室に机を導入することにより、生徒が木にふれあい、森林や木材について学ぶことのできる場を提供する。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

市内 2 校の中学校の図書室に三重県材を用いた机及び椅子、市内 1 校の中学校の技術室に三重県材を用いた机を導入する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

木工製造業者 (補助事業ではない)

## 【実施個所及び箇所数】

図書室 机 椅子 西陵中学校 朝明中学校 計 2 校  
技術室 机 桜中学校 計 1 校

## 【事業量】

西陵中学校 図書室 机 9 台 椅子 45 脚 朝明中学校 図書室 机 12 台 椅子 48 脚  
計 机 21 台 椅子 93 脚  
桜中学校 技術室 生徒用机 9 台 教師用机 1 台

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

三重県材を活用した備品を配置することにより、生徒が森林や木材について学び、ふれあう機会を提供し、森や木への理解を深めることが期待できる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

学校ホームページや学校だより等で紹介することにより、保護者や地域住民等への情報発信を行う。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

図書室や技術室に三重県材を使用した机や椅子を導入することで、実際に木のあたたかさに触れることができるようになり、森や木に対する関心を高めていく。

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
8	一般備品整備事業（中学校）				
事業費	9,270,030 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,142,380	5,127,650	
<b>4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】</b>					
<b>【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】</b>					
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
	物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		
<b>【委託先及び補助対象者等の選定理由】</b>					
<p>購入先の決定は、指名競争入札による。</p> <p>三重県産木材におけるひのき材の備品選定理由について</p> <p>三重県産木材で、公共施設における机、椅子等の備品に用いられるものとしては、ひのきと杉が代表的なものとなっている。</p> <p>ひのきと杉の特性を考察した場合、</p> <p>1. ひのきは、杉と比較して、強度が高く、耐久性に優れている。一方、杉は傷がつきやすく、反りやすく、われやすい面がある。</p> <p>2. ひのきは木目がきれいであり、色は白か淡いピンクの為、色味を合わせやすい。一方、杉は木目が粗く、色味が白・赤・黒等ばらつきがある。</p> <p>3. 杉の場合は、傷のつきやすさや色味のばらつき等の欠点をクリアするためには、材料の選木や強度を出すための前処理等、家具の組立前にかかる工程が多いなど、コスト増につながる。</p> <p>以上のことから、ひのき製品を採用した。</p>					
<b>【主な経費内訳】</b>					
(別紙のとおり)					
<b>5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】</b>					
<b>【受益者及び、期待する波及効果】</b>					
	受益者	西陵中学校全生徒数：約180人、朝明中学校全生徒数：約530人、桜中学校全生徒数：約320人			
	期待する波及効果	三重県材を活用した備品を配置することにより、生徒が森林や木材について学び、ふれあう機会を提供し、森や木への理解を深めることが期待できる。			
<b>【公的関与の必要性】</b>					
公立中学校へ導入のため					
<b>【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】</b>					
みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを示したプレートを取り付けており、公有財産として適正に管理を行う。					
<b>6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】</b>					
<b>【情報発信の内容】</b>					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	四日市市		新規・継続の別	新規
番号	事業名						
8	一般備品整備事業（中学校）						
事業費	9,270,030 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金		その他	
			4,142,380	5,127,650			
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施前	机、椅子作成時にみえ森と緑の県民税を活用した事業であることを示したプレートを取り付け、生徒の関心を深めるきっかけとする。					
HP掲載	実施後	実施後に学校ホームページで紹介する。					
学校だより等掲	実施後	実施後に学校だよりで紹介する。					
7. 写真及びその他資料							
別紙のとおり							
8. その他特記事項（受益者の反応等）							
<p>生徒からも「木のいい香りがする」「触り心地がいい」「木目や色が明るくきれい」といった感想が聞かれ、木のぬくもりを感じながら落ち着いた雰囲気での読書、学習環境の向上につながっている。</p> <p>また、生徒だけでなく職員やPTA、地域の方が参加するコミュニティースクール等の会議でも活用され、生徒同様に大変好評である。</p> <p>技術机については、木材の良さが存分に生かされた設計になっており、木目を見ながら木表、木裏、木口といった木材の構造もわかり、学習教材としても活用されている。</p>							



第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	一般備品整備事業 (中学校)
-----	----------------

7 の (1) . 写真



写真1  
図書室 机、椅子



写真2  
図書室 机、椅子



写真3  
技術室 技術机



写真4  
技術室 技術机



写真5  
表示プレート



写真6

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	一般備品整備事業 (中学校)
-----	----------------

## 7 の ( 2 ) . その他資料

## 西陵中学校 ホームページ掲載資料 (令和 5 年 4 月 1 4 日付)

放課後、さっそく、第 1 回専門委員会がありました。図書室では、来週月曜日から本の貸し出しを始めるために図書委員が打ち合わせを行っていました。今年度、図書室には、『みえ森と緑の県民税市町交付金事業』により、「森と人をつなぐ学びの場づくり」の一環として、県内産の木材を使った新しい机と椅子を多数配置していただきました。ヒノキの香漂よう清新な環境のもと、新たなる読書意欲が喚起され、知識や感受性が広がることを願っています。

## 専門委員会の活動 (図書委員会)



## 朝明中学校 ホームページ掲載資料 (令和 5 年 3 月 2 3 日付)

■ 2023/03/23 ■ 図書室の机とイスが新しくなりました

先日、図書室の机とイスが新しくなりました。



三重県産の木材を使った素敵な机とイスに生まれ変わりました。座り心地も大変良く、読書がすすみそうです。



机とイスの横に上の写真のような表示がありました。「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」とありました。今後、大切に使っていきます。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	一般備品整備事業 (中学校)
-----	----------------

## 7 の (2) . その他資料

桜中学校 ホームページ掲載資料 (令和 5 年 3 月 28 日付)

■ 2023/03/28 ■ 技術室に新しい机が!

固定リンク | by: 学校長

三重県に導入されている「みえ森と緑の県民税」を活用した事業により、技術室に新しい 10 個の木製の机が入りました。森林組合の方が搬入をしてくださいました。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



# 桑名市

## 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報 (「三重県市町要覧 (令和 4 年度版)」 「令和 3 年度森林・林業統計書」より)

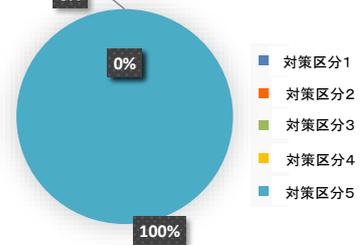
市町名	桑名市	三重県
人口 (人)	136,865	1,744,795
年少人口割合 (%) * 1	12.5%	11.7%
森林面積 (ha)	2,960.03	372,030.12
民有林面積 (ha) * 2	2,871.36	348,559.79
森林率 (%)	22.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	9.2	10.6

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

## 対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



## 2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	5	播磨 2 号緑地里山整備事業	534,000	534,000					534,000	
2		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	15,350,000	15,350,000						15,350,000
				0						
				0						
				0						
				0						
計			15,884,000	15,884,000	0	0	0	0	534,000	15,350,000

## 3. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市は木曾三川の河口部に位置し、森林率は約22%と県平均と比較すると低い値となっている。近年は地域の森林への関心度が低下し、十分な手入れが行き届かず、林業活動が殆ど実施されていないため、荒廃した里山や竹林が増加傾向にある。このため本市では、みえ森と緑の県民税を活用し、市民団体と連携して身近な里山を整備する活動を通じて「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進に取り組む。
事業実施により期待される効果	里山の整備に関わり、また整備された里山に触れることにより得られる癒しの効果を通して、人々の暮らしと森林環境との関わりに対する理解が深まった。
情報発信への取組	現場での看板設置や、ポスター配置・チラシ・ホームページでの活動紹介など、事業活用の現場であることを重点的にアピールし情報共有を推進した。

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑯ その他 (木材・普及啓発関係)	15,873	15,873
2	⑰ 基金積立 (森林整備等)	3,079	3,079
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	18,952	18,952

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	播磨 2 号緑地里山整備事業					
事業費	534,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			534,000	0	0	

## 1. 事業の目的

荒廃した山を里山として山道などを整備し、緑の自然と身近にふれあう場を提供し、自然学習の場、地域活性の場、健康づくりの場として利活用する。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

枯木・危険木の撤去、樹木の間伐、樹木剪定、剪定枝等をチップ化した木チップを利用した散策路の整備、湧水(水路)の整備

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

桑名市

## 【実施個所及び箇所数】

1 箇所 (播磨 2 号緑地内)

## 【事業量】

0.46ha

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

- ・ 樹木の整理や沢の整備による土砂流出の防止
- ・ 危険な樹木を撤去し、公園利用者の安全確保や近隣住民の生活環境の保護
- ・ 緑の自然と身近にふれあう場、自然学習の場、地域活性の場、健康づくりの場としての利活用

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

- ・ 市内の小学校やボランティア団体による森林環境教育
- ・ 里山散策路の開放

## 【新たな対策・視点及び改善点】

県民税利用の広報強化のため、HPへの掲載やのぼりの設置、イベント時の県民税PRといった周知に努めた。

## 令和4年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	播磨2号緑地里山整備事業				
事業費	534,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			534,000	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

委託先である「ホテルとなかまの会」は、現地でゲンジボタルの保護活動を行っている団体であり、市と播磨2号緑地の利活用に関する協定を締結しているため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	幼児、小学生等緑地利用者
期待する波及効果	地域の自然を大切にするという気持ちが芽生えること

【公的関与の必要性】

市が管理する緑地であり、公益性があるため、

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市が管理する緑地であり、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
標識・標柱等設 のぼり設置	実施前・中・後	播磨2号緑地建屋・ゲート前に県民税を活用した事業である旨の看板を設置
HP掲載	実施中	播磨2号緑地の建屋前にのぼりを設置。
	実施前・中・後	ホテルとなかまの会ホームページに県民税を活用した事業である旨を記載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）



## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	播磨2号緑地里山整備事業
-----	--------------

## 7の(1). 写真



写真1

木の伐採、除草(実施前、5月)



写真2

木の伐採、除草(実施後、5月)

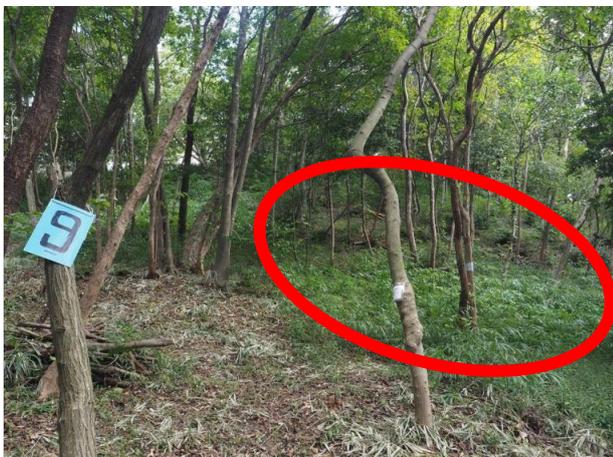


写真3

木の伐採、除草(実施前、10月)



写真4

木の伐採、除草(実施後、10月)



写真5

里山散策路開放(10月)



写真6

実施中ののぼり設置

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	播磨 2 号緑地里山整備事業
-----	----------------

## 7 の (2) . その他資料

ホタルとなかまの会 (ホームページより)

くわなのホタル

ゲンジボタルの飛び交う里

ホタルとなかまの会  
kuwananohotaru.net

ホーム HOME
活動内容 ACTIVITY
スケジュール SCHEDULE
入会 ADMISSION
アクセス ACCESS

[→ 里山レポートNo.1「ホタルの里山、再生中」](#)

ホタルとなかまの会は 播磨2号緑地(ホタルの里周辺)で里山再生事業を行っています。

現在、ホタルの里では、約1万5千頭のゲンジボタル幼虫の飼育に取り組んでおり、来年の飛翔会には期待に応えられるようにとこれまで以上の取り組みをしています。

今回は、里山レポートNo.1として、ホタルとなかまの会が自然と人との共生する豊かな自然を目指し、2号緑地で里山再生に取り組んでいることについてお伝えします。

桑名市は、平成31年度から「みえ森と緑の県民税」の助成事業として2号緑地の「里山整備」を始めることになりました。ホタルとなかまの会は、この里山整備事業の委託を受け、手つかずだった里山に入り、草刈や間伐に汗水を流しています。

里山整備に必要な機器類は桑名市が助成金で買い揃え、我々に貸し出してくれています。

作業を始めて2年が経過し、ホタル水路から散策路周辺に里山らしい風景が見られるようになってきました。

里山は、多様な生物の生育・生息の場であり、美しい風景を守り、伝える場であり、自然体験やリクリエーションの場であり、様々な資源(シイタケ栽培のほだ木・工芸品の材料等)供給の場であると共に、水源涵養・水質浄化・土壌の流出や崩壊の防止・二酸化炭素の吸収・酸雨の供給等の役割を果たしています。

地域の皆様の憩いの場となるような里山を目指して今後継続して取り組んでいきたいと思っています。

昨年秋には、一日里山開放日を設けて、たくさんの方に里山で遊んでいただきました。

新型コロナウイルスの状況にもよりますが、今年も秋には開催したいと考えています。

今後ともホタルの里へのご支援ご協力を願います。

<募集>

と一緒に里山整備をしていただける方を募集しています。

作業は、梅雨から夏場を除き、毎週2回実施しています。

興味のある方は下記へご連絡ください。

連絡先：ホタルとなかまの会  
会長:古澤090-3212-5012  
事務局:竹村090-9894-7398

**SUB MENU**



**ほたるの里**  
桑名の里はまりの石にホタルの公園があります。ログハウスの別荘です。



**なかまの会の活動内容**  
夏祭から秋祭・環境保護の子ども会をしています。



**ホタルスポット**  
三道管内でホタルを見られる所が揃ってきました。



**入会申込み**  
私たちと一緒にホタルを育てませんか？



**見学申込み**  
一般公開している里山の様子が見られます。

**関連情報**

[桑名市のページ](#)



整備前



整備後

# 鈴鹿市

## 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

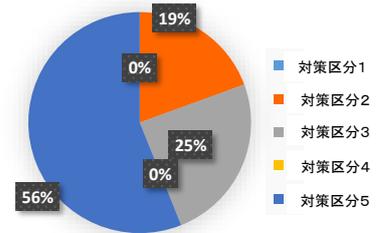
市町名	鈴鹿市	三重県
人口 (人)	195,789	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	12.9%	12.4%
森林面積 (ha)	3,584.17	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	3,408.37	348,833.49
森林率 (%)	18.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	9.8	10.1

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



## 2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)					基金積立	
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4		対策区分5
1	2	暮らしを守る森林保全事業	994,400	994,400		994,400				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,771,000	442,750		442,750				
3	3	森林環境教育支援事業	100,000	100,000			100,000			
4	3	緑に親しむ記念樹贈呈事業	734,250	734,250			734,250			
5	3	森と緑の生涯学習事業	980,000	980,000			980,000			
6	5	深谷公園里山保全事業	235,741	150,000					150,000	
7	5	ふるさとの木 (名木古木) 保存活用事業補助事業	2,680,000	2,680,000					2,680,000	
8	5	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	1,320,000	1,320,000					1,320,000	
9		みえ森と緑基金積立事業	12,617,600	12,617,600						12,617,600
計			21,432,991	20,019,000	0	1,437,150	1,814,250	0	4,150,000	12,617,600

## 3. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	20本	1,771,000	442,750	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<b>事業方針</b>	本市は、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈があり、市の中央には鈴鹿川が流れる、豊かな自然環境の下で発展してきた都市です。この恵まれた自然環境は、市民生活や経済活動に多大な恩恵をもたらしており、美しい風景や豊かな生態系は、本市にとって貴重な財産であるともいえます。このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、市民に親しまれている海岸林の保全や、利用頻度の高い公共施設等への県産材利用を通じ、多くの市民が森林の恩恵を享受することができ、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進する事業を進めていきます。
<b>事業実施により期待される効果</b>	子どもを中心とした市民を対象に、森林について学ぶ場や緑や木にふれあう機会を提供することにより、森や緑の大切さや森林環境への理解を深めることができ、森林づくりに積極的に関わる人材の増加が期待できる。地域にある身近な緑や里山を大切にすることは、自然環境とふれあう場の確保に繋がり、自然と共生する意識がうまれる。 また、人家周辺の森林や樹木を適切に管理することで、市民の暮らしの安心・安全を確保することができる。
<b>情報発信への取組</b>	市広報にて本市におけるみえ森と緑の県民税の活用状況について周知を図った。 また、事業実施の際は、県民税のぼりやロゴマークを掲出するなどして、みえ森と緑の県民税活用事業であることの周知に努め、啓発物品を配布することでみえ森と緑の県民税制度の理解を深めてもらえるよう取り組んだ。 県民税の県内での活用事例紹介や森林のもつ多様性についての展示を市民ギャラリーにて実施し、来庁者への情報発信を行った。

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑫ その他 (人材育成等)	243	243
2	③ 私有林整備	3,206	3,206
3	⑦ その他 (森林整備)	638	638
4	⑥ 林道・林専道の整備等	952	952
5	⑬ 木造公共建築物の整備等	4,466	4,466
6	⑦ その他 (森林整備)	2,746	2,746
7	⑯ その他 (木材・普及啓発関係)	395	395
8	⑰ 基金積立 (木材利用等)	13,890	13,890
	合計	26,536	26,536

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	暮らしを守る森林保全事業					
事業費	994,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			994,400			

<b>1. 事業の目的</b>						
<p>本市東部には伊勢湾に面する長い海岸があり、その周辺に植生する松林が防潮・防風・飛砂防止・津波軽減などの働きにより周辺住民の暮らしを守っている。しかし、病虫害被害で枯松化が拡大し、台風時の倒木や枝の飛散等での住居や人身への被害が懸念されている。</p> <p>このような状況を改善するため、人家周辺における病虫害被害木を積極的に伐採・駆除することで海岸林の維持保全を行い、通行の安全や住民の暮らしの安全を確保する。</p>						
<b>2. 事業実績概要</b>						
<b>【事業内容】</b>						
<p>人家周辺で松くい虫の被害を受けている松を伐倒・駆除し、周辺の松に対して薬剤の樹幹注入を実施した。また、抵抗性のある黒松を植樹し、松林の維持保全に努めた。</p>						
<b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b>						
鈴鹿市						
<b>【実施個所及び箇所数】</b>						
1箇所 (東磯山緑地 (市有地))						
<b>【事業量】</b>						
特別伐採駆除：7本，樹幹注入：アンプル101本 (対象木18本)，支障木伐採：4本 (支障枝剪定5本)，植栽：13本						
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>						
<b>【事業実施により期待される効果】</b>						
<p>人家周辺における病虫害被害木の伐採・駆除，さらに樹幹注入を実施することで，台風時の倒木や枝の飛散等での住居や人身への被害防止や病虫害被害の拡大阻止につなげ，通行や暮らしの安全を確保し，松林が本来有する機能を維持保全することができた。</p>						
<b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b>						
<p>定期的に被害状況を確認し，必要に応じて特別伐倒駆除を行った。また，効果的に病虫害による被害を軽減するため，計画的に樹幹注入を行った。</p>						
<b>【新たな対策・視点及び改善点】</b>						
<p>樹木医から定期的に助言をいただき，樹幹注入の必要な松の検討，松枯れの原因の究明等を行い，効果的に海岸林の維持保全を行った。</p>						

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	暮らしを守る森林保全事業					
事業費	994,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			994,400			
<b>4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】</b>						
<b>【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】</b>						
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考		
委託事業	造園業者	補助事業ではない				
<b>【委託先及び補助対象者等の選定理由】</b>						
病虫害被害木の伐採、樹幹注入には専門的な知識・技術が必要なことから、造園業者を選定。 随意契約（2者見積）						
<b>【主な経費内訳】</b> (別紙のとおり)						
<b>5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】</b>						
<b>【受益者及び、期待する波及効果】</b>						
受益者	東磯山緑地付近の住民（約500世帯，約1,000人）					
期待する波及効果	広報やHP,事業看板等により本事業を知った住民に県民税の理解が深まる					
<b>【公的関与の必要性】</b>						
事業地は市有地であることから、公的関与が必須である。また、事業地周辺は、松くい虫による病虫害被害により、台風時に倒木や枝の飛散等での住居や人身への被害が懸念され、本事業によって周辺住民に対し安心・安全な住環境を寄与できることから、公的関与が必要である。						
<b>【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】</b>						
市有地のため、転用等が想定されず、該当しない。						
<b>6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】</b>						
<b>【情報発信の内容】</b>						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
のぼり設置	実施中	工事期間中は施工箇所にみえ森と緑の県民税ののぼりを設置することで、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることをPRした。				
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずか（ミニ特集）に掲載し、本市における活用状況を市民に周知した。				
<b>7. 写真及びその他資料</b>						
別紙のとおり						
<b>8. その他特記事項（受益者の反応等）</b>						
周辺住民から感謝されるとともに、今後も継続して適正な維持管理をしていくよう依頼を受けた。						



## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	暮らしを守る森林保全事業
-----	--------------

## 7の(1). 写真

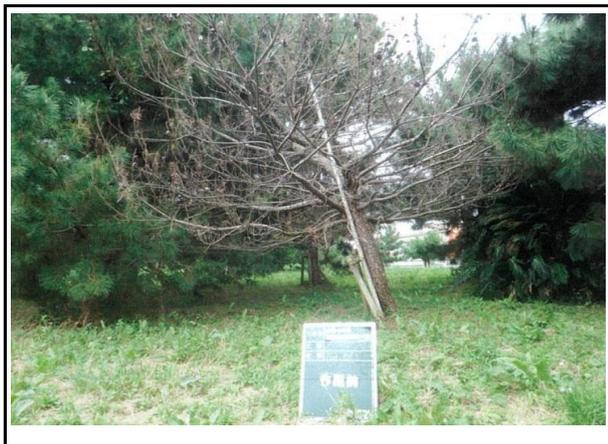


写真1

枯れ松伐倒前



写真2

枯れ松伐倒作業状況



写真3

枯れ松積込作業状況



写真4

薬剤樹幹注入作業状況



写真5

植林作業状況



写真6

植林完了

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	暮らしを守る森林保全事業
-----	--------------

## 7の(2). その他資料



## 情報館 ⑥ みえ森と緑の県民税事業

農林水産課 ☎382-9017 ☎382-7610  
✉norin@city.suzuka.lg.jp

## 令和4年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします

本市では、平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」に取り組んでいます。



### 市内で実施した事業を紹介します

令和4年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内で8事業を実施しました。



#### 深谷公園里山保全事業

良好な植生林を保全するため、竹の伐採や間伐材を使用した工作、里山に関する講話などの活動を行いました。



#### ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業

ふるさとの木(市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木・樹木群)の所有者などに対して、樹木診断や樹木治療などを実施するための経費を補助しました。



#### 緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト

長太の大楠の樹勢を回復するため、高所作業による樹木診断や枯枝の除去などを行いました。



#### 森と緑の生涯学習講座

小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、市内の公民館で間伐材を利用した木工工作、フィールドワーク、木のおもちゃに触れるなどの森林環境学習を行いました。



#### 暮らしを守る森林保全事業

海岸付近の松林で、松枯防止薬の樹幹注入、枯木の伐倒駆除を行いました。



#### 森林環境教育支援事業

森林環境教育、緑化活動など、森林を市民で守り育てる意識の醸成に寄与する活動を実施する団体に対して、補助金を交付しました。



#### 緑に親しむ記念樹贈呈事業

新築や新入学などの節目を迎えた市民に対して、本市で生産された植木を記念樹として配布しました。



#### 災害からライフラインを守る事前伐採事業

台風などが原因の倒木により、ライフラインを寸断する可能性がある樹木を事前に伐採しました。



令和5年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりや県と連携した災害に強い森林づくりなどの施策を実施していきます。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	1,771,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			442,750		1,328,250	

1. 事業の目的
台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採することでライフラインを保全する。
2. 事業実績概要
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>過去に台風等が原因の倒木により停電被害があった箇所にある危険木について、地権者の了解の下、事前に伐採し、倒木による停電被害を予防する。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b> 鈴鹿市、三重県、ライフライン事業者 (中部電力パワーグリッド株式会社)</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b> 1 箇所 (上田町)</p> <p><b>【事業量】</b> 危険木 20 本の伐採</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>台風等による倒木により停電を起こす可能性がある危険木を事前に伐採することにより、停電被害を未然に防ぐことができる。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>市・県・ライフライン事業者の三者で、相互の連携による事業の円滑な実施を目的とした協定を締結し、この協定に基づき、三者が構成員となった協議会を設置し、市が作成する事業計画についての協議や他事業との調整等を行い、事業を進める。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>工事施工中に県民税を活用した事業である旨を記した工事看板を設置し、また、周辺住民に対して回覧板を回覧し、県民税を活用した事業であることを周知するとともに、森林の適正管理等についての意識熟成を図る。</p>

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	1,771,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			442,750		1,328,250	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
ライフライン沿いの伐採作業であり、伐採に高度な技術が必要かつ実施箇所に精通している必要があることから、鈴鹿市に入札参加資格登録している土木一式の届出がある近隣業者を選定。 指名競争入札により選定。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院, 鈴鹿市立白鳥中学校ほか約1,160戸			
期待する波及効果	広報やHP等を見た市民が本事業の内容を知ること、県民税の理解を深める。			
【公的関与の必要性】				
台風等の影響により電線等のライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採する事業は、非常に公益性が高く、公的関与が妥当である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
回覧板・掲示板	実施前	施工箇所の周辺住民に対して、工事に関するお知らせを回覧する際に、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを告知した。		
のぼり設置	実施中	工事期間中は施工箇所にみえ森と緑の県民税ののぼりを設置することで、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることをPRした。		
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずか（ミニ特集）に掲載し、本市における活用状況を市民に周知した。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
周辺住民からは、「この地域の住民がよく利用する道でもあり、通学路にもなっている道だったので、背の高い危険木が無くなって、安心した。全国的にも台風や集中豪雨による災害が近年頻発しているので、この地域に限らず、今後も継続的に事業を実施してほしい。」との意見がありました。				

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
直接工事費	伐採・運搬	本	7.0	9,093	63,651	幹周30cm以上60cm未満 (竹5本含む)
		本	6.0	20,110	120,660	幹周60cm以上90cm未満
		本	7.0	35,930	251,510	幹周90cm以上120cm未満
		本	4.0	53,910	215,640	幹周120cm以上150cm未満
		本	1.0	75,040	75,040	幹周150cm以上180cm未満
	交通誘導警備員	人	6.0	15,500	93,000	A
		人	6.0	13,200	79,200	B
	処分	kg	16900.0	15	253,500	
共通仮設費		式	1.0	120,000	120,000	
現場管理費		式	1.0	493,000	493,000	
一般管理費等		式	1.0	381,799	381,799	
		小計			2,147,000	工事価格
		消費税及び地方税相当額			214,700	10%
		合計			2,361,700	設計金額 (予定価格)
		契約金額			1,771,000	落札率 約75.01%

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の ( 1 ) . 写真



写真1  
伐採前①



写真2  
伐採後①



写真3  
伐採前②



写真4  
伐採後②



写真5  
工事中(のぼり掲示)



写真6

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

## 7の(2). その他資料

## 周辺地域への回覧用紙

## 回覧

関係者各位

令和4年8月5日

## 樹木伐採業務のお知らせ

平素より、本市の公共事業につきまして格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
このたび、上田町におきまして、樹木の伐採を行うことになりました。  
つきましては、下記のとおり業務を進めさせていただきます。  
大変御迷惑をおかけしますが、御理解と御協力のほど宜しくお願いします。

## 記

工 事 名	上田樹木伐採業務委託
工 事 内 容	台風などによる倒木被害により停電が発生することを防ぐため、ライフラインを寸断する恐れのある樹木の伐採を行う。
工 事 期 間	令和4年8月22日 から 令和4年8月27日 までの6日間 (悪天候日は休工の可能性あり) ※ 作業実施日の作業時間内は、車両・歩行者とも通行止めになります。 交通誘導員を配置しますので、誘導員の指示に従ってください。
作 業 時 間	午前 8時30分 から 午後 5時00分 まで ※ 工事内容により作業時間を延長する場合があります。
工 事 箇 所	表面位置参照
工 事 担 当	産業振興部 新地課 土地改良グループ 黒田 学司 連絡先 059-382-7653
施 工 業 者	ヤマダ鉄工株式会社 山田 智也 連絡先 059-374-2177

※この事業は、「みえ森と緑の県民税」を利用して、実施しています。



## 広報すずか(ミニ特集)記事



## 情報館 ⑥ みえ森と緑の県民税事業

農林水産課 ☎382-9017 📠382-7610

✉norin@city.suzuka.lg.jp

## 令和4年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします

本市では、平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」に取り組んでいます。



## 市内で実施した事業を紹介します

令和4年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内で8事業を実施しました。

## ① 深谷公園里山保全事業

良好な植生林を保全するため、竹の伐採や間伐材を使用した工作、里山に関する講話などの活動を行いました。



## ② ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業

ふるさとの木(市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木・樹木群)の所有者などに対して、樹木診断や樹木治療などを実施するための経費を補助しました。



## ③ 緑と人を育む

## 長太の大楠再生プロジェクト

長太の大楠の樹勢を回復するため、高所作業による樹木診断や枯枝の除去などを行いました。



## ④ 森と緑の生涯学習講座

小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、市内の公民館で間伐材を利用した木工工作、フィードバック、木のおもちゃに触れるなどの森林環境学習を行いました。



## ⑤ 暮らしを守る森林保全事業

海岸付近の松林で、松枯防止薬の樹幹注入、枯木の伐倒撤除を行いました。



## ⑥ 森林環境教育

## 支援事業

森林環境教育、緑化活動など、森林を市民で守り育てる意識の醸成に寄与する活動を実施する団体に対して、補助金を交付しました。



## ⑦ 緑に親しむ記念樹贈呈事業

新築や新入学などの節目を迎えた市民に対して、本市で生産された苗木を記念樹として配布しました。



## ⑧ 災害からライフラインを守る事前伐採事業

台風などが原因の倒木により、ライフラインを寸断する可能性がある樹木を事前に伐採しました。



令和5年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりや県と連携した災害に強い森林づくりなどの施策を実施していきます。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境教育支援事業					
事業費	100,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			100,000			

1. 事業の目的	
<p>自然環境の保全、森林環境教育、緑化活動 (森林環境教育を伴う) 等を実施する住民団体に対し、その活動に要する経費の一部を補助することにより、住民による自発的な森林づくり活動を支援する。</p>	
2. 事業実績概要	
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>鈴鹿市補助金等交付規則及び鈴鹿市緑の未来づくり事業補助金交付要領に基づき補助金を 1 団体に交付した。実施主体は、補助金を利用して、森林を市民で守り育てる意識の醸成に寄与する活動 (県産材を使った子ども向けの木工工作教室等) を開催した。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b></p> <p>住民団体</p> <p><b>【実施箇所及び箇所数】</b></p> <p>市内 4 箇所 (鈴鹿ハンター、さんぽ道、市社会福祉センター、市立図書館)</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>木工教室 2 回、植樹・植栽 2 回 (総参加者: 約 30 名)</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>住民団体等が実施する活動に対し補助金を交付することで、市民・行政がそれぞれの特性を生かした取組みが期待できる。また、住民団体による自発的な活動の支援を通じ、住民の森林環境への意識の向上が期待できる。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>HPに掲載し、広く周知を行った。また、森林環境の保全と共生する文化の創造に寄与する活動を実施する団体には、個別に補助金の趣旨を説明し、県民税の理解を深めてもらった。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>活動団体が実施内容を SNS で広く情報発信することで、参加者のみならず、多くの市民等に県民税の活用を周知し森林環境意識の向上へつながった。</p>	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境教育支援事業					
事業費	100,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			100,000			

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法 (委託 (請負) 先、補助対象者及びその選定理由)】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	3/4以内	1事業につき上限10万円	

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

事前に提出される「事業実施計画書」及び「収支計画書」を審査し、補助金に定める森を育む人づくり事業 (木に触れ合う契機を創り出す活動で、森林を大切に思い、育む人づくりにつながるものをいう。) 及び緑の環境づくり事業 (植樹、植栽等、緑の空間創造につながるものをいう。) に該当する団体を選定した。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	木工教室参加者、社会福祉センター・図書館利用者
期待する波及効果	木工教室に参加する保護者、植樹に参加したボランティア、SNS等の閲覧者

## 【公的関与の必要性】

三重県産材を利用した木工教室は、子どもが木に触れあい、木の良さを知る学びの場となり、県民税の趣旨に沿うもので、公益性が高く、公的関与が妥当と判断した。また、公共施設周辺の植樹・植栽は、良好な景観を形成でき、緑とのふれあいを通して、地域住民の緑に対する意識向上につながると判断した。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

該当なし

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など (自由記載)
チラシ等配布	実施前	イベントチラシにみえ森と緑の県民税を活用した事業であることを記載した。
のぼり設置	実施中	イベント会場にみえ森と緑の県民税ののぼりを設置し、みえ森と緑の県民を活用した事業であることを周知した。
その他	実施前・後	住民団体が運用するSNSで、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを掲載し、みえ森と緑の県民税のハッシュタグを付けて、広く情報発信を行った。
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずか (ミニ特集) に掲載し、本市における活用状況を市民に周知した。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項 (受益者の反応等)

参加者からは「木工プランターを自分で作ったことによって、子どもが苗木のお世話を一生懸命頑張っています。」「木のぬくもりを感じることができた。」などの感想をいただきました。

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境教育支援事業
-----	------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
環境教育を実施する団体への補助	事業補助金 (補助率3/4以内)	団体	1.00	100,000	100,000	三重県産木材費, 三重県産苗木代, 土・肥料代, 講師謝礼金, 消耗品費
				合計	100,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育支援事業
-----	------------

## 7 の ( 1 ) . 写真



写真1

木エプランター作り (ハロウィンイベント) ①



写真2

木エプランター作り (ハロウィンイベント) ②



写真3

記念撮影 (ハロウィンイベント)



写真4

寄せ植え樹種 (サツキ)



写真5

木エプランター作り (さんぽ道マルシェ) ①



写真6

記念撮影 (さんぽ道マルシェ)

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育支援事業
-----	------------

## 7の(2). その他資料

 suzuhana2020 皆さんこんにちは！  
NPO法人鈴花の石川です🌸  
11月に入りましたね！  
久しぶりの雨🌧️鈴花にとっては恵の雨！水やりをお休みなさい🌸🌸

10月30日に鈴鹿ハンターで開催されたハロウィンイベントで  
NPO法人鈴花ブースは

三重県産スギの木工プランター作り&サツキの寄せ植え体験  
※みえ森と緑の県民税事業  
を行いました🌸🌸

秋晴れの気持ち良い空の下、たくさんのお客様が遊びに来て  
くださいました🌸🌸

サツキの寄せ植え体験も大好評で、親子で楽しみなつちト  
ンしてくれました🌸  
ハロウィンの衣装をして来てくれたお友だちがたくさんで、  
プリンセスやスパイダーマン、魔女がかなづちを一生懸命使っ  
て木工してる姿がとても良かったです🌸  
寄せ植えしたサツキは来年の5月ごろ咲きますよ🌸🌸  
頑張って育ててね🌸🌸

 suzuhana2020 みなさんこんばんは！  
NPO法人鈴花の石川です🌸

【さんぽ道マルシェ2022秋🌸🍂🍁】  
日曜日にさんぽ道マルシェが秋バージョンで開催しました！  
曇りから始まり小雨、雨...とお天気下り坂でしたが、開催でき  
ました！  
キッチンカーさんが来るとテンション爆上がり🌸🌸🌸  
石川、とどさんの1番最初のお客様になりました🌸🌸  
パマルさんは面白すぎたし、cocojan kitchenさんのハートウ  
ィンナーはキュン過ぎました🌸  
お天気はイマイチでもイベントは最高でした🌸🌸

馬さんたちが次々に到着すると  
ハンパない存在感🌸🌸  
道行く人が思わず車を停めて駐車場に入ってくる程🌸  
皆さん事前予約の方も、当日券の方も楽しんでいただき  
ました！🌸🌸  
高田高校の馬術部の学生さんたちの動きや言葉がけもすばらし  
くて感心してしまいました🌸🌸  
石川も乗馬・馬車共に体験しましたが、最高でした🌸🌸  
まさにホースセラピーです🌸🌸🌸ポーランド製の馬車も特注  
の屋根付きで、雨を凌いで体験できました！鈴鹿ホースパーク  
さん、ご配慮ありがとうございました🌸

サツキの寄せ植えと三重県産スギの木工プランターは、みえ森  
と緑の県民税事業として体験していただきました！  
さんぽ道となりのサツキ畑からひよっこりたまさぶろうがあそ  
びに来てくれました🌸🌸🌸

情報館  みえ森と緑の県民税事業  
農林水産課 ☎382-9017 ☎382-7610  
norin@city.suzuka.lg.jp

## 令和4年度みえ森と緑の県民税を 活用した事業についてお知らせします

本市では、平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用し、「災害に  
強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」に取り組んでいます。

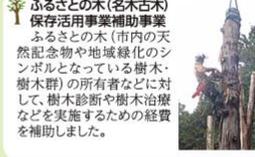
### 市内で実施した事業を紹介します

令和4年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内で8事業を実施しました。

**深谷公園里山保全事業**  
良好な植生林を保全するため、竹の伐採  
や間伐材を使用した工作、里山に関する講  
話などの活動を行いました。



**ふるさとの木(名木古木)  
保存活用事業補助事業**  
ふるさとの木(市内の天  
然記念物や地域緑化のシ  
ンボルとなっている樹木・  
樹木群)の所有者などに対  
して、樹木診断や樹木治療  
などを実施するための経費  
を補助しました。



**緑と人を育む  
長木の太極  
再生プロジェクト**  
長木の太極の樹  
勢を回復するため、  
高所作業による樹木  
診断や枯枝の除去  
などを行いました。



**森と緑の生涯学習講座**  
小学生を中心とした子  
どもと保護者を対象に、  
市内の公民館で間伐材を  
利用した木工工作、フー  
ルドワーク、木のおもち  
に触れるなどの森林環境  
学習を行いました。



**暮らしを守る森林保全事業**  
海岸付近の松林で、松枯防止薬の樹幹注  
入、枯木の伐倒撤除を行いました。



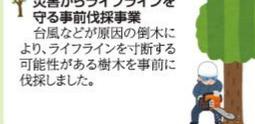
**森林環境教育  
支援事業**  
森林環境教育、緑化  
活動など、森林を市民で  
守り育てる意識の醸成に  
寄与する活動を実施する  
団体に対して、補助金を  
交付しました。



**緑に親しむ記念樹贈呈事業**  
新築や新入学などの節目を迎えた市民に対  
して、本市で生産された植木を  
記念樹として配布しました。



**災害からライフラインを  
守る事前伐採事業**  
台風などが原因の倒木に  
より、ライフラインを寸断する  
可能性がある樹木を事前に  
伐採しました。



令和5年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の実情に応じて創意工夫した  
森林づくりや県と連携した災害に強い森林づくりなどの施策を実施していきます。

10 2023-3-5

たまさぶろうに  
会えるかも？

ワークショップ

★NPO法人 鈴花  
三重県産スギの木工  
体験

木工プランター作り&サツキの寄せ植え体験  
(みえ森と緑の県民税事業)

11月13日(日)  
10:00~15:00 (入場無料)

さんぽ道マルシェ  
2022 秋  
~馬と植物とふれあおう~

各体験(有料)のご予約は  
「鈴花HP」  
よりお願いします

★鈴鹿ホースパーク  
・ポニー乗馬体験  
・馬車体験  
・エサやり体験

★キッチンカー  
・cocojan kitchen  
・pasmal (パマル)  
・とど

・植物とお茶の販売  
・お茶の試供品配布  
(お場特別)

Green&Smile  
さんぽ道



第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	緑に親しむ記念樹贈呈事業				
事業費	734,250 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			734,250		

<b>1. 事業の目的</b>					
<p>市内の市街地に居住する若年層の市民にとって、森林との関わりは年々希薄になってきており、森林の有する公益的機能やその享受についても把握していないことが懸念される。「県民全体で森林を支える社会づくり」のためにも、その第 1 歩として身近にある緑や木を大切に思う意識付けをする必要がある。</p> <p>そこで、1 番身近にある緑として記念樹を配布することで、緑や木に対する愛着心が醸成され、森林と人々の暮らしの繋がりに関しても興味関心を持ってもらい、積極的に森林づくりに関わる人材の増加を図る。</p>					
<b>2. 事業実績概要</b>					
<b>【事業内容】</b>					
<p>生産者と消費者の交流を通じて、人と緑のふれあいを高めることを目的として開催されている「植木まつり」の会場において、新築や新入学等の記念を迎えた市民に対し、全国有数の植木産地である鈴鹿市で生産された植木を記念樹として配布し、併せて県産材で作製した県民税ロゴ入り記念プレートを配布する。また、記念樹を配布する列の横に「森のはたらきパネル」を展示し、森林が有する公益的機能及び木材利用による緑の循環についての啓発を行い、加えて、受付時に森林に対する考え方についてのアンケート調査を実施することで、森林環境についての理解を深める機会を提供した。</p>					
<b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b>					
鈴鹿市					
<b>【実施個所及び箇所数】</b>					
1か所 (鈴鹿フラワーパーク)					
<b>【事業量】</b>					
記念樹：300本、木製記念プレート300枚					
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>					
<b>【事業実施により期待される効果】</b>					
<p>人生の節目を記念して自らの手で植樹することで、緑や木を大切に思う気持ちが生まれ、庭木として植えることにより、受益者本人だけでなく家族全体の緑化意識の向上が期待できる。また、記念樹配布列の横に「森のはたらきパネル」を設置することにより、木材利用による緑の循環など森林づくりへの関心を深めることが期待できる。</p>					
<b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b>					
<p>配布樹種には、より愛着心が湧くように、地元鈴鹿市で生産された植木を選定した。また、県民税ロゴ入り記念プレートを配布することで、手入れをする度に、県民税制度などについてリマインドできるように工夫した。</p>					
<b>【新たな対策・視点及び改善点】</b>					
<p>「森のはたらきパネル」を新たに設置し、配布前の待ち時間に森林に関する理解を深めてもらえるように工夫した。また、配布の際に実施していたアンケートについても、森林との関わりについて、全く関係のない話ではないことを分かってもらえる内容に修正した。</p>					

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	緑に親しむ記念樹贈呈事業					
事業費	734,250 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			734,250			

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法 (委託 (請負) 先、補助対象者及びその選定理由)】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
直営		補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】  
該当なし

【主な経費内訳】  
別紙のとおり

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	新生・新築など人生の節目を迎えた市民300人及びその家族 (計1,200人想定)
期待する波及効果	1万5千人以上が集まる大きなイベントで事業実施することで、「森のはたらきパネル」設置による効果は直接の受益者数以上に及ぶ。 また、記念樹が受益者の家庭に存在し続けることで、本事業の効果は家族や友人などに継続的に波及されることが期待できる。

【公的関与の必要性】  
森林との関わりが希薄な若年層に対し、森林環境に関する理解を深めるきっかけを作るには、行政の積極的な関与が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】  
該当なし

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など (自由記載)
のぼり設置	実施中	配布場所にはみえ森と緑の県民税ののぼりを設置することで、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることをPRした。
アンケート実施	実施中	受付時の森林に関するアンケート用紙にみえ森と緑の県民税のロゴマークを配置し、みえ森と緑の県民税活用事業であることを強調した。
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中・後	工事期間中は施工箇所にみえ森と緑の県民税ののぼりを設置することで、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることをPRした。
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずか (ミニ特集) に掲載し、本市における活用状況を市民に周知した。

7. 写真及びその他資料  
別紙のとおり

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	緑に親しむ記念樹贈呈事業					
事業費	734,250 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			734,250			
8. その他特記事項 (受益者の反応等)						
「子どもが公園の木や身の回りの植物に興味を持つようになり、樹種名など聞かれることが多くなった。(小学校入学記念)」、 「木に愛着が持てるようになり、現在趣味としてガーデニングを行っている。(結婚記念)」						

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市
------	-------------	-----	-----

事業名	緑に親しむ記念樹贈呈事業
-----	--------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
苗木代	三色ツツジ	本	100.00	2,000	200,000	鈴鹿市産
	センリョウ	本	100.00	2,000	200,000	鈴鹿市産
	アセビ	本	50.00	2,000	100,000	鈴鹿市産
	ジンチョウゲ	本	50.00	2,000	100,000	鈴鹿市産
プレート代	木製記念プレート	枚	150.00	450	67,500	三重県産材
小計					667,500	
消費税及び地方消費税相当額					66,750	10%
合計					734,250	

第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	緑に親しむ記念樹贈呈事業
-----	--------------

## 7の(1). 写真



写真1

配布した記念樹



写真2

受付の様子



写真3

森のはたらきパネル



写真4

順番待ちの間に森のはたらきについて勉強



写真5

啓発物や木製記念プレートを一緒に配布



写真6

木製記念プレート



写真7

追跡調査



写真8

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	緑に親しむ記念樹贈呈事業
-----	--------------

## 7の(2). その他資料

## ●実施したアンケート用紙

今回のハローツリー(記念樹)配布事業は、「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しています。  
「みえ森と緑の県民税」は、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるために、平成26年4月から三重県が導入した税金です。  
今後の事業実施の参考にするため、あなたの森林に対する想いと、この事業の感想を聞かせてください。

- 森林と あなたの暮らしは密接に関わっていると思いますか。  
 はい  いいえ  分からない
- 次の森林のはたらきのうち、あなたが重要であると考えられるものは何ですか。(複数選択可)  
 山崩れや洪水などの災害を防止するはたらき  水資源を蓄えるはたらき  
 CO2削減効果を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献するはたらき  
 住宅用建材や家具等の原材料となるはたらき  野生動植物の生息地としてのはたらき  
 心身の癒しや安らぎの場を提供するはたらき  自然に触れ合える教育の場としてのはたらき
- 「県民全体で森林を支える社会づくり」のためにあなたができることは何ですか。(複数選択可)  
 身近にある樹や木を大切にすること  木製品などを積極的に活用する  
 緑や森林の大切さを後世に伝える  市や県が実施する森林環境教育に参加する
- あなたにとって1番変わりがある緑は何ですか。  
 家庭園芸、庭木  公園  道路沿いの公共緑化  山にある森林
- シンボルツリーを選ぶ基準として、あなたは何を重視しますか。(複数選択可)  
 病虫害に強い  家の外観に合う  育てやすい  おしゃれ  花、実がなる



## ●広報すずか(ミニ特集)掲載記事

情報館 ● みえ森と緑の県民税事業  
 森林水産課 ☎382-9017 ☎382-7610  
 e-mail: forin@city.suzuka.lg.jp

## 令和4年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします

本市では、平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」に取り組んでいます。

### 市内で実施した事業を紹介します

令和4年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内で8事業を実施しました。

- 深谷公園聖山保全事業**  
 良好な植生林を保全するため、竹の伐採や樹伐材を使用した工作、里山に関する講話などの活動を行いました。
- ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業**  
 ふるさとの木(市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木・樹木群)の所有者などに対して、樹木診断や樹木治療などを実施するための経費を補助しました。
- 緑と人をつなぐ 長大の大樹再生プロジェクト**  
 長大の大樹の増勢を回復するため、高所作業車による樹木診断や支柱の除去などを行いました。
- 森と緑の生涯学習講座**  
 小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、市内の公民館で園芸材を利用した木工工作、フィールドワーク、木のおもちゃに遊べるなどの森林環境学習を行いました。
- 暮らしを守る森林保全事業**  
 海岸付近の松林で、枯枯防止薬の樹幹注入、枯木の伐倒撤去を行いました。
- 森林環境教育 支援事業**  
 森林環境教育、緑化活動など、森林を市民で守り育てる意識の醸成に寄与する活動を実施する団体に対して、補助金を交付しました。
- 緑に親しむ記念樹贈呈事業**  
 新築や新入学などの節目を迎えた市民に対して、本市で生産された苗木を記念樹として配布しました。
- 災害からライフラインを守る事前伐採事業**  
 台風などが原因の倒木により、ライフラインを寸断する可能性がある樹木を事前に伐採しました。

令和5年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の実情に応じて創工夫した森林づくりや県と連携した災害に強い森林づくりなどの施策を実施していきます。

1120-3-3

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	緑に親しむ記念樹贈呈事業
-----	--------------

## 7の(2). その他資料

## ●アンケート結果

## 令和4年度「記念樹贈呈事業」に係る市民アンケート結果

実施年月日: 令和4年10月29日、30日

実施場所: 鈴鹿フラワーパーク「植木まつり」会場

記念樹配布数 300本

アンケート依頼数 300人

アンケート回収数 251人

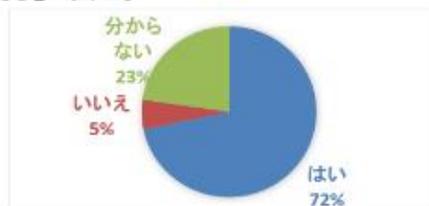
(回収率83.7%)



## 1 森林とあなたの暮らしは密接に関わっていると思いますか。

回答	人数(人)	割合(%)
はい	180	71.7
いいえ	14	5.6
分からない	57	22.7

n = 251



## 2 次の森林のはたらきのうち、あなたが重要であると思うものは何ですか。(複数選択可)

回答	人数(人)	割合(%)
山崩れや洪水などの災害を防止するはたらき	170	67.7
二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献するはたらき	151	60.2
住宅用建材や家具等の原材料となるはたらき	71	28.3
心身の癒しや安らぎの場を提供するはたらき	143	57.0
水資源を蓄えるはたらき	92	36.7
野生動植物の生息地としてのはたらき	113	45.0
自然に触れ合える教育の場としてのはたらき	119	47.4

n = 251

## 重要と考える森林のはたらき



## 3 「県民全体で森林を支える社会づくり」のためにあなたができることは何ですか。(複数選択可)

回答	人数(人)	割合(%)
身近にある緑や木を大切にすること	214	85.3
緑や森林の大切さを後世に伝えること	89	35.5
木製品などを積極的に活用すること	63	25.1
市や県が実施する森林環境教育に参加すること	44	17.5

n = 251

## 「県民全体で森林を支える社会づくり」のためにできること



## 4 あなたにとって1番関わりがある緑は何ですか。(複数選択あり)

回答	人数(人)	割合(%)
家庭園芸、庭木	188	74.9
公園	105	41.8
道路沿いの公共緑化	23	9.2
山にある森林	17	6.8

n = 251

## 1番関わりがある緑

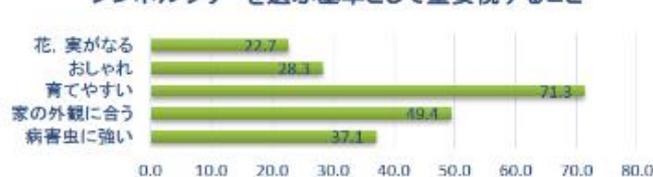


## 5 シンボルツリーを選ぶ基準として、あなたは何を重要視しますか。(複数選択可)

回答	人数(人)	割合(%)
病害虫に強い	93	37.1
家の外観に合う	124	49.4
育てやすい	179	71.3
おしゃれ	71	28.3
花、実がなる	57	22.7

n = 251

## シンボルツリーを選ぶ基準として重要視すること



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
5	森と緑の生涯学習事業					
事業費	980,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			980,000			

1. 事業の目的				
小学生を中心とした子どもと保護者が、森や緑の大切さについて学び、ふれあうことにより、多くのあらゆる世代の市民が、森林保全や持続可能な自然環境などの理解を深めることを目的とする。				
2. 事業実績概要				
<p>【事業内容】 市立公民館において、地域づくり協議会等の社会教育事業を行う専門部に「森と緑の生涯学習講座」として委託し、小学生を中心とした子どもと保護者が、夏休みなど長期休暇を利用しながら、年3回以上、間伐材を使用した木工教室等とともに森林について考える森林環境学習を実施する。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 鈴鹿市 (椿、久間田、庄内、住吉、庄野、清和、若松、河曲、飯野、一ノ宮、稲生、栄、旭が丘、合川の各公民館運営委員会など)</p> <p>【実施個所及び箇所数】 椿、久間田、庄内、住吉、庄野、清和、若松、河曲、飯野、一ノ宮、稲生、栄、旭が丘、合川の各公民館、14箇所</p> <p>【事業量】 各公民館において年間3回以上</p>				
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】				
<p>【事業実施により期待される効果】 各館において、専門家の森の実情、環境、また、県産材の利活用などの講義で基本を学び、木工教室などの実技を取り入れた森林学習を通じて、学習参加者が森や緑の大切さを学ぶことができ、実際に木に触れて興味を持つことができた。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】 施設の立地による特性を活かして講座内容を考えたり、基本小学生を対象としているため子供が興味を持つ工作を組み入れるなどの工夫をした。また、子どもを通して保護者を巻き込んだ講座で参加対象の幅を広げた。さらに、指導者として高齢者の参加を促す取り組みも行った。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】 森や緑の大切さを体験する中で、作って楽しいだけの事業とならないように森林学習の仕方を工夫する必要がある。</p>				
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法 (委託 (請負) 先、補助対象者及びその選定理由)】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	地域協議会等	10/10以内	70,000	
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
5	森と緑の生涯学習事業					
事業費	980,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			980,000			

地域づくり協議会や公民館運営委員会が、地域の生涯学習の場、地域の方の交流の拠点でもある公民館の事業運営を行っているため。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地区全域に回覧する広報や小学校へのチラシ配布により受益者を幅広く募集したことで計966名の参加があった。
期待する波及効果	環境に対する森林保全の重要性の理解、対策としての県の取り組みへの理解を高める。

## 【公的関与の必要性】

森林保全に関する情報、講師の案内、他市町の事業に関する情報などの提供。全県的な取り組みや方針など包括的な理解を促すため。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

該当なし

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	講座中の掲示
広報誌掲載	実施前・中・後	地域へ回覧。募集、事業報告。
チラシ等配布	実施前	地域へ回覧。地区内施設への掲示。募集時
HP掲載	実施前・中・後	鈴鹿市HPの発行公民館だよりの掲載
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずか（ミニ特集）に掲載し、本市における活用状況を市民に周知した。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

アンケートの結果、森や緑は大切にすればするほどきれいになることが分かった、これからは自然を大切にしようと思った、生活に密着した作品づくりは楽しい等の回答があった。



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑の生涯学習事業
-----	------------

## 7 の ( 1 ) . 写真



写真1

久間田公民館 コースター作り



写真2

庄内公民館 まな板作り



写真3

飯野公民館 廃材でおもちゃ作り



写真4

合川公民館 おもちゃ作り (飛行機)



写真5

旭が丘公民館 フォトフレーム作り



写真6

住吉公民館 森と緑のお話

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑の生涯学習事業
-----	------------

7の(2). その他資料

**7 栄公民館だより**  
TEL: 387-0452 FAX: 386-9603

**7月と8月の行事予定**

7/4(月) うたの和(月)㊟	8/1(月) うたの和(月)㊟
7/5(火) うたの和(火)㊟	8/2(火) うたの和(火)㊟
7/11(月) 乳幼児体験ひろくこく3㊟	8/8(月) 森と緑のふれあい教室㊟
7/13(水) 大人のぬりえ教室	8/10(水) キッズアスレチック教室
7/22(金) いきいき教室㊟	8/22(月) 子ども折り紙教室
7/25(月) 森と緑のふれあい教室㊟	
7/26(火) 女ボスター作り教室㊟	
7/27(水) 女ボスター作り教室㊟	

**図書記本ふれあいライブラリー**  
公民館には、毎月2冊、図書館員さんが図書本の入替やリクエスト本の受付などおこなってやっています。公民館に置いていない本でも図書館に予約可です。借りることができます。ぜひ、ご利用ください。

●次の巡回日は…  
7月6日(月)と7月19日(金)  
8月1日(月)と8月15日(月)  
14:30~15:00です。

**栄公民館からのお知らせ**

**小・中学生対象森と緑のふれあい教室**

**きのこはなかなかやるもんだ**

みえ森と緑の県民都市町交付金事業

＜日 時＞12月27日(火)10:00~11:30  
＜講 師＞三重県林業研究所 井上さん  
＜定 員＞15名  
＜内 容＞きのこのお話を、シタケの菌打ち体験(種れた外で行います)をします。  
＜持ち物＞軍手、汚れてもいい服装、水分、上靴、タオル、マスク着用をお願いします。  
(講座前に検温をさせていただきます。)  
＜参加費＞200円(当日現金します。)  
※コロナの原木(90cm程度)を持ち帰りますので車での迎えをお願いします。

**森と緑のふれあい教室のご案内**

森と緑のふれあい教室の概要

この教室は、「みえ森と緑の県民都市町交付金」を活用した事業です。この事業を通して、子どもたちに森や自然の大切さはもちろん、自然の役割などを知ってもらいたいと思います。自然に触れる機会も少なくなっている時代です。この機会に、泉の子どもたちに自然について教養を深めてもらいたいと思います。

**【カランダーを作ろう】** 造作体験です。  
大人数で… 高さ約 20cm×奥行約30cm×幅約14.5cm  
日 時: 7月25日(月) 9:30~11:30  
場 所: グリーンホール2F  
講 師: 森と緑のふれあい教室  
定 員: 15名  
内 容: カランダーを作ります。  
持ち物: 持ち帰り用紙、水分、上靴、タオル、マスク着用をお願いします。  
参加費: 200円

**【花車を作ろう】**  
大人数で… 高さ約 30cm×奥行17cm×幅約14.5cm  
日 時: 8月2日(月) 9:30~11:30  
場 所: グリーンホール2F  
講 師: 森と緑のふれあい教室  
定 員: 15名  
内 容: 花車を作ります。  
持ち物: 持ち帰り用紙、水分、上靴、タオル、マスク着用をお願いします。  
参加費: 200円

＜申込方法＞ 7/22(火)午前9時から受付を開始します。下記申込書に必要事項をご記入の上、公民館まで提出ください。(受付時間:平日(土日祝除く)9:00~17:00)とします。無着期とさせていただきます。定員になり次第締め切らせていただきます。(電話不可)

＜ご案内＞ 公民館の申し込み受付はさせていただきます。(代埋での申込みはできません)  
・当日キャンセルされる場合には、後日、材料費 200 円をお支払いいただくことになります。(当日使用する原木と重をお返しします。)  
また、キャンセルされる場合は、お申し込み後、公民館までご連絡ください。

＜参加対象＞ 豊小中学校区に在住の小学生、小中学生 1~6 年生の児童(小学 2 年生以下は、保護者(18 歳以上)の同伴が必要です)  
・教室では、きのこについての学習を行います。

＜その他＞  
この教室は、「みえ森と緑の県民都市町交付金」を活用した事業です。この事業を通じて子どもたちに、森や自然の大切さはもちろん、自然の役割などを知ってもらいたいと思います。  
・マスク着用、ご利用前の検温実施(高熱等の症状がある場合は控えてください)  
新型コロナウイルス感染症拡大防止策を十分にとり実施させていただきます。  
また、感染症状況によっては、事業を中止させていただく場合もあります。

**森と緑のふれあい教室・きのこはなかなかやるもんだ申込書**

申し込み	学年
お名前	年
電話番号	
住所	

**令和4年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします**

市内で実施した事業を紹介します

令和4年度、みえ森と緑の県民税を活用し、市内で事業を実施しました。

- 1 深谷山麓山麓安全事業**  
良好な土壌を保全するため、竹の伐採や腐葉土を使用した土作り、草刈に関する講話などの実施を行いました。
- 2 森と緑の生涯学習教室**  
小学生を中心とした子ども等を対象に、市内の公園等で自然観察会を開催し、フィールドワーク、木の観察などを通して自然の大切さや環境意識を醸成しました。
- 3 暮らしを守る森林安全事業**  
河川周辺の森林、林道の周辺に、木の伐倒作業を行いました。
- 4 暮らしを守る森林安全事業**  
河川周辺の森林、林道の周辺に、木の伐倒作業を行いました。
- 5 暮らしを守る森林安全事業**  
河川周辺の森林、林道の周辺に、木の伐倒作業を行いました。
- 6 暮らしを守る森林安全事業**  
河川周辺の森林、林道の周辺に、木の伐倒作業を行いました。
- 7 暮らしを守る森林安全事業**  
河川周辺の森林、林道の周辺に、木の伐倒作業を行いました。
- 8 暮らしを守る森林安全事業**  
河川周辺の森林、林道の周辺に、木の伐倒作業を行いました。

**豊たみ子ども講座 参加者募集**

2022 豊たみ子ども講座 参加者募集

共同: 豊たみ青少年育成財団 共同

**8/1(月) 水を使ったおもちゃ作り**  
みえ森と緑の県民都市町交付金事業  
水を使ったおもちゃ作り  
日時: 8月1日(月) 13:30~15:30  
場所: 豊たみ公民館 ホール  
講師: 豊たみ公民館  
参加費: 100円(当日現金) 定員: 15人  
持ち物: 軍手、上靴、水筒  
※ 1~3年生は保護者同伴

**8/4(木) 伊勢型紙 ハンカチ染め体験**  
みえ森と緑の県民都市町交付金事業  
伊勢型紙 ハンカチ染め体験  
日時: 8月4日(木) 13:30~15:30  
場所: 豊たみ公民館 ホール  
講師: 伊勢型紙 研究会  
参加費: 100円(当日現金) 定員: 15人  
持ち物: 上靴、水筒、手拭タオル  
※ 1~3年生は保護者同伴

**8/5(金) きのはなかなかやるもんだ**  
みえ森と緑の県民都市町交付金事業  
きのこはなかなかやるもんだ  
日時: 8月5日(金) 10:00~11:30  
場所: 豊たみ公民館 ホール  
講師: 林業研究所 職員  
参加費: 100円(当日現金) 定員: 20人  
持ち物: 筆記用具、上靴、水筒  
※ 1~3年生は保護者同伴

**8/8(月) 伊勢型紙 貝がらと木の葉のフォトフレーム**  
みえ森と緑の県民都市町交付金事業  
伊勢型紙 貝がらと木の葉のフォトフレーム  
日時: 8月8日(月) 10:00~11:30  
場所: 豊たみ公民館 ホール  
講師: 三重県青年育財団センター 職員  
参加費: 100円(当日現金) 定員: 15人  
持ち物: 上靴、水筒、手拭タオル  
※ 1~3年生は保護者同伴

申込書ダウンロード: 7/13(水)締め切り

氏名(フリガナ)	学年	保護者氏名(フリガナ)	必ず連絡のつく電話番号

住所: 鈴鹿市

申込する講座に○印をつけてください。(マックス60人)

- 8/1(月)「水を使ったおもちゃ作り」
- 8/4(木)「伊勢型紙ハンカチ染め体験」
- 8/5(金)「きのこはなかなかやるもんだ」
- 8/8(月)「伊勢型紙貝がらと木の葉のフォトフレーム」

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
6	深谷公園里山保全事業				
事業費	235,741 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			150,000	0	85,741

## 1. 事業の目的

本市が管理している深谷公園内において市民と共に森林整備 (里山整備) を実施している。今年度から新たなエリアの森林整備を開始し, 更なる里山の再生を図るとともに, 市民の自然環境保全の意識向上を促す。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

深谷公園内の新規エリアについて, 良好な植生林を保全・里山を再生するため, ボランティア団体による下草刈り, 青竹の除伐等の活動を行った。また, 市民の方にも, 里山保全活動に参加してもらうため, 当該団体に講師を依頼し, 市民参加イベントとして, 里山保全活動を行った。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

市及びボランティア団体

## 【実施個所及び箇所数】

深谷公園1か所

## 【事業量】

里山整備約3,000㎡

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

当地が自然とふれあい学ぶ場として活かされ, 里山林をはじめとした森林, 自然環境との触れ合い, 自然との共生の大切さに対する理解が進むことが期待できる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

当地での自然環境の体験・学習を目的としたイベントを開催し, 市民の方の取り組みの輪を広げていく。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

市民の方が参加しやすい取り組みとして, 新規エリアにおける青竹の除去作業を行った。

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
6	深谷公園里山保全事業				
事業費	235,741 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			150,000	0	85,741

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識（森林インストラクターの資格等）を持ち合わせている事

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	当該活動に触れた人物
期待する波及効果	市民参加のイベントの開催や、公園を訪れることにより、自然や里山環境に興味を持つ人が増えることが期待される。

【公的関与の必要性】

本市の計画・施策（豊かな自然環境の保全）の下に推進すべき事業である

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

深谷公園は市の公園であるため、基本的に管理は市で行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを示したのぼりを設置す
その他	実施中	市民参加イベント実施中に司会から県民税を活用した取組であることを参加者にアナウンスする。
広報誌掲載	実施後	市広報で事業報告を行った。
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずか（ミニ特集）に掲載し、本市における活用状況を市民に周知した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

- ・里山に関する基礎知識や竹林整備の方法などを学ぶことができ、良い勉強になった。
- ・このような自然環境について学べる機会は今後も必要だと思う。（市民参加イベント参加者の声）

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市
------	--------------------	-----	-----

事業名	深谷公園里山保全事業
-----	------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
消耗品	下刈鎌	個	2.00	10,000	20,000	県民税
	中吊唐鋏	個	2.00	7,500	15,000	県民税
	砥石	個	2.00	1,000	2,000	県民税
	布製鎌カバー	個	2.00	1,500	3,000	県民税
	チェーンオイル	個	2.00	6,380	12,760	県民税
	麻縄ロープ	個	3.00	3,480	10,440	県民税
	薪割斧	個	1.00	25,603	25,603	県民税
	軍手	個	3.00	398	1,194	県民税
	竹用ノコギリ	個	1.00	1,180	1,180	県民税
	竹用ノコギリ替刃	個	3.00	768	2,304	県民税
	シイタケ菌	個	7.00	1,925	13,475	県民税
	切り出し小刀	個	5.00	484	2,420	県民税
	剪定鋏	個	3.00	2,080	6,240	県民税
	剪定鋏	個	2.00	2,980	5,960	県民税
	軍手	個	3.00	498	1,494	県民税
	混合ガソリン	個	2.00	1,380	2,760	県民税 (924円) + 市単費 (1836円)
保険	普通傷害保険 (50人)	回	2.00	8,389	16,778	県民税
保険	普通傷害保険 (55人)	回	1.00	9,228	9,228	県民税
印刷製本費	広報すずか環境館	式	1.00	53,905	53,905	市単費
委託料	市民活動講師依頼料	回	3.00	10,000	30,000	市単費
			合計		235,741	

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	深谷公園里山保全事業
-----	------------

## 7の(1). 写真



写真1

ボランティアによる青竹の伐採作業(里山保全事業)



写真2

竹を伐採したエリア(里山保全事業)



写真3

竹を使用した工作体験(里山保全活動)



写真4

シイタケ菌打ち体験(里山保全活動)



写真5

竹の伐採体験(里山保全活動)



写真6

薪割り講座(里山保全活動)

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	深谷公園里山保全事業
-----	------------

## 7の(2). その他資料

## ●市広報(ミニ特集)

**情報館** みえ森と緑の県民税事業  
 資料水産課 ☎382-9017 ☎382-7610  
 info@city.suzuka.lg.jp

**令和4年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします**  
 本市では、平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用し、災害に強い森林づくり(土壌改良と木質系を主とする森林づくり)に取り組んでいます。

**市内で実施した事業を紹介いたします**  
 令和4年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内で8事業を実施しました。

**深谷公園里山保全事業**  
 良好な樹林を保全するため、竹の伐採や樹木伐採を使用した工作、里山に関する解説などの活動を行いました。

**ふるさとの木(木古木)保存活用事業補助事業**  
 ふるさとの木(市内の天然記念物や希少な樹木のシンボルとなっている樹木・樹木群)の所有者などに対して、樹木診断や樹木治療などを実施するための経費を補助しました。

**人と人を育む 樹木の大切 両生プロジェクト**  
 過去の活動の成果を回復するため、高野山にて樹木の診断や樹木の除去などを行います。

**森と緑の生涯学習講座**  
 小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、雨の日の活動で環境技術を習得した木工工作、メイプルワーク、木のおもちゃに飾るなどの森林環境学習を行いました。

**暮らしを守る森林保全事業**  
 高野山周辺の森林で、冠水防止等の樹木侵入、枯木の伐倒撤去を行いました。

**森林環境教育 支援事業**  
 森林環境教育、緑化推進など、森林を身近に守り育てる意識の醸成に寄与する内容を実施する団体に対して、補助金を交付しました。

**緑に親しい記念樹植樹事業**  
 結婚や新入学などの節目を迎えた市民に代り、本市で生産された樹木を記念樹として配布しました。

**災害からライフラインを守る事業**  
 台風などが原因の倒木により、ライフラインを寸断する可能性がある樹木を事前に伐採しました。

令和5年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりや果と連携した災害に強い森林づくりなどの実施を実施していきます。

## ●市広報(環境館)

**環境館** 里山の自然をみんなで守りましょう  
 電話受付 ☎382-7934 ☎382-2214 info@city.suzuka.lg.jp

本市の豊かな自然環境に育まれたイベントを開催しています。身近な自然との触れ合いを通して、環境への関心を高めるきっかけに、ぜひご参加ください。

**里山保全活動って?**  
 本市では、平成22年度から深谷公園(八野町)で里山保全活動を実施しています。里山保全活動とは、登録ボランティアの皆さんと植生調査や竹の除去、下草刈りや間伐を行う活動です。こうした活動により、そこに生息する希少な動植物を保全することにつながります。また、活動では放置された森林を再生する手法の学習や、まき割りやシタケの菌打ち体験も行っています。

**里山保全事業って?**  
 里山保全事業とは里山ボランティアによる自主活動のことです。令和3年度から里山保全事業として、三重森林インストラクター会の方たちを中心に、深谷公園内の良好な樹林を保全するため、下草刈りなどの森林整備や希少植物の調査などの活動を行っています。

**昨年度の活動を紹介します**

**里山保全活動(環境政策課)**  
 12月4日 下草刈り、里山についての講義  
 3月19日 シタケ菌打ち・まき割り体験

**里山保全事業(自主活動)**  
 6月19日 公園内の調査指定区域内の観察調査  
 7月17日 樹生や地形などの調査  
 10月16日 樹木調査  
 11月13日 樹木調査  
 1月15日 里山保全活動用のコナラほだ木の伐採  
 1月22日 危険な枯損木の除去  
 1月29日 枯損した竹の除去、マダケの除去  
 2月26日 枯損した竹の除去、マダケの除去

令和3年度以前の活動は、市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

**活動に参加するには?**  
 里山ボランティアでは、幅広い年代の方が活躍しています。活動への参加には、ボランティアの登録が必要ですので、環境政策課へお問い合わせください。里山の変化や管理方法を学び、皆さんの地域で知識を生かしてみたい。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
7	ふるさとの木 (名木古木) 保存活用事業補助事業				
事業費	2,680,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,680,000		

## 1. 事業の目的

衰退の兆候が見られる市内にある天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木について、所有者 (地元住民) 自身が主体的に樹木健康診断や樹勢回復等を行うことで、地域の文化財として保護し、将来にわたり地域で森林環境教育を行う学びの場となることを目的とする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

ふるさとの木 (市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木及び樹木群) の所有者等が樹木診断及び樹木治療等を実施するための経費に対し補助することで、ふるさとの木の所有者等の主体的に保存する行動につなげる。また、地域のシンボルとして地域の様々な世代が地域の森林や樹木とふれあう場を提供し、地域全体で緑を守り育てる意識を醸成し、地域の宝として、大切に活動へとつなげていく。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

ふるさとの木の所有者

## 【実施個所及び箇所数】

3か所 (地藏大マツ、稻生山の躑躅、白子不断ザクラ)

## 【事業量】

3か所

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

事業実施当日は、所有者や地域の方を含め、多くの方が見守る中実施された。所有者及び地域の方に対し、樹木医から本樹木の状況や森林の持つ多面的機能についても説明し、学ぶ機会を提供することができた。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

本樹木を中心とした本事業を実施するにあたり、市政記者クラブへ情報提供したことで、新聞取材もあり、本樹木の地域における重要性を再確認することができた。また、所有者及び地域の方に対し、樹木医から本樹木の状況や森林の持つ多面的機能についても説明したことで、学ぶ機会を提供することができた。

また、稻生山の躑躅については、事業実施前に、地元のまちづくり協議会に樹木医による樹木環境教育を行い、本樹木に対する関心を高めることができた。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

番号	事業名				
7	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業				
事業費	2,680,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,680,000		

本事業が3年目となり、浸透してきたことから、事業個所を3箇所に増やした。また、地蔵大マツについて、支柱設置や精密検査など、新たな処置等を行った。

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	個人	3/4以内	2,000,000	

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

地蔵大マツは、所有者である西玉垣町自治会が、積極的に樹勢回復事業に関わってきた。しかしながら、令和元年8月・令和2年1月に、当該樹木の腐朽が原因とみられる枝折れが発生した。更に令和3年1月に枝折れが発生したため、引き続き緊急に対応が必要と考えられた。

稲生山の躑躅は、ツツジの樹勢衰弱の要因となっている日照阻害木を伐採し、躑躅の生育環境の改善整備が必要であり、山林管理及び倒木による線路への被害を防止する必要がある。以前から地元から要望があり、近年の気候変動や台風の影響等から倒木の可能性が高く、線路への影響等から緊急性が高いと判断し、以上の理由により選定した。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	ふるさとの木の所有者及びふるさとの木の保存活用に関する取り組みに参加した地域住民
期待する波及効果	所有者や地域の方を含め、多くの方が見守る中実施された。所有者及び地域の方に対し、樹木医から本樹木の状況や森林の持つ多面的機能についても説明し、学ぶ機会を提供することができる。

## 【公的関与の必要性】

樹木所有者の負担のみで、公財産でもある指定文化財を保護することは、経済的にも人的にも非常に困難であり、公的関与は必要である。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

日常管理を含め、所有者が管理していく。なお、指定天然記念物であることから、転用しない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
7	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業				
事業費	2,680,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,680,000		

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	白子不断ザクラと地蔵大マツについて、実施期間中にみえ森と緑の県民税の旗を設置し、PRを行った。稲生山のツツジは説明書きを設置した。
その他	実施前	稲生山の躑躅について所有者である神社に対し、実施前に本事業が県民税を活用し、実施していることを説明した。
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずか（ミニ特集）に掲載し、本市における活用状況を市民に周知した。
7. 写真及びその他資料		
別紙のとおり		
8. その他特記事項（受益者の反応等）		
所有者からは、一日でも長く、地元のシンボルとして樹木が残って欲しい。そのためにも樹木が生きながらえることのできる措置を行ってほしいとの声をいただいた。		

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市
事業名	ふるさとの木 (名木古木) 保存活用事業補助事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

## 地蔵大松

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
樹勢回復作業	樹木医費用	人	1.00	40,000	40,000	
樹勢回復作業	造園技術者	人	2.00	30,000	60,000	
樹勢回復作業	エアスコップ機材使用	式	1.00	80,000	80,000	
樹勢回復作業	土壌改良資材	式	1.00	60,000	60,000	セラミック炭ほか
樹勢回復作業	報告書作成費用	式	1.00	50,000	50,000	
樹勢回復作業	諸経費 (上記金額の20%)	式	1.00	58,000	58,000	
小計					348,000	
消費税及び地方消費税相当額					34,800	
合計					382,800	
樹勢回復作業	補助事業				260,000	合計額の 4 分の 3 以内

## 稲生山の躑躅

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
伐採作業	日照障害木の伐採	式	1.00	2,050,000	2,050,000	
伐採作業	諸経費	式	1.00	401,000	401,000	
	調整	式	1.00	-26,455	-26,455	
小計					2,424,545	
消費税及び地方消費税相当額					242,455	
合計					2,667,000	
伐採作業	補助事業				2,000,000	合計額の 4 分の 3 以内

## 白子不断ザクラ

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
樹勢回復作業	腐朽幹除去・支柱設置	式	1.00	200,000	200,000	
樹勢回復作業	土壌改良作業	式	1.00	125,000	125,000	
樹勢回復作業	報告書作成費用	式	1.00	100,000	100,000	
樹勢回復作業	諸経費	式	1.00	85,000	85,000	
小計					510,000	
消費税及び地方消費税相当額					51,000	
合計					561,000	
樹勢回復作業	補助事業				420,000	合計額の 4 分の 3 以内

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	ふるさとの木 (名木古木) 保存活用事業補助事業
-----	--------------------------

## 7 の (1) . 写真



写真1

根の調査 (地蔵大マツ)



写真2

根の調査 (地蔵大マツ)



写真3

稲生山のツツジ



写真4

支障木伐採 (稲生山のツツジ)



写真5

支障木伐採 (稲生山のツツジ)



写真6

樹勢回復作業 (白子不断ザクラ)



写真7

樹勢回復作業（白子不断ザクラ）



写真8

写真8

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
8	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト				
事業費	1,320,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,320,000		

## 1. 事業の目的

地域緑化のシンボルとなっている長太の大楠 (なごのおおくす) は、近年、周辺環境の変化や塩害、落雷等の影響により衰退の兆候が見られてきた。地域住民から愛され、市のランドマークでもある長太の大楠の樹木健康診断や樹勢回復等を行うことで、身近な樹木に対する関心をさらに高め、将来にわたって地域で森林環境教育を行う学びの場となることを目的とする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

長太の大楠に樹木診断及び樹木治療等を実施することで、地域の様々な世代が地域の樹木に関心を持ち、地域全体で緑を守り育てる意識を醸成し、保全する活動へとつなげていく。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

鈴鹿市

## 【実施個所及び箇所数】

1か所

## 【事業量】

1か所

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

本樹木を中心とした本事業を実施するにあたり、市政記者クラブへ情報提供したことで、新聞による取材もあり、本樹木の地域における重要性を再確認できた。また、地域の方に対し、樹木医から本樹木の状況について説明し、学ぶ機会を提供することができた。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

本事業を実施する前に、地域の小学校で、地元保存会と樹木医による樹木環境教育を行い、本樹木に対する関心を高めることができた。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

樹木調査を行い、経過を確認することが出来、今後の処置等の参考にする。また、西側道路に面する枯れ枝について、落下の危険性があるため、切除を行い、周囲の安全を確保した。

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法 (委託 (請負) 先、補助対象者及びその選定理由)】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
8	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト				
事業費	1,320,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,320,000		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

高い専門性をもった樹木医による適切な樹勢回復措置が必要であるため、委託事業は適切である。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	樹木の保存活用にかかる取組に関わった地域の児童・生徒並びに地域住民
期待する波及効果	当該樹木を地域の宝として守ろうとする意識を高めることができる。

## 【公的関与の必要性】

市が管理団体に指定されているため適切

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

日常管理については、保存会が管理していく。なお、県指定天然記念物であることから、転用されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	敷地内にのぼりを設置し、県民税事業であることを記載し、周知した。
その他	実施前・中・後	事業実施前に市政記者クラブに本事業の実施について記者提供し、当日の取材を受け、後日掲載された。
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずか（ミニ特集）に掲載し、本市における活用状況を市民に周知した。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

所有者や地元にも樹木を守る意識が高まった。

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市
------	--------------------	-----	-----

事業名	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト
-----	---------------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

## 樹勢回復作業業務委託 (被害調査)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
被害調査作業	樹木医	人	4.00	40,000	160,000	
被害調査作業	造園工	人	1.00	25,000	25,000	
被害調査作業	登攀技術者	人	1.00	40,000	40,000	ロープワーク
被害調査作業	登攀補助技術者	本	3.00	30,000	30,000	ロープワーク
被害調査作業	諸経費等	式	1.00	288,636	288,636	
			小計		543,636	
			消費税		54,364	
			合計		598,000	

## 樹勢回復作業業務委託 (枯枝切除)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
枯枝切除作業	樹木医	人	4.00	40,000	160,000	
枯枝切除作業	特殊鋼諸作業員	人	2.00	40,000	80,000	
枯枝切除作業	造園技術者	人	4.00	25,000	100,000	
枯枝切除作業	高所作業車	車	2.00	50,000	100,000	
枯枝切除作業	枯枝処分費	式	1.00	20,000	20,000	
枯枝切除作業	保護材費	式	1.00	10,000	10,000	
枯枝切除作業	ガードマン費用	人	4.00	20,000	80,000	
枯枝切除作業	諸経費等	式	1.00	106,364	106,364	
			小計		656,364	
			消費税		65,636	
			合計		722,000	

合計 1,320,000

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト
-----	---------------------

## 7の(1). 写真



写真1

枯れ枝の切除



写真2

枯れ枝の切除



写真3

枯れ枝の切除



写真4

被害調査



写真5

被害調査



写真6

被害調査



# 龜山市

## 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報 (令和4年度版三重県市町要覧による)

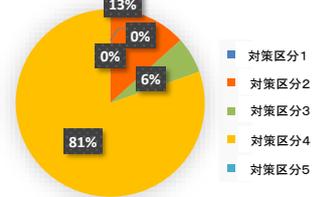
市町名	亀山市	三重県
人口 (人)	49,724	1,744,795
年少人口割合 (%) * 1	12.5%	11.8%
森林面積 (ha)	12,013.00	372,120.00
民有林面積 (ha) * 2	11,659.00	348,601.00
森林率 (%)	63.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	13.4	10.5

\* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2: 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

\* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



## 2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	集落周辺の森林整備事業 (危険木等の伐採)	2,333,265	2,000,000		2,000,000				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	990,000	247,500		247,500				
3	3	森と木材のふれあい事業 (森林づくり協議会)	1,053,000	1,052,500			1,052,500			
4	4	森と木材のふれあい事業 (木とふれあう)	1,485,000	1,485,000				1,485,000		
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業 (森林公園やまびこ)	1,999,308	1,958,000				1,958,000		
6	4	亀山市立図書館備品等整備事業	39,106,320	10,110,000				10,110,000		
		計	46,966,893	16,853,000	0	2,247,500	1,052,500	13,553,000	0	0

## 3. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.05ha	990,000	247,500	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採 (伐採内訳: スギ・ヒノキ167本)

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<b>事業方針</b>	本市は、北勢地域随一の林業地帯として古くからスギ・ヒノキを主とした人工林の整備が進められ、良質な木材の生産・供給が行われてきました。しかし、林業を取り巻く情勢は厳しく、採算性の悪化、高齢化等による担い手不足のため、放置される森林が増加したことで森林の機能低下が進んでいます。このため、既存の財源を活用し、林業生産活動の支援や地域材を活用した商品を「亀山ブランド」として認定することで森林整備や地域材の利用促進に取り組んでいます。今後も、森林の有する様々な働きを発揮させるための森林整備や地域材の利用を促進するためには、市民の森林に対する理解と関心を深めることが大切です。このことから、県民税を活用し、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることや、暮らしに身近な森林の整備を進め、地域の生活環境の向上を図ります。
<b>事業実施により期待される効果</b>	様々な事業に取り組み、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることで市民の森林に対する理解と関心が深まるとともに、地域の危険木やライフラインが寸断される恐れのある樹木を伐採することで市民の暮らしの安全・安心に大きく寄与できる。協議会がコロナ禍の中、工夫を凝らしイベントを開催することで幅広い年代の市民に森林とふれあう場を提供できる。更に、保育園・認定こども園で木育教室を開催することで園児たちに木材にふれる機会が作れ、豊かな心が育まれる。森林公園やまびこの施設整備等を行うことで、子どもから大人まで安全・安心して施設を利用することができること、森林や木にふれあう場や緑に親しむ環境を提供できる。
<b>情報発信への取組</b>	市ホームページに事業実施結果を掲載。イベント開催時にパンフレットや啓発物品を配付。

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	① 意向調査の準備作業	21,454	21,454
2	② 意向調査	87	87
3	③ 私有林整備	204	204
4	⑩ 専門員の雇用	2,100	2,100
5	⑰ 基金積立 (森林整備等)	13,925	12,850
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	37,770	36,695

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	集落周辺の森林整備事業 (危険木等伐採)					
事業費	2,333,265 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,000,000		333,265	

<b>1. 事業の目的</b>
自治会や市民から公共施設周辺の倒木の恐れのある危険木の除去や道路に覆いかぶさった枝葉が通行に支障を及ぼすため剪定などの要望が近年多くあることから、伐採や剪定により除去することで市民の安全・安心に寄与する。
<b>2. 事業実績概要</b>
<p><b>【事業内容】</b> 公共施設周辺の危険木や道路上に覆いかぶさった枝葉を伐採、剪定する。伐採した危険木は放置せずチップ工場へ搬出し木質バイオマスの燃料として活用する。また、伐採後は天然更新または、適宜伐採するなど多様な広葉樹林帯を形成し緑化に努める</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b> 亀山市</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b> 1箇所 (市道西町落針線)</p> <p><b>【事業量】</b> 危険木: 6本</p>
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b> 地域の生活環境及び通行時の安全・安心が確保されることと、回覧文書にて県民税をPRすることで集落周辺の森林整備をすることの大切さを学ぶ。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b> 自治会等からの要望を基に、特に危険度の高いところから優先的に伐採を実施することで効果的に事業を実施している。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b> 自治会等からの要望を基に危険度の高いところから実施。</p>

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）				
事業費	2,333,265 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		333,265

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	建設業者	補助事業ではない		「公園・緑地の維持管理と積算」財団法人経済調査会を基に伐採の積算歩掛り。入札により、落札業者と単価契約を締結。

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

危険木の伐採作業は高度の技術を要するため、伐採作業に長けた地元建設業者による入札を実施し、落札業者と単価契約を締結した。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	1地区（940世帯、1654人）
期待する波及効果	地域の生活環境及び通行時の安全・安心が確保される。

## 【公的関与の必要性】

各施設の管理者は市であることから公的関与が必要である。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市管理の施設であることから転用の恐れはない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	市ホームページに掲載し周知する。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）



第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	集落周辺の森林整備事業 (危険木等伐採)
-----	----------------------

7 の (1) . 写真



写真1  
市道西町落針線 (伐採前)



写真2  
市道西町落針線 (伐採後)



写真3

写真3



写真4

写真4



写真5

写真5



写真6

写真6

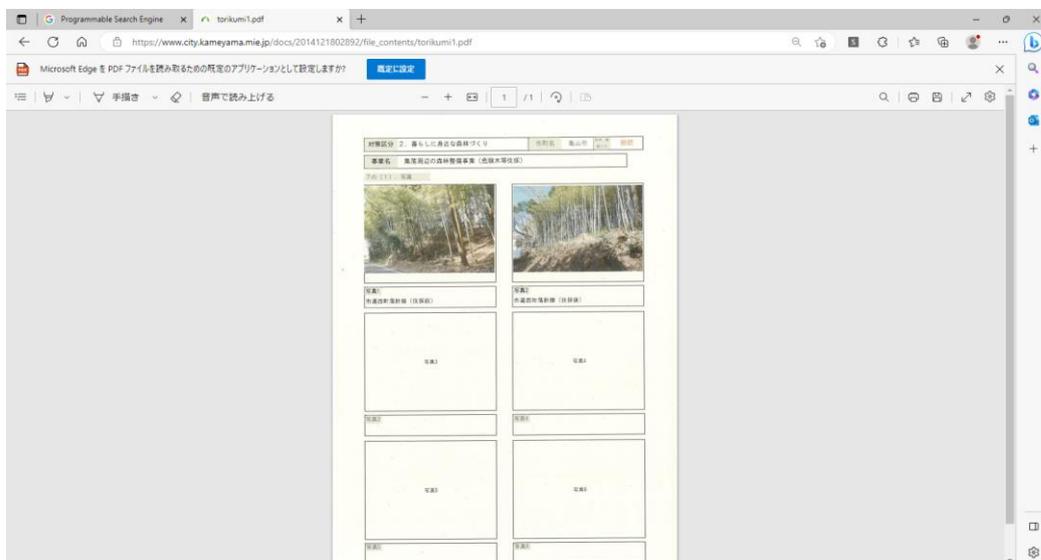
第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	集落周辺の森林整備事業 (危険木等伐採)
-----	----------------------

7 の (2) . その他資料

亀山市HP掲載



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	990,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			247,500		742,500	

<b>1. 事業の目的</b>
台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採し、市民の暮らしの安全・安心を守る。
<b>2. 事業実績概要</b>
<p><b>【事業内容】</b>          県・市及びライフライン事業者と三者協定を締結し、事業の対象とする箇所の現地調査等を行い、施行範囲、伐採本数を決定する。また、所有者の明確化、承諾交渉及び根拠資料を作成し、台風などにより、倒木の恐れのある樹木や枝葉を事前に伐採・除去する。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b>          中部電力パワーグリッド株式会社・三重県・亀山市</p> <p><b>【実施箇所及び箇所数】</b>          亀山市加太神武地内</p> <p><b>【事業量】</b>          施行面積：0.05ha 伐採本数：スギ・ヒノキ 167本</p>
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b>          台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採し、整備することで市民の暮らしの安全・安心が守られる。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b>          ライフライン事業者・県・関係部局と連携し、特にライフラインの保全が重要な箇所を選定し、危険木を伐採することで効果的に事業を実施した。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b>          ライフライン事業者・県・市の3者で連携し、引き続きライフラインの保全に取り組んでいく。</p>

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事業費	990,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			247,500		742,500

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林施業に実績のある森林組合を対象に指名競争入札にて決定

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	亀山市加太神武地区（29世帯 64人）
期待する波及効果	台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採し、整備することで市民の暮らしの安全・安心が守られる。

## 【公的関与の必要性】

台風等の倒木被害から、ライフラインを守ることは公益的に重要であることから、県民の安全・安心な生活を守るため、市が事業を実施し、災害時の被害を抑える。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施後の伐採木及び森林の管理は土地の所有者が管理を行う。また、事業実施承諾書を得ているが、その中で施行後に市の行う維持管理行為をばまないと規制等をしている。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施前・中・後	事業実施箇所にのぼりを設置
施工看板に掲示	実施中	県民税マグネットにて掲示
チラシ等配布	実施前	関係自治会に事業実施について文書を配布

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市
------	-----------------	-----	-----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採	高所作業車使用	m <sup>2</sup>	500.00	1,800	900,000	スギ・ヒノキ 167 本、高所作業車、交 通誘導員含む
			小計		900,000	
			消費税及び地方税相当額		90,000	
			合計		990,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の ( 1 ) . 写真



写真1  
伐採前



写真2  
伐採前



写真3  
伐採中



写真4  
伐採中



写真5  
伐採後



写真6  
伐採後

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

## 7の(2). その他資料

令和 4 年 8 月 4 日

加太神武自治会のみなさまへ

亀山市産業環境部農林振興課

## 災害からライフラインを守る事前伐採事業の実施について

平素は、森林林業行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、加太神武地内の市道神武線沿いにて台風などにより、ライフライン（配電線）を寸断する恐れのある樹木を事前に伐採することで配電線の断線や配電柱の倒壊を未然に防ぐ事業を実施させていただくこととなりました。このような倒木被害を未然に防ぎ、山間部における長期的な停電が発生しないように取組むことで、市民の安全・安心な暮らしを守ります。

つきましては、下記の期間にて実施させていただき、市道での作業中は交通誘導員等を配備し安全に努めさせていただきます。みなさまには、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この事業はみえ森と緑の県民税市町交付金を活用して実施します。

## 記

期 間：令和 4 年 8 月 22 日（月）～令和 4 年 9 月 30 日（金） 8：30～17：15

受託者：鈴鹿森林組合 亀山市加太板屋 4622-1 TEL 98-0010



担当 亀山市農林振興課 農林政策 G 小澤  
 電話 0595-84-5068  
 ファックス 0595-82-9669  
 電子メール norinseisaku@city.kameyama.mie.jp

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森と木材のふれあい事業 (森林づくり協議会)					
事業費	1,053,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,052,500		500	
<b>1. 事業の目的</b>						
地域の宝である「地域資源 (森林等)」をみんなで守るため、多様な主体が森林とふれあう場を創出し次世代につなげる。						
<b>2. 事業実績概要</b>						
<b>【事業内容】</b>						
協議会が坂下地区、野登地区、加太地区でイベントや講座などを開催することで、森林や農地の自然保全活動に繋がる。						
<b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b>						
鈴鹿川等源流の森林づくり協議会						
<b>【実施個所及び箇所数】</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 亀山市内3地区 (加太地区、坂下地区、野登地区)</li> <li>・ いきもの調査クエスト～なつやすみ編～ (野登、白木、関町北部、関町南部、坂下、加太地区)</li> </ul>						
<b>【事業量】</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第6回サマーフォレストinやまびこ (加太地区) 開催日：令和4年8月7日 (日) 開催場所：森林公園やまびこ 加太川 参加人数：8組25人</li> <li>・ 森の恵みのプレイパーク (野登地区) 開催日：令和4年9月10日 (土) 開催場所：安坂山町地内 参加人数：9組29名</li> <li>・ スラックラインとロープワーク体験 (野登地区) 開催日：令和4年10月22日 (土) 開催場所：森林公園やまびこ 参加人数：5組20名</li> <li>・ 3つの森の楽しみ方! (坂下地区) 開催日：令和4年11月19日 (土) 開催場所：鈴鹿馬子唄会館、ブレンディの森 参加人数：9組25名</li> <li>・ いきもの調査クエスト～なつやすみ編～ 調査期間：令和4年7月16日 (土)～8月31日 (火) イベント参加人数：98名 期間中の開催場所投稿数：700名 発見生物種：367種</li> </ul>						
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>						
<b>【事業実施により期待される効果】</b>						
産・学・民・官にて構成する協議会が森林づくりや地域資源保全活動を行うことで、多種多様な万々が参加される。参加者が森林の大切さなどを多くの方に伝えられる。また、鈴鹿川等源流域での生き物調査を通じ自然と触れ合うことで、森林・自然への意識を高め森林を支える社会づくりに繋げている。						
<b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b>						
コロナ禍の中でもイベントが開催できるように、参加人数を少なくしたり、屋外で開催するなど密を避けるように取り組んだ。						
<b>【新たな対策・視点及び改善点】</b>						
子どもから大人まで気軽に参加できるように「いきものコレクションアプリ」(バイオーム)を活用した。参加の申し込みが多く、ニーズがあるため継続していく。						

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）					
事業費	1,053,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,052,500		500	
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
	負担金	活動団体	10/10以内			
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
鈴鹿川等源流の森林づくり構想を実現するための事業を実施する鈴鹿川等源流の森林づくり協議会を選定。						
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
	受益者	イベント参加者及び各地区の地域住民				
	期待する波及効果	参加者が森林の大切さなどを多くの方に伝えられる。				
【公的関与の必要性】						
森林環境教育・木育に関する取組を広く県民に推進するため。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
公共施設や東海自然歩道での開催のため、転用が想定されない。						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施中	県民税ロゴマークを表示したスタッフベストを着用し活動している				
啓発物品配布	実施中	イベント開催時に参加者に県民税パンフなどを配布し周知				
のぼり設置	実施中	イベント開催時にのぼり旗を設置しPR				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市
------	-------------	-----	-----

事業名	森と木材のふれあい事業 (森林づくり協議会)
-----	------------------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

## 亀山市負担金

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
負担金	負担金	式	1.00	800,000	800,000	税込
		小計			800,000	
		消費税及び地方税相当額				
		①合計			800,000	

## 木工工作消耗品

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
消耗品費	木工キット(モルック)	個	12.00	5,500	66,000	税込
消耗品費	木工キット(踏み台)	個	20.00	4,400	88,000	税込
消耗品費	木工キット(スライド本立て)	個	20.00	4,950	99,000	税込
		④小計			253,000	
		消費税及び地方税相当額				
		合計			253,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業 (森林づくり協議会)
-----	------------------------

## 7の(1). 写真



写真1

第6回サマーフォレストinやまびこ



写真2

第6回サマーフォレストinやまびこ



写真3

第6回サマーフォレストinやまびこ



写真4

第6回サマーフォレストinやまびこ

写真5

写真6

写真5

写真6

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業 (森林づくり協議会)
-----	------------------------

## 7の(1). 写真



写真1

森の恵みのプレイパーク



写真2

森の恵みのプレイパーク



写真3

森の恵みのプレイパーク



写真4

森の恵みのプレイパーク



写真5



写真6

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業(森林づくり協議会)
-----	-----------------------

## 7の(1). 写真



写真1

スラックラインとロープワーク体験



写真2

スラックラインとロープワーク体験



写真3

スラックラインとロープワーク体験



写真4

スラックラインとロープワーク体験



写真5

写真5



写真6

写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業 (森林づくり協議会)
-----	------------------------

## 7の(1). 写真



写真1

3つの森の楽しみ方



写真2

3つの森の楽しみ方

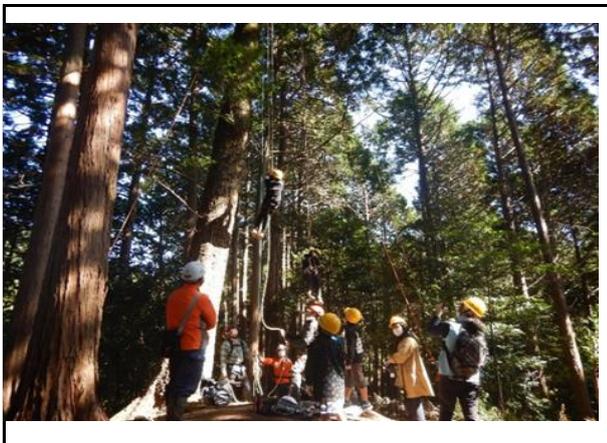


写真3

3つの森の楽しみ方



写真4

3つの森の楽しみ方



写真5

3つの森の楽しみ方



写真6

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業(森林づくり協議会)
-----	-----------------------

7の(2). その他資料



## 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会 主催

スマホでかんたん!

# 生きものの調査クエスト

## なつやすみ編

くわしくはコチラ



協議会HP

調査期間：令和4年

**7月16日(土)**

**▶8月31日(水)**

ミッション：  
鈴鹿川等源流域の  
生き物を見つけよう！

お問い合わせ：亀山市産業環境部環境課環境創造グループ内  
鈴鹿川等源流の森林づくり協議会事務局

☎ 0595-96-8095  
✉ kankyo@city.kameyama.mie.jp

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	森と木材のふれあい事業 (木とふれあう)				
事業費	1,485,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,485,000		

1. 事業の目的
園児たちが、日頃から木材や木製品をふれられる環境をつくり、木への親しみや木の文化への理解を深めて、木材の良さや利用の意義を学ぶ。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】</p> <p>各園で必要な園児たちが遊べる木製玩具などの導入や遊具の組み立てなどを行う。のこぎりや金づちなどの道具を使う体験を行う。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>亀山市</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>亀山市立川崎南保育園：令和4年12月14日開催、亀山市立和田保育園：令和4年12月8日開催、亀山市立井田川幼稚園：令和4年11月17日開催</p> <p>【事業量】</p> <p>亀山市立川崎南保育園：絵本ラック×1、収納棚 キャスターあり×1、収納棚 キャスターなし×2 亀山市立和田保育園：絵本立て×2、屋外用スギ防腐剤塗布テーブル×2、屋外用スギ防腐剤塗布ベンチ×2 亀山市立井田川幼稚園：室内用スギ丸テーブル×2、室内用ヒノキいす×8、屋外用スギ防腐剤塗布ベンチ×2、スギ本立て (イーゼル型) ×14</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>園児たちが製品をつくり、自らふれる環境をつくったことで、木への親しみが深まり、木材の良さや利用の意義が学べる。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>事業実施時 (例年11月～翌年2月) に木製玩具などを導入する意義を伝え、実際に木の持つ温かさや香りを感じてもらうことで感性が豊かになるよう実施する。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>引き続き同様に取り組む。</p>

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）				
事業費	1,485,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,485,000		

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	その他	補助事業ではない		②亀山木材産業協同組合の協力を得て開催し、保育園・幼稚園を対象としている。

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

亀山市産材を取り扱い実績のある亀山木材産業協同組合に協力を依頼している。幼い頃に木材や木製品をふれられる環境をつくることで、木への親しみや木の文化への理解を深めつつ木材の良さや利用の意義を学ぶため。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	園児63人及び園関係者
期待する波及効果	園児を通じて保護者への波及効果が期待できる

## 【公的関与の必要性】

園に導入した木材製品を毎年入園してくる園児たちが継続的に遊んだり活用することで、広く市民への森林環境教育に繋がるため。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

日常的に園が管理する。また、工作作品のため、転用が想定されないのが該当しない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	木とふれあう開催後に内容を掲載
ロゴマーク掲示(シル・プレート等)	実施後	作品に県民税ロゴを焼印
啓発物品配布	実施後	保護者や園児に啓発物品（パンフ含む）配付し周知に努めた

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

園から工作した作品にふれることで木に親しみきっかけとなったとの声をいただいた。保護者から日常でできない体験（金槌・鋸）ができてよかったと園から報告があった。

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市
------	-------------------	-----	-----

事業名	森と木材のふれあい事業 (木とふれあう)
-----	----------------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
消耗品費 (亀山市立川崎南保育園)	絵本ラック	台	1.00	120,000	120,000	
	収納棚 キャスターあり	台	1.00	113,000	113,000	
	収納棚 キャスターなし	台	2.00	108,000	216,000	
消耗品費 (亀山市立和田保育園)	絵本立て	台	2.00	110,000	220,000	
	屋外用スギ防腐剤塗布テーブル	台	2.00	70,000	140,000	
	屋外用スギ防腐剤塗布ベンチ	脚	2.00	45,000	90,000	
消耗品費 (亀山市立井田川幼稚園)	室内用スギ丸テーブル	台	2.00	97,000	194,000	
	室内用ヒノキいす	脚	8.00	5,500	44,000	
	屋外用スギ防腐剤塗布ベンチ	脚	2.00	40,000	80,000	
	スギ本立て (イーゼル型)	台	14.00	9,500	133,000	
			小計		1,350,000	
			消費税及び地方税相当額		135,000	
			合計		1,485,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業 (木とふれあう)
-----	----------------------

7 の ( 1 ) . 写真 川崎南保育園 (12月14日)



写真1  
森のおはなし



写真2  
収納棚組立



写真3  
完成



写真4

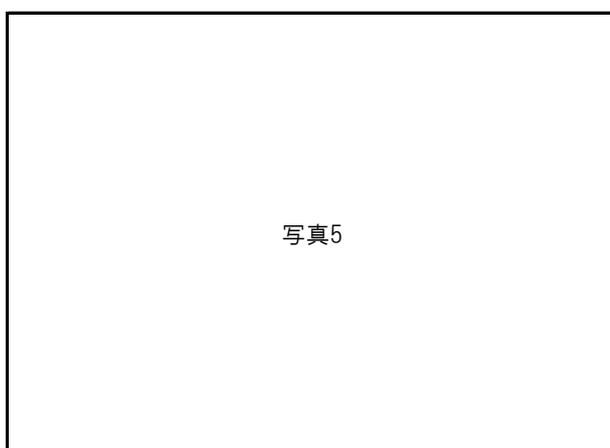


写真5



写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業 (木とふれあう)
-----	----------------------

7 の ( 1 ) . 写真 和田保育園 (12月8日)



写真1  
森のおはなし



写真2  
テーブル、ベンチ組立



写真3  
完成



写真4



写真5



写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業 (木とふれあう)
-----	----------------------

7 の ( 1 ) . 写真 | 井田川保育園 (11月17日)



写真1

森のおはなし



写真2

テーブル、ベンチ組立



写真3

完成



写真4

写真4



写真5

写真5



写真6

写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
5	森林環境教育・木育が行える場の整備 (森林公園やまびこ)					
事業費	1,999,308 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,958,000		41,308	

## 1. 事業の目的

森林環境教育や木育を行っている「森林公園やまびこ」の施設整備等を行うことで、森林とふれあい、体感できる学びの場の利用者の増加を図る。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

森林公園やまびこは、開設後11年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。この施設を今後も森林環境教育の場として活用していくために、新たに休憩場所等の設置や八橋の補修を行う。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

亀山市

## 【実施箇所及び箇所数】

亀山森林公園やまびこ

## 【事業量】

八橋補修：約 24 m 休憩所：1件 (13.24㎡)

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

子どもから大人まで安全・安心して施設を利用することができる。また、森林環境教育、木材にふれあう場や緑に親しむ環境を引き続き提供でき、来場者の増加が見込める。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

八橋の補修材は、長期間使用できるように防虫防腐処理済材を導入している。休憩場所は木目を活かすため透明の防腐剤を使用した。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

防虫防腐処理済材であっても材と材の接する面に防腐塗料を塗った。

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
5	森林環境教育・木育が行える場の整備（森林公園やまびこ）				
事業費	1,999,308 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,958,000		41,308

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
八橋 休憩場所	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
	直営	製材業者	補助事業ではない		②の製材業者から補修材を購入
	工事請負	建設業者	補助事業ではない		市内に本社のある建設業者を選定
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
受益者	・森林づくり協議会によるイベント参加者 31名 ・加太保育園 園児20名 (月1回利用) ・その他来場者数 約1,200名				
期待する波及効果	公園利用者が公園の魅力を多くの人達に伝えることで利用者の増加が見込まれる。				
【公的関与の必要性】 市の自然公園条例に基づく公園のため公的関与は必要である。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 市の施設であることから転用や目的外使用はない。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
のぼり設置	実施前・後	のぼりを設置したことで県民税を活用したことを周知した。			
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施後	四阿に県民税活用看板を設置した。			
7. 写真及びその他資料 別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市
------	-------------------	-----	-----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備
-----	-------------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	10.00	3,930	39,300	90×90×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	70.00	2,950	206,500	90×90×3000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 杉	本	6.00	3,210	19,260	150×50×4000県産材
			小計		265,060	
			消費税及び地方税相当額		26,506	
			①合計		291,566	
工事請負費	休憩所	式	1.00	1,170,000	1,170,000	
			消費税及び地方税相当額		117,000	
			②合計		1,287,000	
消耗品費	堅桶60×2700	本	1.00	1,580	1,580	税込み
消耗品費	止まり 105	個	2.00	198	396	税込み
消耗品費	エルボ 105°	個	2.00	398	796	税込み
消耗品費	アイアン軒桶	個	2.00	1,780	3,560	税込み
消耗品費	新集水器	個	1.00	1,280	1,280	税込み
消耗品費	回転エルボ	個	1.00	598	598	税込み
消耗品費	正面打 (支座)	個	5.00	168	840	税込み
消耗品費	堅金具打込	個	2.00	118	236	税込み
消耗品費	軒継手	個	1.00	198	198	税込み
			③合計		9,484	
消耗品費	クレオトップ (クリア)	缶	1.00	6,880	6,880	税込み
消耗品費	一般用刷毛 (3本組)	袋	1.00	448	448	税込み
消耗品費	防虫・防腐剤用	個	1.00	498	498	税込み
			④合計		7,826	
消耗品費	丸杭 (600×45)	本	100.00	320	32,000	
			消費税及び地方税相当額		3,200	
			⑤合計		35,200	
消耗品費	コースレットビス	箱	5.00	998	4,990	税込み
			消費税及び地方税相当額		0	
			⑥合計		4,990	
消耗品費	県民税PR用看板	枚	1.00	21,400	21,400	
			消費税及び地方税相当額		2,140	
			⑦合計		23,540	
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	10.00	3,930	39,300	90×90×4000県産材
			消費税及び地方税相当額		3,930	
			⑧合計		43,230	
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	8.00	3,930	31,440	90×90×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	72.00	2,950	212,400	90×90×3000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 杉	本	8.00	3,210	25,680	150×50×4000県産材
			消費税及び地方税相当額		26,952	
			⑨合計		296,472	
			①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨合計		1,999,308	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備
-----	-------------------

## 7の(1). 写真



写真1

休憩所設置前



写真2

完成



写真3

建前



写真4

県民税PR用看板取付

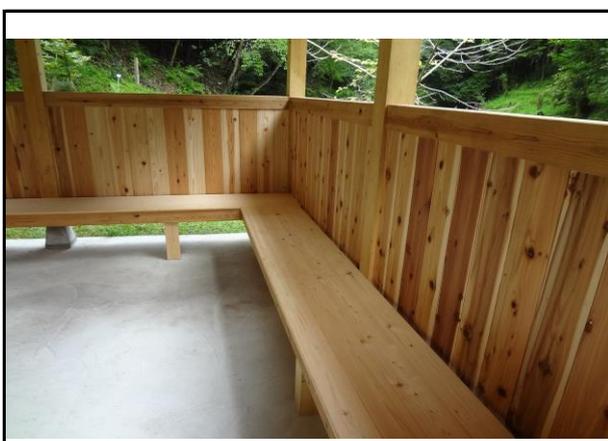


写真5

ベンチ



写真6

全体風景

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備
-----	-------------------

## 7の(1). 写真



写真1

八橋交換前 (令和4年11月4日)



写真2

交換後 (令和4年11月5日) 約12m



写真3

八橋交換前 (令和5年3月17日)



写真4

交換後 (令和5年3月18日) 約12m



写真5



写真6



写真5



写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
6	亀山市立図書館備品等整備事業				
事業費	39,106,320 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,000,000	4,110,000	28,996,320

## 1. 事業の目的

市立図書館整備事業にて三重県材を活用した備品 (椅子・展示台・テーブル等) を導入することで、図書館を訪れる方が木と触れ合うことができ、図書館という場所を温かみのある空間にする。また木材利用促進月間に合わせて森林・林業に関する本を展示するなど来場者が森林や木材について理解を深めることを目的とする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

令和4年度に開館する図書館に、三重県産材を使用した備品 (椅子・展示台・テーブル等) を整備する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

亀山市

## 【実施個所及び箇所数】

図書館：5117.66㎡ (地下1階 地上4階)

## 【事業量】

三重県産材を使用した木製備品導入

テーブル 11台、チェア 30脚、椅子 12脚、展示台 4台、汽車型絵本架 1台

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

図書館が三重県材を活用した備品 (椅子・展示台・テーブル等) を導入することで、図書館を訪れる方が木と触れ合うことができ、図書館という場所を温かみのある空間にして、木に触れ合うことができ森林や木の大切さを学べる空間とする。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

HPで館内案内パンフレットへみえ森と緑の県民税を活用した事業であることを掲載する。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

図書館家具、床、書架配色、内装色を踏まえて県産材を使用した家具を (椅子・展示台・テーブル等) 導入

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
6	亀山市立図書館備品等整備事業				
事業費	39,106,320 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,000,000	4,110,000	28,996,320

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	小売業者	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

選定品の仕様に三重県産材を活用することを明記し指名競争入札にて業者を選定

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	施設利用者見込み 230,000人/年
期待する波及効果	施設利用者に木材にふれあう場を提供することで森林や木材について学び、森林への理解が深まる。また、利用者の家族への波及効果も期待する。

## 【公的関与の必要性】

公共施設の整備のため公的関与必要

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市による管理であり、転用及び目的外使用は想定されない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施後	導入した備品にロゴマークを表示
HP掲載	実施後	HPで館内案内パンフレットへみえ森と緑の県民税を活用した事業であることを掲載する。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市
------	-------------------	-----	-----

事業名	亀山市立図書館備品等整備事業
-----	----------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

## (家具備品のうち木製備品導入)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
展示・休憩スペース	テーブル	台	4.00	326,200	1,304,800	(三重県産材使用)
展示・休憩スペース	チェア	脚	16.00	90,000	1,440,000	(三重県産材使用)
子育て相談	テーブル	台	1.00	368,500	368,500	(三重県産材使用)
子育て相談	チェア	脚	4.00	90,000	360,000	(三重県産材使用)
児童書架エリア	汽車型絵本架	台	1.00	2,044,400	2,044,400	(三重県産材使用)
開架書架エリア2	テーブル	台	2.00	368,500	737,000	(三重県産材使用)
開架書架エリア2	テーブル	台	1.00	333,500	333,500	(三重県産材使用)
開架書架エリア2	チェア	脚	10.00	90,000	900,000	(三重県産材使用)
開架書架エリア3	テーブル	台	3.00	368,500	1,105,500	(三重県産材使用)
開架書架エリア3	椅子	台	12.00	92,200	1,106,400	(三重県産材使用)
展示台	展示台	台	4.00	379,000	1,516,000	(三重県産材使用)
			小計		11,216,100	
			消費税及び地方税相当額		1,121,610	10%
			合計		12,337,710	

## (家具備品)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
対面朗読室	閲覧机 (特注)	台	1	327,600	327,600	
対面朗読室	アームチェア	脚	4	191,700	766,800	
開架書架エリア1	レジン天板用脚	台	1	102,600	102,600	
開架書架エリア1	チェア	脚	6	106,200	637,200	
開架書架エリア1	テーブル	台	1	255,200	255,200	
開架書架エリア1	アームチェア	脚	4	120,700	482,800	
開架書架エリア1	スタッキングチェア (背穴加工特注)	脚	16	89,100	1,425,600	
開架書架エリア1	スタッキングチェア (背穴加工特注)	脚	2	89,100	178,200	
開架書架エリア1	スタッキングハイチェア (背穴加工特注)	脚	6	101,700	610,200	
開架書架エリア1	チェア (1人掛けソファ)	脚	3	310,500	931,500	
閲覧コーナー1	閲覧机 (特注)	台	1	351,000	351,000	
閲覧コーナー2	閲覧机 (特注)	台	1	479,700	479,700	
閲覧コーナー1・2	チェア	脚	14	89,100	1,247,400	
子育て相談	子供用いす	脚	1	30,100	30,100	
カウンター2	椅子	脚	2	96,300	192,600	
児童書架エリア	テーブル円形	台	1	326,200	326,200	
児童書架エリア	チェア	脚	4	92,200	368,800	
児童書架エリア	テーブル円形	台	2	255,200	510,400	
児童書架エリア	キッズチェア	脚	8	60,400	483,200	
児童書架エリア	スツール	脚	12	29,700	356,400	

児童書架エリア	スツール（低）	脚	3	29,700	89,100	
児童書架エリア	スツール（高）	脚	3	31,500	94,500	
児童書架エリア	紙芝居台	台	1	757,900	757,900	
開架書架エリア2	椅子	脚	4	106,200	424,800	
開架書架エリア2	スツール	脚	3	42,300	126,900	
カウンター3	椅子	脚	3	96,300	288,900	
公開書架エリア1	テーブル（特注）	台	1	414,000	414,000	
公開書架エリア1	チェア	脚	4	191,700	766,800	
開架書架エリア3	チェア	脚	17	89,100	1,514,700	
開架書架エリア3	テーブル（特注）	台	2	819,000	1,638,000	
開架書架エリア3	チェア	脚	16	89,100	1,425,600	
開架書架エリア3	テーブル（特注）	台	1	318,600	318,600	
開架書架エリア3	チェア	脚	3	89,100	267,300	
開架書架エリア3	バタフライスツール	脚	8	44,100	352,800	
開架書架エリア3	スタッキングチェア（背穴加工特注）	脚	6	89,100	534,600	
開架書架エリア3	テーブル（特注）	台	1	1,409,400	1,409,400	
開架書架エリア3	チェア	脚	4	82,800	331,200	
開架書架エリア3	椅子（一人掛け）	台	3	207,900	623,700	
個別学習室1・2・3	椅子	脚	3	61,200	183,600	
グループ学習室1	机（T字脚・配線カバー付）	台	1	52,500	52,500	
グループ学習室1	椅子	脚	6	33,100	198,600	
グループ学習室2	机（T字脚・配線カバー付）	台	1	54,900	54,900	
グループ学習室2	椅子	脚	8	33,100	264,800	
公開書庫エリア2	スタッキングチェア（背穴加工特注）	脚	24	89,100	2,138,400	
			小計		24,335,100	
			消費税及び地方税相当額		2,433,510	10%
			合計		26,768,610	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	亀山市立図書館備品等整備事業
-----	----------------

## 7の(1). 写真

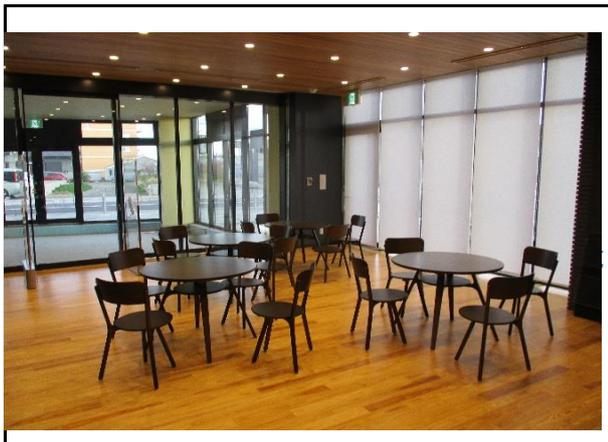


写真1

展示・休憩スペース テーブル



写真2

子育て相談 テーブル



写真3

児童書架エリア 汽車型絵本架



写真4

開架書架エリア2 テーブル



写真5

開架書架エリア3 テーブル



写真6

展示台

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	亀山市立図書館備品等整備事業
-----	----------------

## 7の(1). 写真



写真1

展示台

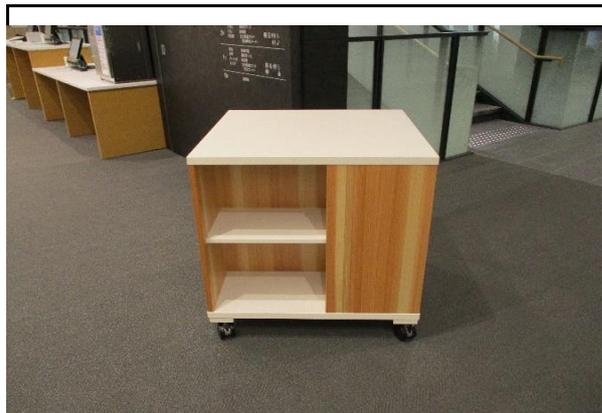


写真2

展示台



写真3

開架書架エリア2 テーブル シール貼付



写真4

開架書架エリア2 テーブル シール貼付

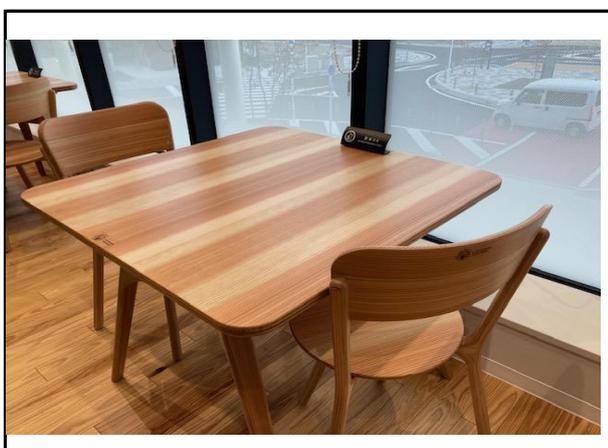


写真5

開架書架エリア2 テーブル シール貼付



写真6

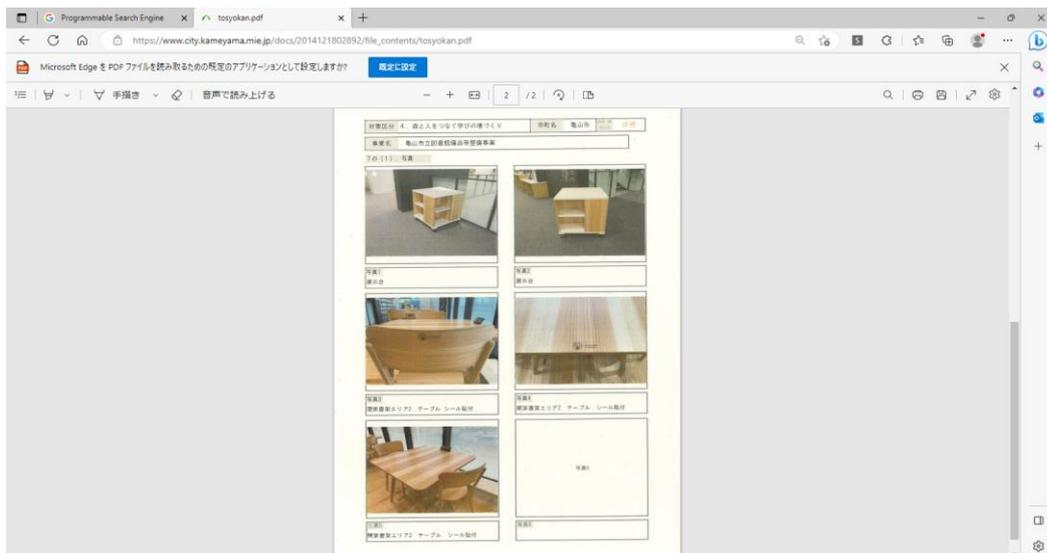
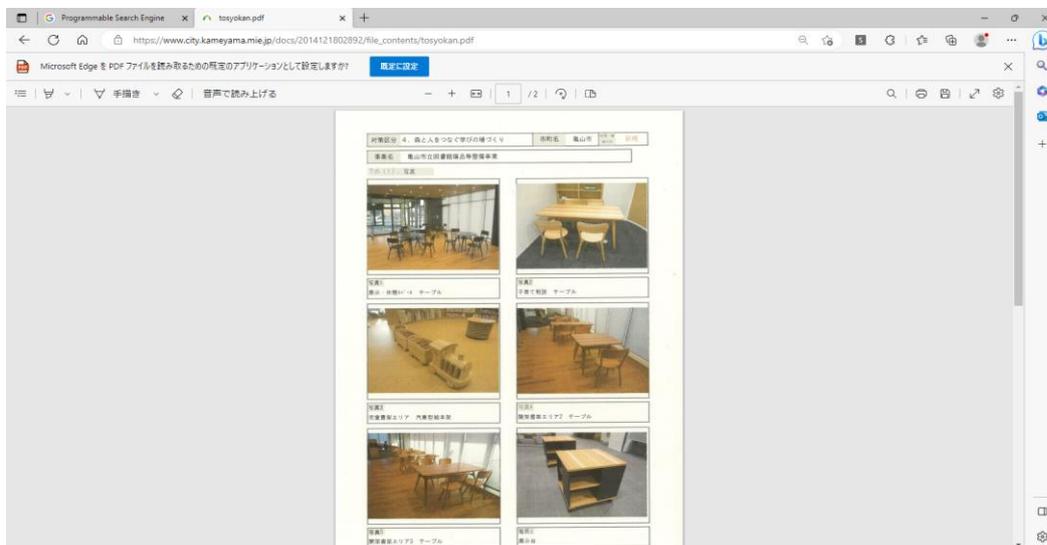
## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	亀山市立図書館備品等整備事業
-----	----------------

7の(1). 写真

## 亀山市HP掲載





# いなべ市

## 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

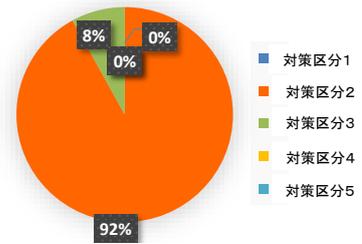
市町名	いなべ市	三重県
人口 (人)	44,691	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	12.2%	12.4%
森林面積 (ha)	12,808.21	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	11,738.79	348,833.49
森林率 (%)	58.3%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	8.1	10.1

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



## 2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木の除去事業	1,187,943	1,187,943		1,187,943				
2	2	危険木の除去事業 (主要道路)	8,866,000	7,253,620		7,253,620				
3	2	里山竹林環境保全支援事業	3,000,000	3,000,000		3,000,000				
4	3	中学校卒業記念品配布事業	917,950	917,950			917,950			
5	3	森林環境教育支援事業	77,487	77,487			77,487			
				0						
				0						
				0						
計			14,049,380	12,437,000	0	11,441,563	995,437	0	0	0

## 3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<b>事業方針</b>
いなべ市は北部と西部を岐阜県と滋賀県に接し、東部と南部は桑名及び四日市圏域に接している。市域は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈をいだき、市のほぼ中央に流れる員弁川を挟んで緑豊かな自然と平野に囲まれている。 緑豊かないなべ市でみえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、木のぬくもりに触れる機会を作り、身近な森林について目を向けてもらい、森林・木材の意義、大切さを再認識してもらう。また豊富な森林資源を活用し、自然と調和した環境づくりを目指し、整備が進んでいない森林を整備することにより、安心・安全な暮らしを確保する。
<b>事業実施により期待される効果</b>
間伐材を活用した箸の配布を行うことで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことができ、将来的に持続可能な素材を選べる人づくりに繋がることが期待される。また、住民自らが危険木除去を行うことで、身近な危険木の認識とその除去についての意識向上につながった。里山竹林環境保全支援事業では補助金を交付することで、活動範囲の拡大・活動内容の向上を図ることができ、市内の里山整備促進が期待できる。
<b>情報発信への取組</b>
市HPにおいて、みえ森と緑の県民税の概要を伝えるとともに、本事業の事業効果を写真と共にわかりやすくPRしている。中学校卒業記念品配布事業では、生徒にメッセージカードを配布し、県産材を利用する大切さを伝えている。危険木除去事業では市内自治会長に事業案内文書を送付することで、みえ森と緑の県民税を活用して周辺住民の生活の安全を確保し、暮らしに身近な森林づくりに寄与していることを伝えている。

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	6,062	6,062
2	⑤ 森林保護対策	2,420	2,420
3	⑥ 林道・林専道の整備等	2,354	2,354
4	⑬ 木造公共建築物の整備等	4,345	4,345
5	⑰ 基金積立 (森林整備等)	5,905	5,905
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	21,086	21,086

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木の除去事業					
事業費	1,187,943 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,187,943	0	0	

## 1. 事業の目的

自治会単位で取り組むことにより、通学路や人家裏等きめ細かな森林整備を行う。  
自治会による身近な森林の整備により、安全・安心な暮らしを確保し、森林整備に対する意欲の向上を図る。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

意欲ある自治会等に対し、危険木の除去について支援する。特殊機材については市内業者から借り入れてもらい、補助の対象とする。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

自治会等

## 【実施個所及び箇所数】

いなべ市内16箇所

## 【事業量】

3,719本

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

危険要因を早期に除去でき、安心して過ごせる環境を作り出す事ができる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

危険木の除去を行うことで、残った木が健全に生育し、次の危険木を生み出しにくくするという説明を申請時に行う。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

事業の取組の拡大を目指し、事業所と調整の上対象リース会社を2社から3社へ拡大した。

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木の除去事業					
事業費	1,187,943 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,187,943	0	0	
<b>4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】</b>						
<b>【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】</b>						
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
	補助事業	自治会等	10/10以内		リース代に限る	
<b>【委託先及び補助対象者等の選定理由】</b>						
自治会要望等による。 自治会要望等から事業目的に適合した活動に対し補助。						
<b>【主な経費内訳】</b> (別紙のとおり)						
<b>5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】</b>						
<b>【受益者及び、期待する波及効果】</b>						
	受益者	いなべ市住民約6,000人				
	期待する波及効果	受益者の関係者への波及効果が期待できる				
<b>【公的関与の必要性】</b>						
道路支障木その他、住民生活の支障となる木・竹の伐採における費用の負担が難しく、放置されている現状の中、幅広く危険木を除去し、周辺住民の生活の安全を確保するものであり、公的関与の必要性がある。						
<b>【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】</b>						
なし。						
<b>6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】</b>						
<b>【情報発信の内容】</b>						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
HP掲載	実施後	事業内容を年度末にHPに掲載し、周知する。				
チラシ等配布	実施中	自治会長にチラシを配布し、県民税を活用した事業であることを周知し				
<b>7. 写真及びその他資料</b>						
別紙のとおり						
<b>8. その他特記事項（受益者の反応等）</b>						
人家裏等の危険木を事前時伐採することで、安全な生活環境を確保することができた。						

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市
事業名	危険木の除去事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
機械リース	高所作業車	式	1.00	200,000	200,000	15本
機械リース	高所作業車	式	1.00	58,476	58,476	15本
機械リース	高所作業車	式	1.00	26,400	26,400	30本
機械リース	高所作業車	式	1.00	45,100	45,100	200本
機械リース	高所作業車	式	1.00	29,700	29,700	100本
機械リース	高所作業車	式	1.00	30,800	30,800	1本
機械リース	高所作業車	式	1.00	29,700	29,700	60本
機械リース	高所作業車	式	1.00	31,900	31,900	25本
機械リース	枝葉粉碎機、アルミブリッジ	式	1.00	172,040	172,040	2,400本
機械リース	高所作業車	式	1.00	29,700	29,700	100本
機械リース	高所作業車	式	1.00	60,654	60,654	60本
機械リース	高所作業車、枝葉粉碎機、ダンプ	式	1.00	149,270	149,270	31本
機械リース	トラッククレーン、枝葉粉碎機	式	1.00	69,575	69,575	200本
機械リース	枝葉粉碎機、ダンプ	式	1.00	61,182	61,182	250本
機械リース	林業用バックホウ	式	1.00	133,705	133,705	32本
機械リース	枝葉粉碎機、ダンプ	式	1.00	59,741	59,741	200本
			合計		1,187,943	消費税10%含む

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	危険木の除去事業
-----	----------

## 7 の ( 1 ) . 写真



写真1

除去前



写真2

除去後



写真3

除去前

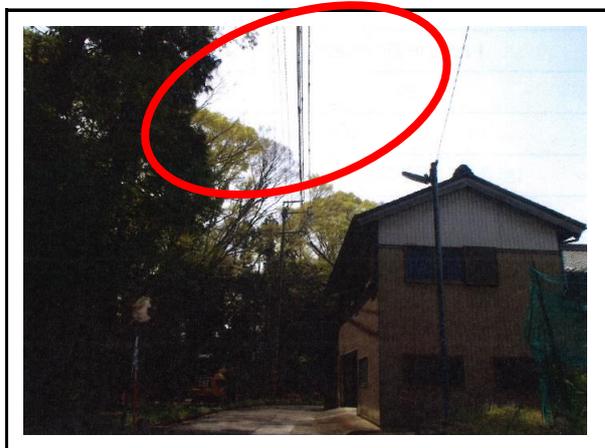


写真4

除去後



写真5

除去前



写真6

除去後

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	危険木の除去事業
-----	----------

7 の (2) . その他資料

### 危険木の除去事業



気候が年々激しくなっていく中で、道路支障木のほか、人家近くの危険木の除去についても防災・減災のためには重要です。

そこで、いなべ市では市民の皆様から要望をいただいた箇所の危険木の除去に必要な機械のリース代について補助をしています。

令和4年度は16箇所、3,719本の危険木の除去を行いました。

令和5年度についても継続して補助を行います。詳細は農林整備課へお問い合わせください。

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	危険木の除去事業
-----	----------

## 7 の (2) . その他資料

## 危険木伐採における機械リース事業 (補助金) について

- 1 危険木の定義  
放置した場合、倒木や落枝により所有者以外の第三者の生命、身体、財産に損害を与える可能性がある木など。
- 2 補助条件
  - (1) 1箇所につき補助額は、20万円を上限とする。
  - (2) 以下の場合、申請は年1回までとする。  
ア 個人からの申請の場合。  
イ 同一所有者の土地を申請する場合。  
ただし、公共性が高い箇所(市道、農道に隣接しているなど)については、この限りではないものとする。
  - (3) 危険木除去の一連の作業に必要な機械のリース費用を対象とする。(別紙を参照)
  - (4) 機械リースの貸出日数は、3日を上限とする。(予備日は設けない)
- 3 申請の流れ
  - (1) 自治会要覧にて、伐採箇所・範囲・伐採本数・第三者への影響及び、伐採に必要なリース機械種を記載し、ご提出ください。  
要覧書には、リース会社による正式な見積書を添付してください。  
リースできる会社は以下のとおりです。(令和4年4月1日時点)  

株式会社アクティオいなべセンター	(TEL: 0594-84-1780)
株式会社キナン四日山北営業所	(TEL: 0594-78-3582)
日本キャタピラー合同会社北勢営業所	(TEL: 0594-82-1233)
  - (2) 要覧受理後、農林整備課担当者から連絡しますので、申請書(様式第1号)を作成して提出してください。
  - (3) 申請書(様式第1号)受理後、再度内容について確認し、補助要綱に適合すれば交付決定通知書(様式第2号)を送付しますので、その日以降に機械リースを行い事業に取り掛かってください。
  - (4) 事業完了後は、速やかに実績報告書(様式第5号)を提出してください。  
同時に請求書も提出をお願いします。  
補助事業であり、事前にリース代をお支払いいただいてからの交付となります。

## ※ 安全対策・注意事項

作業には、ヘルメット、ゴーグルなど安全装備を装着する事。(特にチェーンソー)  
広葉樹の伐採などは、重心もわからず倒れる方向が特定できないため、専門技術を持った者が行う事。

慣れによらず、安全確認を常に行いながら作業を行う事。

地域での活動に対して、保険に加入する事。

各種リース機械の操作については、必要となる免許や講習修了証を所持した者が行う事。

リース機械を損傷させた場合、修理代の請求が高額になる事があるため、これらを対象とした保険に加入する事。

この事業は、皆様からいただいた『みえ森と緑の県民税』を活用して行っています。



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	危険木の除去事業 (主要道路)					
事業費	8,866,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			7,253,620	0	1,612,380	

## 1. 事業の目的

林業の低迷のより放置森林が増加し、交通量の多い幹線道路及び集落内の主要道路沿いの森林において、台風等により倒木する恐れのある危険な樹木を事前に伐採することにより市民の安心・安全に寄与する。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

幹線市道や集落内の主要道路沿いの現に通りの支障となっている危険木について、放置すると台風等により倒木する恐れがあると判断され、自治会等では実施することが困難である路線沿いの危険木について伐採作業を行う。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

いなべ市

## 【実施個所及び箇所数】

市内3地区

## 【事業量】

危険木伐採1,704m

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

通常の維持管理では対応できない私有地の危険木の維持管理を行う。危険要因を除去することにより安全に通行できる道路管理状態を維持する事ができ、危険木を要因とする交通事故等の減少が期待される。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

道路管理者により費用対効果の高い場所の選定を行っている。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

森林整備の際、山林所有者に所有者意識を持ってもらい、所有林と向き合う機会を作っている。

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	危険木の除去事業（主要道路）					
事業費	8,866,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			7,253,620	0	1,612,380	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

交通量の多い主要道路での作業となるため、道路工事に長けた建設業者へ一般競争入札により委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	200台/日
期待する波及効果	市内だけでなく市外の道路利用者へも効果がある

【公的関与の必要性】

道路支障木の他、住民生活の支障となる木・竹の伐採における費用の負担が難しく、放置されている現状の中、幅広く危険木を除去し、周辺住民の生活の安全を確保するものであり、公的関与の必要性がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

なし。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	事業内容を年度末にHPに掲載し、周知する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

危険木の事前伐採により、安心して道路を通行できるようになった。



## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	危険木の除去事業 (主要道路)
-----	-----------------

## 7 の ( 1 ) . 写真



写真1

着手前



写真2

完了

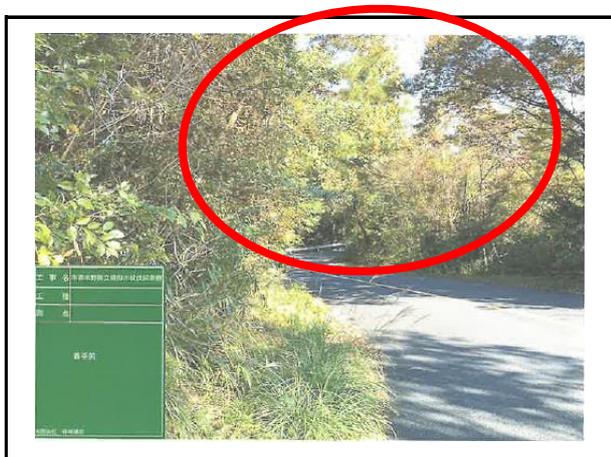


写真3

着手前



写真4

完了



写真5

作業状況



写真6

作業状況

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	危険木の除去事業 (主要道路)
-----	-----------------

7 の (2) . その他資料

## 危険木の除去事業 (主要道路)



幹線市道や集落内の主要道路沿いの通行の支障となっている危険木について、道路管理者による除去 (樹木枝伐採) を行いました。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
3	里山竹林環境保全支援事業					
事業費	3,000,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,000,000	0	0	

## 1. 事業の目的

市内の活動団体等が、整備されていない里山や竹林における森林の保全や安全性の確保による生活環境の向上を目的として、自主的に里山や竹林を整備する取組みを支援し、持続的に地域の里山が整備されることを目的とする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

市内の活動団体等が、保育間伐や倒木の除去等、自主的に里山や竹林を整備する取組に対して事業費の一部を支援する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

ボランティア団体等

## 【実施個所及び箇所数】

6団体

## 【事業量】

市内6団体×500,000円 (補助額)

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

未整備の里山や竹林が再生されることにより森林の保全や安全性が確保され、生活環境の向上に繋がるとともに、獣害被害の防止も期待される。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

補助金を交付することにより、より効率的・持続的に里山竹林を保全することができる。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

手入れされていない里山・竹林の森林整備が進むとともに、放置された里山等の整備による野生獣の隠れ場所の減少など、獣害被害についても同時に対策を行うことができる。

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
3	里山竹林環境保全支援事業				
事業費	3,000,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,000,000	0	0
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
	補助事業	活動団体	10/10以内	500,000円	
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
<p>団体からの要望等による。</p> <p>要望・申請等から事業目的に適合した活動に対し補助。</p> <p>【主な経費内訳】</p> <p>(別紙のとおり)</p>					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
	受益者	活動団体			
	期待する波及効果	森林整備が進むことにより、活動地区周辺地域・住民にも効果が波及する。			
【公的関与の必要性】					
ボランティア団体等は現在会費等を資金に運営しているが、活動範囲・参加人数を拡大し森林に関わる機会を増やすには公的関与の必要がある。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
なし。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
HP掲載	実施後	事業内容を年度末にHPに掲載し、周知する。			
チラシ配布	実施前	申請活動団体へ県民税のリーフレットを配布する。			
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					
補助金の交付により、今までよりも活動範囲を拡大することができ、より多くの森林を整備することができた。					



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	里山竹林環境保全支援事業
-----	--------------

## 7 の ( 1 ) . 写真



写真1

森林整備



写真2

森林整備



写真3

森林整備



写真4

森林整備



写真5

森林整備前



写真6

森林整備後

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	里山竹林環境保全支援事業
-----	--------------

7 の (2) . その他資料

### 里山竹林環境保全支援事業



市内の活動団体等が、整備されていない里山や竹林における森林の保全や安全性の確保による生活環境の向上を目的として、自主的に里山や竹林を整備する取組みを支援しました。

令和4年度は6活動団体に対して補助金を交付しました。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	中学校卒業記念品配布事業					
事業費	917,950 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			917,950	0	0	

## 1. 事業の目的

県民税の基本方針である『県民全体で森林を支える社会づくり』のなかの『森を育む人づくり』の一環として、いなべ市産材を利用して木製箸の製作配布を行う。

中学校の卒業記念として、箸という肌で触れるもので『木の良さ』を子どもたちに知ってもらい、木を使うことの意義を知る人づくりを行うことを目的とする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

原木調達・加工作業は、【認定林業事業体 (佐藤林業)】に委託する。箸製作は【いなべ自然楽校】に委託する。箸入れ袋製作・製品梱包作業は、【いなべ市障害者活動支援センター】に委託する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

いなべ市

## 【実施個所及び箇所数】

市内中学校4校

## 【事業量】

箸500膳・箸袋500袋

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

製品にはメッセージカードを添付し、県民税の目的といなべ市産材が使われていることを示すことで、木材の良さを感じたり利用意識を高めてもらい、将来的には持続可能な素材を選べる人づくりに繋がることが期待される。また、その製作には、市内の活動団体であるいなべ自然楽校やいなべ市障害者活動支援センターが行っている旨を伝え、箸を大切に利用してもらい、市内の自然と地元愛を育む人づくりへ繋げていく。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

市内唯一の認定林業事業体に原木の調達を委託することにより、山地に放置されている間伐材の有効利用を図ることができた。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

受注者間での意見交換を行うことで、作業工程の調整をスムーズに行うことができた。

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	中学校卒業記念品配布事業					
事業費	917,950 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			917,950	0	0	
<b>4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】</b>						
<b>【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】</b>						
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考		
委託事業	活動団体	補助事業ではない				
<b>【委託先及び補助対象者等の選定理由】</b>						
原木調達・加工作業は市内唯一の林業事業体である佐藤林業に、箸製作はいなべ市内の地域資源を活用した取り組みを行っている市民団体のいなべ自然楽校に、箸袋製作は社会的貢献度を踏まえて障がい者施設に委託した。						
<b>【主な経費内訳】</b>						
(別紙のとおり)						
<b>5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】</b>						
<b>【受益者及び、期待する波及効果】</b>						
受益者	市内中学校卒業生500名					
期待する波及効果	保護者・学校関係者					
<b>【公的関与の必要性】</b>						
卒業記念品を配布することにより、生徒が三重の木に触れる機会をつくり、木材利用の意義を理解し、森林の大切さを伝える森林環境教育活動であり、公的関与は必要である。						
<b>【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】</b>						
施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。						
<b>6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】</b>						
<b>【情報発信の内容】</b>						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
HP掲載	実施後	HPを活用し、周知する。				
チラシ等配布	実施後	メッセージカードの配布を行った。				
<b>7. 写真及びその他資料</b>						
別紙のとおり						
<b>8. その他特記事項（受益者の反応等）</b>						
いなべ市産の木材を箸というかたちで触れることで、木の良さを知ることができた。						

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市
事業名	中学校卒業記念品配布事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
原木調達	いなべ市産材	式	1.00	144,000	144,000	佐藤林業
製材・プレーナー加工	いなべ市産材	式	1.00	168,000	168,000	佐藤林業
箸製作・加工		組	500.00	500	250,000	いなべ自然楽校
箸袋製作・袋詰め		袋	500.00	545	272,500	いなべ市障害者活動支援センター
		小計			834,500	
		消費税及び地方税相当額			83,450	10%
		合計			917,950	

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	中学校卒業記念品配布事業
-----	--------------

## 7の(1). 写真



写真1

原木調達

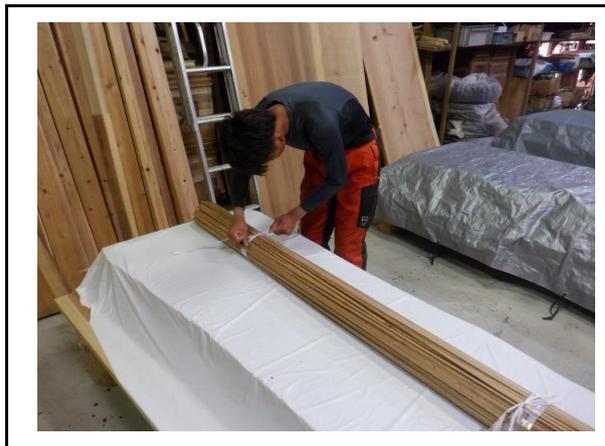


写真2

製材・プレーナー加工



写真3

箸製作加工



写真4

箸袋製作・袋詰め(完成品)



写真5

受取時の様子



写真6

写真6

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	中学校卒業記念品配布事業
-----	--------------

7の(2). その他資料

## 中学校卒業記念品配布事業



森を育む人づくりの一環として、いなべ市内の4つの中学校の卒業生(約500名)を対象に木の良さを知ってもらうため、いなべ市産材を利用した木製箸を毎年、卒業記念品として配布しています。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
5	森林環境教育支援事業					
事業費	77,487 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			77,487	0	0	

## 1. 事業の目的

森林への意識が全国的に低下している中で、森林への意識を少しでも高めるべく、小学生を対象とした森林環境教育を行う。森林・木材に対して理解を深め、自然の良さ・生命や自然を大切にすることを育む人づくりを行うことを目的とする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

市内小学校において地域の森林・林業関係者を講師に招き、森林の機能や大切さ、生活で使われる木材について学び、自然や地域の魅力を伝える森林環境教育を行う。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

直営

## 【実施個所及び箇所数】

阿下喜小学校6年生22人

## 【事業量】

1カリキュラム

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

次代を担う子どもたちが、地域の林業者等から直接話を聞くことで、森林・林業に関する知識を深めるとともに、地域の自然、人、モノの魅力を知る人づくりをする。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

講義だけでなく実際に森林・木材と触れ合う機会を作る。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

昨年に引き続き、地元の森林と他の地域の森林を比較し、自然の魅力を伝える人づくりについて協議し、安全に見学できる場所での視察について検討した。

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
5	森林環境教育支援事業					
事業費	77,487 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			77,487	0	0	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
直営	個人	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

市内において既に森林環境教育に関する実績がある関係者。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	小学校児童22人
期待する波及効果	児童を通じて保護者・学校関係者にも森林教育の成果が伝わる。

【公的関与の必要性】

学校教育であり、公的関与は不可欠である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	事業内容を年度末にHPに掲載し、周知する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

授業により里山に興味を持ち、実際に体験してみたいと意見がありました。



第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	森林環境教育支援事業
-----	------------

7 の (1) . 写真



写真1

里山学習



写真2

里山学習



写真3

浮彫体験



写真4

浮彫体験



写真5

写真5



写真6

写真6

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	森林環境教育支援事業
-----	------------

7 の ( 2 ) . その他資料

## 森林環境教育支援事業



木の重要性や里山保全の意義を感じてもらうため、いなべ市内の小学校（1校）で体験学習を行いました。



# 木曾岬町

## 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報 (令和 4 年度版三重県市町要覧による)

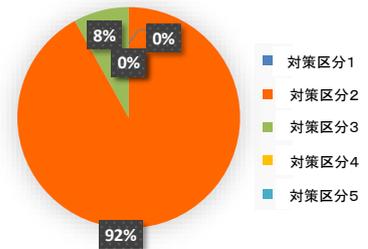
市町名	木曾岬町	三重県
人口 (人)	5,870	1,744,795
年少人口割合 (%) * 1	8.7%	11.8%
森林面積 (ha)	0	372,120.00
民有林面積 (ha) * 2	0	348,833.49
森林率 (%)	0.0%	64.4%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	11.4	10.1

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



## 2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	暮らしを守る緑保全事業	13,052,600	13,052,600		13,052,600				
2	3	森林環境教育事業	1,140,968	1,140,968			1,140,968			
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			14,193,568	14,193,568	0	13,052,600	1,140,968	0	0	0

## 3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
木曾川の河口部に位置する当町は森林率が0%と、日常生活の中で森林にふれあう機会がなく町内の鍋田川線桜並木は、重要な観光資源であると同時に地域住民が緑にふれあい自然環境の大切さを知る貴重な場となっております。これらを踏まえ、鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの被害から守るため、防除業務や被害木の伐採を行って被害防止対策を実施しました。また、桜の生育に影響を及ぼすことから、周辺の竹林を伐採した。
今年の森林環境教育は森林地域の多い長野県木祖村との中学校生徒同士の交流活動を実施した。
事業実施により期待される効果
鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの被害から守るため、全木を対象にした調査と台帳整備、樹幹注入を行うことでクビアカツヤカミキリの被害低減を狙い、地域住民や道路利用者の安全確保と貴重な自然環境の保護につながることを期待できる。また、森林環境教育については、中学校生徒や学校教育者に対し、森林をはじめとした自然環境でのフィールドワークを行うことで、森への理解を深め、保護者とともに自然保全意識を高める
情報発信への取組
町広報誌への防除業務の内容と目的を掲載し、町民に対し県民税が安全や自然環境の保全に役立てられていることをPRしたほか、ポスター掲示や町HPでも同内容を紹介し、より多くの人の目に留まるよう取り組んでいる。

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和4年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑰ 基金積立 (木材利用等)	497	497
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	497	497

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	木曾岬町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	暮らしを守る緑保全事業					
事業費	13,052,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,299,032	8,753,568		

## 1. 事業の目的

当町には鍋田川堤沿いに約4kmにわたり桜が植えられている「鍋田川堤桜並木」が存在する。町にとって大きな観光資源であると同時に、森林のない当町にとってはこの桜並木が唯一、多くの木や虫などの自然に触れられる貴重な環境である。

しかし、令和元年6月から当町にて生息が確認されたクビアカツヤカミキリの食害により当町の桜並木は危機を迎えており、早急に対策を講じなければ貴重な自然環境を失うだけでなく、桜並木沿いの道路の通行人に枯死した桜の枝や幹が倒れ掛かるなどの危険を及ぼすため、全木を対象とした害虫防除と被害木調査を行い森林の維持保全を行うことで安全・安心な住環境を確保する。また、桜の生育に影響を及ぼすことから、周辺の竹林を伐採した。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

桜並木や人家周辺の危険木の伐倒や病虫害被害木の伐倒・駆除、被害防止・維持保全のための樹幹注入や被害や樹勢を調べる毎木調査、被害木への薬剤噴霧を実施した。また、桜の生育に影響を及ぼす周辺の竹林を伐採した。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

木曾岬町

## 【実施個所及び箇所数】

鍋田川堤沿いの桜並木全木

町内公共施設の桜

## 【事業量】

樹幹注入：1,022本、毎木調査：1,022本、薬剤噴霧：144回、被害木へのバイオリサ・ネット巻き：61

本伐採：5本、桜並木の消毒：1,022本×2回、巡視・見回り：5回

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

全木への樹幹注入により、被害木は幼虫の駆除、未被害木には予防効果を持たせることができ、約70本ほど見つかった被害木も8割以上がフラスの排出が止まり効果が表れたことが確認された。

また、被害木の伐採とネット養生を行い倒木の防止や成虫の飛散防止対策を行ったほか、全木の台帳整備を行い次年度以降の業務量の計算やより効率的な防除業務、剪定伐採につなげることが期待される。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

基本的な被害調査や樹幹注入だけでなく、定期的な巡視を行うことで薬剤の効果検証や重点的に対策をとる必要がある地点の絞り込みができた。また、ネット巻きにより樹幹注入では駆除できない成虫の飛散防止対策も行った。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

これまでの防除対策で実施したのは薬剤噴霧とネット巻き、バイオリサ巻きのみであり、令和4年度において新たに樹幹注入において、残効期間の長い薬剤を被害の大きい樹木に実施することで、繰り返し排出されるフラス防止や幼虫への駆除効果が期待できるほか、次年度からのさらなる効率的な業務と経費削減の両立が可能となる。

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	木曾岬町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	暮らしを守る緑保全事業					
事業費	13,052,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,299,032	8,753,568		
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考		
委託事業	造園業者	補助事業ではない				
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
造園業者の登録と防除業務の登録、また、樹木関係（害虫防除や剪定伐採）で官公庁への納入実績のある業者を対象としている。						
【主な経費内訳】						
(別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
受益者	町道鍋田川線沿線住民及び道路利用者、町内公共施設利用者					
期待する波及効果	利用者の家族や知人などにも観光資源である桜並木を楽しめるようになる。					
【公的関与の必要性】						
いずれも公共施設の敷地内の桜が対象であり、町が管理者であるため。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
町の管理であり、変更はない。						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
ポスター掲示	実施後	庁舎内で町民および来訪者へPRした				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	木曽岬町
------	-----------------	-----	------

事業名	暮らしを守る緑保全事業
-----	-------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

## 鍋田川堤桜並木等害虫防除業務

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
毎木調査 (カルテ作成)	簡易調査費 樹木医	人	4.00	28,000	112,000	
毎木調査 (カルテ作成)	報告書作成費	式	1.00	250,000	250,000	
毎木調査 (全木)	簡易調査費 樹木医	人	4.00	28,000	112,000	
毎木調査 (全木)	報告書作成費	式	1.00	35,000	35,000	
樹幹注入	薬剤費 ウッドスター	本	11.00	28,800	316,800	
樹幹注入	薬剤費 リバイブ	本	170.00	1,600	272,000	
樹幹注入	薬剤費 カットパスター-Hi	個	10.00	1,260	12,600	
樹幹注入	世話役	人	2.00	25,000	50,000	
樹幹注入	特殊作業員	人	2.00	23,100	46,200	
樹幹注入	普通作業員	人	2.00	19,900	39,800	
樹幹注入	機械損料など	式	1.00	4,900	4,900	
巡視業務	調査 樹木医	人	8.00	28,000	224,000	
巡視業務	報告書作成費	式	1.00	35,000	35,000	
全作業	諸経費	式	1.00	1,769,700	1,769,700	
小計					3,280,000	
消費税及び地方税相当額					328,000	10%
合計					3,608,000	

## 鍋田川堤等桜並木害虫駆除剤散布作業委託業務

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
作業委託	散布作業	式	1.00	2,035,000	2,035,000	散布作業3回分計上
合計					2,035,000	税込み金額

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	木曾岬町
------	-----------------	-----	------

事業名	暮らしを守る緑保全事業
-----	-------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

## 町道鍋田川線等剪定伐採業務

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
作業委託	剪定伐採作業	式	1.00	2,830,300	2,830,300	
合計					2,830,300	税込み金額

## 町道鍋田川線竹林伐採業務 (クビアカ対策分)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
伐竹工	伐採作業	式	1.00	1,130,380	1,130,380	
伐木工	伐採作業	式	1.00	300,000	300,000	
除草工	除草作業	式	1.00	388,320	388,320	
交通安全管理工	交通誘導員	式	1.00	417,300	417,300	
全作業	諸経費	式	1.00	1,927,000	1,927,000	
小計					4,163,000	
消費税及び地方税相当額					416,300	
合計					4,579,300	

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	木曾岬町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	暮らしを守る緑保全事業
-----	-------------

## 7 の ( 1 ) . 写真



写真1

鍋田川堤桜並木 毎木調査



写真2

鍋田川堤桜並木 樹幹注入 (リバイブ)



写真3

鍋田川堤桜並木 樹幹注入 防腐剤埋込



写真4

鍋田川堤桜並木 巡視噴霧



写真5

鍋田川堤桜並木 樹幹注入 (ウッドスター)



写真6

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	木曽岬町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	暮らしを守る緑保全事業
-----	-------------

## 7の(2). その他資料

## ポスター掲示



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	木曽岬町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森林環境教育事業					
事業費	1,140,968 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,140,968			

1. 事業の目的
<p>木曽川をゆかりとする上流部の木祖村と下流部の木曽岬町の中学生が互いの地域の特色を理解するとともに、地域課題について考え合い、交流・発信することを通して、改めて地域の良さを感じ取り、郷土への愛着を深める。また、山間地域である木祖村の大自然を体感することにより、河川の恵みが森林から授かっていることを認識する機会をつくる。</p>
2. 事業実績概要
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>令和 4 年度は、本町中学生が長野県木祖村への自然体験を行い、併せて現地中学生との交流学习・活動を実施した。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b></p> <p>木曽岬町</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b></p> <p>長野県木祖村立木祖中学校体育館等</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>交流学习・活動</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>森林からの恵みを体感することにより、森林の必要性や大切さを実感させることができるとともに、異なる自然環境を体験することで郷土との違いを認識し、改めて郷土への理解と愛着を深める効果が期待できる。また、森林自然体験学習を通じた学びを主体的に保護者・地域に発信できる人づくりをめざしていくために、継続した森林・木育活動が図られる。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>実際の自然環境に身を置き、肌で感じるができるフィールドワークを行うことで、効果を高める工夫を行った。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>昨年は新型コロナウイルスの感染症予防のためオンラインでの取り組みとなったが、より森林環境を身近に感じ、触れ合うことで森林の必要性や大切さを再認識できるようにした。</p>

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	木曾岬町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森林環境教育事業					
事業費	1,140,968 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,140,968			
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
	直営					
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
直営のため該当しない。						
【主な経費内訳】						
(別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
	受益者	中学校生徒及び学校教育関係者				
	期待する波及効果	家族や友人などと自然と触れ合う機会を求めるきっかけとなる				
【公的関与の必要性】						
小学校の授業の一環であるため。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
施設整備等でなく、転用や目的外使用は想定されない。						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
学校だより等掲	実施後	町民				
広報誌掲載	実施後	町民				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						
自然の中でのハイキングや炊事活動を行うことで、普段体験できない自然との共生体験ができたことにより、この先歳を重ねていくうえで、貴重な体験となった。						

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	木曽岬町
------	-------------	-----	------

事業名	令和4年度 森林環境教育事業 (木曽岬中学校1年生 木祖村交流事業)
-----	------------------------------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
バス等の諸費用	式	1.00		502,520	
野外体験活動に係る諸経費	式	1.00		171,348	
宿泊に係る諸経費	式	1.00		467,100	
事業費				1,140,968	

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考	
バス等の諸費用	有料道路通行料 (下見)	円	4.00	5,315	21,260	(湾岸弥富-伊那)
	三重交通貸切バス	円	2.00	220,000	440,000	
	有料道路通行料 (当日)	円	4.00	5,315	21,260	(湾岸弥富-伊那)
	乗務員経費	円	2.00	10,000	20,000	(宿泊)
	計				502,520	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
野外体験活動に係る諸経費	水木沢天然林ガイド料等	円	6.00	5,000	30,000	
	自然体験活動一式 (ハイキング・野外体験)	式	1.00	141,348	141,348	生徒48名、教師6名
	計				171,348	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
宿泊に係る諸経費	宿泊に係る諸経費	円	1.00	467,100	467,100	
	計				467,100	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	木曾岬町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

## 7 の ( 1 ) . 写真



写真1

木祖村立木祖中学校体育館



写真2

木祖村立木祖中学校会議室



写真3

水木沢天然林遊歩道



写真4

水木沢天然林遊歩道 2



写真5

水木沢天然林遊歩道 3



写真6

水木沢天然林遊歩道 4

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	木曽岬町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

7 の (2) . その他資料

教育委員会だより 7月号

## 教育委員会 6月報告

令和 4 年 7 月 1 日

### 中学校 木祖村交流学習の実施

令和 4 年 6 月 9 日 (木) ~ 10 日 (金) の 2 日間の日程で、中学校 1 年生が長野県木祖村を訪問し交流学習を行った。中学校では、令和元年から木祖村交流学習をスタートし、過去 2 年間は新型コロナウイルス感染症の影響で訪問を見送ったが、今回は待ちに待った実施となった。初日は木祖村の名所味噌川ダムの見学や、標高 1,200m 以上の天然林である水木沢のトレッキングを通して大自然を満喫した。2 日目は木祖中学校に訪問し、事前に調べた互いのまちの様子を紹介し合った。木祖中学校とは今後も交流を続け、互いの郷土理解を深めていきたいと考えている。



第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	木曽岬町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

7の(2). その他資料

広報きそさき 7月号

## 3年ぶりに実施 待ちに待った木祖村交流学習

木曽岬中学校1年生が、6月9日(木)～10日(金)の2日間の日程で長野県木祖村を訪問し交流学習を行いました。中学校では、令和元年から木祖村交流学習をスタ

ートし、過去2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で訪問を見送っていましたが、今回は待ちに待った実施となりました。



【木祖中学校での交流】



【水木沢トレッキング】



【味噌川ダム見学】



この学習は、町が推進する学校教育基本方針の中の「郷土教育」に位置づけられているもので、交流を通して郷土理解を深めることをねらいとしています。

初日は、木祖村の名所味噌川ダムの見学や、海拔1,200m以上の天然林である水木沢のトレッキングを通して、大自然を満喫しました。2日目は、木祖中学校に訪問し、事前に調べた互いのまちの様子を紹介し合い

ました。和やかな雰囲気の中、素敵な交流ができました。今年度は感染症対策のため、キャンプ地である「こだまの森」での飯ごう炊さんはできませんでしたが、木曽川の最上流域での経験を通して、生徒たちは郷土への愛着や仲間との「つながり」をしっかりと感じてくれたことと思います。木祖中学校とは今後も交流を続け、互いの郷土理解を深めていきたいと考えています。



# 東員町

## 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

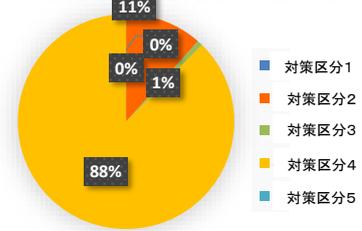
市町名	東員町	三重県
人口 (人)	25,957	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	13.2%	12.4%
森林面積 (ha)	117.13	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	177.13	348,833.49
森林率 (%)	8.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	15.7	10.1

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



## 2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (危険木伐倒等業務)	1,832,600	1,230,000		1,230,000				
2	3	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (森林教育事業)	84,628	84,000			84,000			
3	4	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (教育設備等の備品等購入)	9,314,250	9,314,000				9,314,000		
				0						
				0						
				0						
計			11,231,478	10,628,000	0	1,230,000	84,000	9,314,000	0	0

## 3. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>本町では、北部を中心に名古屋や四日市といった近郊都市部のベッドタウンとして開発が進み、現在森林率が8%程度と森林が少なく、また各地に分散している状況ですが、森林は地域住民の憩いの場として日常的に活用されてきました。</p> <p>このため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備を進め、地域住民が安全に安心して地域の里山にふれ、森や木の大切さへの理解を深める取組を進めていきます。</p> <p>また、小学校による森林教育授業においては森林の機能や大切さを学ぶことにより、自然環境の役割を考え、行動していく力を養っていきます。</p> <p>その他、教育施設及び福祉施設において木質製品などを取り入れることにより、児童や地域住民が木に触れ合う機会を創出していきます。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>森林環境の保全及び地域住民の森林への意識の醸成が図られた。現地 (民家裏等) での調査や作業の際、県民税や事業について詳細に説明する機会が多く、好意的な反応を示していただき、県民税への理解及び森林への関心を高めることができた。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>工事看板に「みえ森と緑の県民税交付金事業」にて実施していることを表記。また、自治会での施工周知説明時に事業の概要についても説明。購入した備品等に「みえ森と緑の県民税」のロゴマークを刻印し、周知を図る。</p> <p>その他、町のHP・広報誌に事業の成果を掲載し、県民税を活用し事業を実施した旨を周知。</p>

## 第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑰ 基金積立 (木材利用等)	3,238	3,238
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	3,238	3,238

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	東員町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (危険木伐倒等業務)					
事業費	1,832,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			729,000	501,000	602,600	

1. 事業の目的						
住宅や通学路に近接する森林における危険木除去を行い、暮らしに身近な森林として整備することにより、生活環境の保全や暮らしの安全性の向上を図る。						
2. 事業実績概要						
【事業内容】						
人家裏や通学路沿いなど、これまで整備が進みにくく荒廃が進んでいる森林地帯を対象として、倒木になる恐れのある危険木の除去・間伐を行う。						
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】						
東員町						
【実施個所及び箇所数】						
東員町大字長深地内 (近隣住民約1,100名)						
【事業量】						
危険木伐倒 48本、竹伐倒 30㎡						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
【事業実施により期待される効果】						
みえ森と緑の県民税交付金を充当する事業を実施し荒廃が進んでいた緑地帯の再生が進むことにより、森林環境の保全及び地域住民の生活安全を守る。						
【効果を発揮させるための工夫・取組】						
施工時に工事看板とともに「みえ森と緑の県民税交付金事業」を活用し事業を実施している旨のポスター看板を設置し、近隣住民に周知を図った。						
【新たな対策・視点及び改善点】						
本来は、森林所有者において整備するものであるということを意識づけていく必要がある。						
また、地元説明会において、「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用し、事業を行うことを説明するとともに、森林整備の重要性を幅広く知ってもらう。						

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	東員町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（危険木伐倒等業務）					
事業費	1,832,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	729,000	市町基金	501,000
			その他	602,600		
<b>4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】</b>						
<b>【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】</b>						
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
	委託事業	造園業者	補助事業ではない			
<b>【委託先及び補助対象者等の選定理由】</b>						
町内業者による入札（一般競争）により、請負者を選定。						
<b>【主な経費内訳】</b>						
(別紙のとおり)						
<b>5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】</b>						
<b>【受益者及び、期待する波及効果】</b>						
	受益者	近隣住民約1,100名				
	期待する波及効果	森林環境の保全及び地域住民の生活安全の向上				
<b>【公的関与の必要性】</b>						
森林所有者が複数人おり、所有者個人で森林整備を行うことが困難であるため、町が実施することが妥当である。						
<b>【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】</b>						
森林所有者に整備をしていくことを促す。						
<b>6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】</b>						
<b>【情報発信の内容】</b>						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
回覧板・掲示板	実施前	住民への回覧や説明にパンフレット、チラシを活用				
施工看板に掲示	実施中	みえ森と緑の県民税交付金事業にて実施していることを表記				
HP掲載	実施後	施工の状況等をHPにて報告				
<b>7. 写真及びその他資料</b>						
別紙のとおり						
<b>8. その他特記事項（受益者の反応等）</b>						
地元の住民から好意的な声が聞かれた。						
例) 道路がきれいになった、以前は道路に飛び出していた枝が無くなり安全になった等						



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (危険木伐倒等業務)
-----	-----------------------------

7の(1). 写真



写真1  
施工前



写真2  
施工中



写真3  
施工中



写真4  
施工後



写真5  
みえ森と緑の県民税周知状況



写真6

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (危険木伐倒等業務)
-----	-----------------------------

7 の (2) . その他資料

## みえ森と緑の県民税の使途について

## みえ森と緑の県民税の使途

 [令和4年度におけるみえ森と緑の県民税の使途について \(東員町\)](#)

## 危険木伐採事業

通学路、避難道等にある危険木を除去することにより、安全安心な街づくりを目指し、生活環境の向上を図りました。

実施箇所：大字長深地区 内



施工前



施工後

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	東員町	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
2	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (森林教育授業)					
事業費	84,628 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			0	84,000	628	

## 1. 事業の目的

小学生を対象とした森林環境を行うことにより、森林の大切さや木材利用の意義を学び、森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人づくりを行う。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

町内小学校において、みえ森づくりサポートセンターのコーディネートによる森林教育を実施し、森林の機能や大切さを学ぶ機会や、自然の中にある樹木、植物などに触れる機会を創出することにより、自然環境の役割を考え、行動していく力を養う。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

東員町

## 【実施個所及び箇所数】

城山小学校 5年生 26名

## 【事業量】

森林の散策等 (樹木観察、樹木名板作り) 100分

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

自然の中にある樹木、植物、昆虫についても触れる機会を創出し、また、木材利用、木工体験などにも触れ楽しむことにより、自然環境の役割を考え、行動していく力を養う。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

身近にある森林にて授業を行うことにより、日常から森林に対する意識を醸成する。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

令和3年度に城山小学校で出前授業が実施され、学校関係者から継続を望む声があり、みえ森と緑の県民税を活用した町事業として実施することとした。

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
2	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（森林教育授業）				
事業費	84,628 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			0	84,000	628

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

みえ森づくりサポートセンターの「森のせんせい」登録団体であり、活動フィールドである企業の森「TOYOTIRES緑のつながり・三重」の管理運営団体であるため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	城山小学校 5年生 26名
期待する波及効果	学習内容を家庭に持ち帰ることにより、森林保全の大切さを広げることができる。

【公的関与の必要性】

小学校の児童が対象となるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

なし

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施後	児童や保護者及び利用者にパンフレット、チラシを配布
HP掲載	実施後	施工の状況等をHPにて報告

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

参加した児童の反応が好意的であった。  
例) 近くにこんなに森があるんだ等

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	東員町
------	-------------	-----	-----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (森林教育事業)
-----	---------------------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
森林教育事業	森林散策等	式	1	84,628	84,628	
				合計	84,628	

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (森林教育事業)
-----	---------------------------

## 7 の (1) . 写真



写真1

実施風景



写真2

実施風景



写真3

実施風景



写真4

実施風景



写真5

実施風景



写真6

実施風景

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (森林教育事業)
-----	---------------------------

7 の (2) . その他資料

町ホームページ掲載状況

## 森林教育事業

## 森林散策風景



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	東員町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (教育施設等の備品等購入)					
事業費	9,314,250 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			6,114,000	3,200,000	250	

## 1. 事業の目的

町内の教育施設及び福祉施設において木質製品取り入れることにより、木に触れ合う機会を創出し、木材利用の意義について理解を深め、関心をもってもらう場をつくり、森林教育を進めていく。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

町内の教育施設 (小学校) ・共同福祉施設に県産材の木質製品を導入する。また、生まれたばかりの乳幼児に対して初めて使用する箸を提供する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

東員町

## 【実施個所及び箇所数】

小学校、共同福祉施設、母子 約 4 0 0 名

## 【事業量】

本棚 68台、受付カウンター 1台、ひのき箸 414本、会議テーブル 26卓、展示台 2台  
 談話用テーブル 2卓、椅子 8脚

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

児童等が木に触れ合い木のぬくもりやにおいを体感し森林への関心を深めることにより、自然の恵みに対する価値観を広げ、木材利用や森づくりへの理解を深める場として活用する。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

本棚や机等に「みえ森と緑の県民税」のロゴマークを刻印し、施設を訪れた児童等に直接的に周知を図る。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

町内の乳幼児から小学校の学童、共同福祉施設を訪れる住民まで、木にふれあい、学べる場を創出する。木製家具製作者を講師に、木づかいの大切さや木工体験を行う講座を開催する。

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（教育施設等の備品等購入）				
事業費	9,314,250 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,114,000	3,200,000	250
<b>4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】</b>					
<b>【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】</b>					
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
	物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		
<b>【委託先及び補助対象者等の選定理由】</b>					
県産材木材を使用し、指定する木質製品を加工することのできる業者による入札（一般競争）により、請負者を選定。					
<b>【主な経費内訳】</b>					
(別紙のとおり)					
<b>5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】</b>					
<b>【受益者及び、期待する波及効果】</b>					
	受益者	小学生 約220名 共同福祉施設利用者 約10,000名（年間）、母子 約400名			
	期待する波及効果	児童や利用者を通じて、木材利用の意義を伝達することが期待される。			
<b>【公的関与の必要性】</b>					
町立の施設への備品導入であることから、町が実施することが妥当である。					
<b>【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】</b>					
小学校や共同福祉施設において管理を行う。					
<b>6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】</b>					
<b>【情報発信の内容】</b>					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
HP掲載	実施後	設置状況、活用状況等をHPにて報告			
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施後	木質製品にみえ森と緑の県民税交付金事業のロゴマークを表記			
<b>7. 写真及びその他資料</b>					
別紙のとおり					
<b>8. その他特記事項（受益者の反応等）</b>					
施設利用者から木質製品について、好意的な声があった。 例) テーブル等から木の良いにおいがする、木の質感が良い等。					



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (教育施設等の備品購入)
-----	-------------------------------

7の(1). 写真



写真1

本棚



写真2

ひのき箸



写真3

会議テーブル



写真4

展示台



写真5

談話用テーブル



写真6

椅子

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (教育施設等の備品購入)
-----	-------------------------------

7 の (2) . その他資料

町ホームページ掲載状況

## 教育施設等の備品等購入

笹尾東小学校 図書室



## 教育施設等の備品等購入

東員共同福祉施設



## 教育施設等の備品等購入

おい初め箸



# 菰野町

## 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

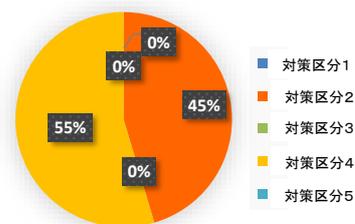
市町名	菟野町	三重県
人口 (人)	40,335	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	13.9%	12.4%
森林面積 (ha)	5,348.67	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	5,272.74	348,833.49
森林率 (%)	50.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	4.3	10.1

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

## 対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



## 2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	5,496,796	2,715,000		2,715,000				
2	2	危険樹木伐採事業	1,372,107	343,028		343,028				
3	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	3,736,521	3,672,721				3,672,721		
4		基金事業	3,020,251	3,020,251						3,020,251
				0						
				0						
				0						
				0						
計			13,625,675	9,751,000	0	3,058,028	0	3,672,721	0	3,020,251

## 3. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.04ha43本	1,372,107	343,026	菟野町菟野地内において事前伐採43本 (補償費含)

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
菟野町は、鈴鹿山脈の麓に位置する自然豊かな環境に恵まれた場所にあり、湯の山温泉や御在所ロープウェイなど、四季折々の自然を満喫できる観光スポットを有しており、多くの観光客が訪れます。このような中で、みえ森と緑の県民税を活用し、基本方針でもある「災害に強い森林づくり」の推進のため、病虫害や松枯れなど、倒木の恐れがある危険木の除去を進めることで、地域住民の安全な生活環境を守るとともに、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進のため、当町の森林資源を活用して地域住民や当町を訪れる人が地元の森林環境の魅力を感じ、自然環境保全の大切さや森林資源活用の意義について考え、学ぶ場の整備を進めます。
事業実施により期待される効果
公共の道路に倒木の可能性がある又はライフラインに支障を与える可能性がある危険木を事前伐採することにより、通行者に対する安全の確保及び電線断線の危険の排除ができ、また、病虫害による被害拡散を防止することで地域住民の安全な生活環境の保全に繋がっている。また町内幼保園や子育て支援センターで使用する遊具や家具を購入することにより、施設利用者やその保護者に活用していただいております。菟野町を含めた森林環境の魅力を感じ、木材活用の大切さを学ぶ貴重な場となっている。
情報発信への取組
伐採作業時はのぼり旗を使うことにより、みえ森と緑の県民税を使って作業していることを通行者にPRした。また、町のホームページで事業報告を行う。木育推進事業においては、購入した家具・遊具に対して、焼き印もしくはシールによりロゴを入れて、みえ森と緑の県民税を活用していることを周知している。

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	① 意向調査の準備作業	4,545	4,545
2	③ 私有林整備	3,185	3,185
3	⑰ 基金積立 (森林整備等)	3,918	3,918
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	11,648	11,648

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	病虫害被害木伐採搬出事業					
事業費	5,496,796 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,715,000		2,781,796	

1. 事業の目的						
<p>菰野町内において、病虫害被害等により公共の道路へ倒木の恐れがある樹木の伐採を行い、住民の生命や財産を守ることを目的にする。</p> <p>また、病虫害被害木を伐採することにより景観を良くし、病虫害被害の拡散防止に努める。</p>						
2. 事業実績概要						
【事業内容】						
<p>国道、県道及び町道沿道から20m以内の松枯れやナラ枯れ等の病虫害被害木の伐採、搬出、処理に対して助成を行う。</p>						
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】						
個人、区、生産森林組合等						
【実施個所及び箇所数】						
町内 7 か所						
【事業量】						
病虫害被害木60本						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
【事業実施により期待される効果】						
<p>病虫害被害木の伐採・搬出を行うことで、公共の道路への被害を防止することで、地域住民の安全を事前に確保する。また、病虫害被害木の拡散防止を行うことにより、森林景観を保全することで、地域住民の身近な森林に対する森林の必要性や保全に対する理解を深める。</p>						
【効果を発揮させるための工夫・取組】						
<p>被害木を伐採した地区については、地区での会議等により事業の内容及び状況を説明していただくとともに、同様な被害木の情報収集を行っていただいている。</p>						
【新たな対策・視点及び改善点】						
<p>各区、生産森林組合、財産区等へ改めて制度の概要及び事業の効果について説明し、事業の周知及び事業個所の掘り起こしを実施。地域の危険木については、区・団体等から所有者へ働きかけを行っていただき、事前伐採の重要性を周知していただいた。</p>						

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	病虫害被害木伐採搬出事業					
事業費	5,496,796 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,715,000		2,781,796	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	個人	1/2以内	1本あたり 100,000円	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

申請者の申し出による（業務委託先については申請者による見積合わせ）

【主な経費内訳】  
（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地域住民
期待する波及効果	通行者及び地域住民の安全確保、森林の必要性の認知

【公的関与の必要性】  
所有者の責ですべきことであるが、地元住民の安全な生活環境に関わる取組であるため公的な関与が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】  
施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	事業実施中において、施行箇所においてのぼりを設置しPRを実施。
HP掲載	実施後	当該年度の活動について、HPにて広報を行った。

7. 写真及びその他資料  
別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）  
区（自治会）でも危惧していたが、この補助金のおかげで伐採していただき、安心することができたとのこと。

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町
------	-----------------	-----	-----

事業名	病虫害被害木伐採搬出事業
-----	--------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
個人	病虫害被害木伐採	本	5.00	124,599	622,996	311,000
三区共有土地管理会①	病虫害被害木伐採	本	1.00	41,500	41,500	20,000
個人	病虫害被害木伐採	本	1.00	264,000	264,000	100,000
三区共有土地管理会②	病虫害被害木伐採	本	15.00	34,687	520,300	260,000
田口新田区	病虫害被害木伐採	本	9.00	198,000	1,782,000	891,000
個人	病虫害被害木伐採	本	3.00	73,333	220,000	110,000
法人	病虫害被害木伐採	本	26.00	78,692	2,046,000	1,023,000
						2,715,000
※備考欄は補助金額						
				合計	5,496,796	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	病虫害被害木伐採搬出事業
-----	--------------

7 の ( 1 ) . 写真

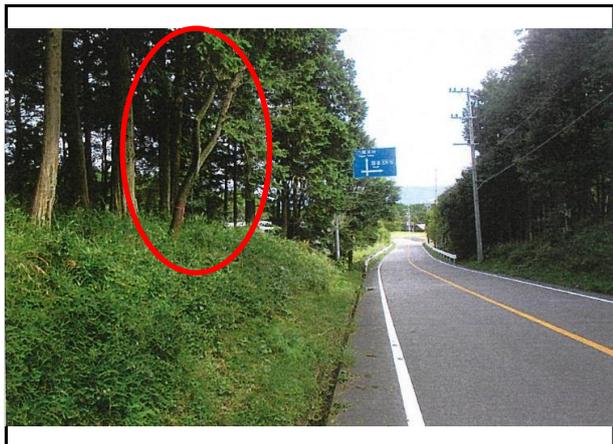


写真1

伐採前①



写真2

伐採後①



写真3

伐採前②



写真4

伐採後②



写真5

PR①



写真6

PR②

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
事業名	病虫害被害木伐採搬出事業				

7 の (2) . その他資料

## みえ森と緑の県民税市町交付金 令和 4 年度事業報告について

[サイトシェア](#) 更新日：2023年4月1日

### みえ森と緑の県民税市町交付金事業について

三重県では災害に強い森林づくりを進めるため、山崩れや洪水などの災害発生のリスクを軽減するような新たな森林整備を進める施策と、そのような森林づくりを県民全体で支える社会をつくるための施策が必要と考え、平成26年4月1日から「みえ森と緑の県民税市町交付金」を使用して令和4年度は3つの事業を行いました。

#### 1. 病虫害被害木伐採搬出事業

菰野町内において国道・県道・町道から20m以内にあり、かつ病虫害被害により倒木の恐れがある樹木の伐採、搬出、処分について、対象経費の2分の1（1本につき10万円が限度）を助成します。令和4年度は病虫害被害木60本を伐採しました。

この事業により、国道・県道・町道へ倒木による危険度が高い樹木の伐採を行い、通行者の安全を図ることができました。



病虫害被害木伐採搬出処分

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	危険樹木事前伐採事業					
事業費	1,372,107 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			343,028		1,029,079	

## 1. 事業の目的

菰野町内において、台風等の災害により電線等のライフラインに倒木の恐れがある樹木の事前伐採を行い、ライフラインの保護及び住民の生命や財産を守ることを目的にする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

台風等の災害時、電線等のライフラインに倒木等により被害の出る恐れがある樹木を事前に伐採する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

菰野町

## 【実施個所及び箇所数】

菰野町菰野地内1か所

## 【事業量】

0.04haにおいて43本伐採 (補償費含む)

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

台風等の災害によりライフラインに倒木の恐れがある樹木の伐採を行うことにより、災害時のライフラインに与える被害を減少させることができる。また、道路の通行車両及び人の安全が確保され、景観もよくなる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

危険木を伐採した地区については、地区での会議等により事業の内容及び状況を説明していただき、事業の重要性周知した。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

本年度は菰野地内において事業を実施したが、次年度以降については 当町の防災機能を生かすため、伐採候補地を新たにリストアップし、実施地域を再考する。

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	危険樹木事前伐採事業					
事業費	1,372,107 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			343,028		1,029,079	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

町競争入札参加資格者名簿（業務委託）のうち、「清掃－屋外清掃－伐採」で登録があり、かつ所在地が町内（菰野・鶴川原・千種地区）にある業者のうち、町発注の同種業務の実績を有する業者（4者）による指名競争入札

## 【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	湯の山区民及び停電影響区域に住む住民、観光客
期待する波及効果	湯の山区民及び停電影響区域に住む住民及び観光客の安全確保、森林の必要性の認知

## 【公的関与の必要性】

地元住民等のライフラインを守る取組であり、多くの地元住民が受益できる。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

当事業による伐採は、ライフラインへの影響範囲のみの伐採であり、転用及び目的外使用は想定されない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	事業実施中において、施行箇所においてのぼりを設置しPRを実施。
HP掲載	実施後	当該年度の活動について、HPにて広報を行った。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険樹木事前伐採事業
-----	------------

## 7 の ( 1 ) . 写真



写真1

伐採前①



写真2

伐採前②



写真3

伐採後①



写真4

伐採後②



写真5

検査状況

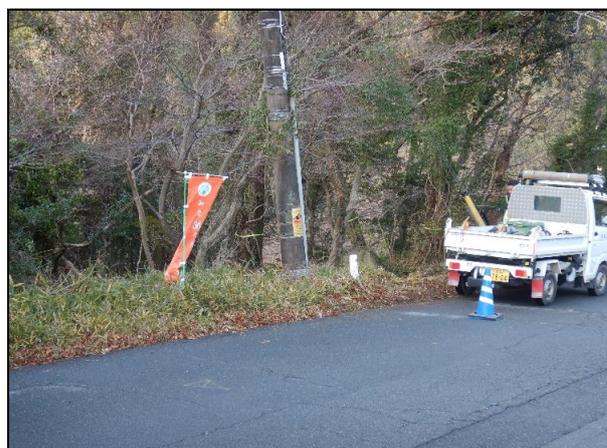


写真6

P R 状況

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険樹木事前伐採事業
-----	------------

7 の (2) . その他資料

## 2. 危険樹木事前伐採事業

台風等の災害により電線等のライフラインに倒木の恐れがある樹木の事前伐採を行いました。令和 4 年度は、大字菰野地内において、43本の伐採を行いました。



事前伐採箇所

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町	新規・継 続の別	新規
番号	事業名				
3	幼児期から木に親しむ木育推進事業				
事業費	3,736,521 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,672,721		63,800

## 1. 事業の目的

菰野町内の幼保園において、木製遊具を通じ、感性豊かな幼児期から木と触れあう環境を整備し、子どもの豊かな成長を支援するとともに、世代を超えた交流や、地元の森や緑を愛する心を育て、環境を守る人づくりにつなげる。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

木製遊具 (大型積み木) 及び木製家具を導入・設置。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

菰野町

## 【実施個所及び箇所数】

町内 7 幼保園・こども園、北部子育て支援センター

## 【事業量】

積み木セット 4、ままごとセット 5、棚・テーブル・パーテーション 8、すべり台 2、小型おもちゃ 3 他

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

木のぬくもりや手触り、木の香りに触れることで、子どもの五感を刺激し、心身の豊かな成長を促すことや親子の癒しも期待出来る。電子おもちゃでは難しい遊びの広がりや想像力の向上と、自然や環境に親しみを感じると共に木の文化の伝承につながる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

各園に要望を取り、それぞれの幼保・こども園による特色を活かした購入を行うことによって、子供たちが使いやすいものを導入できる。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

幼保園において木製遊具を導入することにより、子どもの豊かな成長を支援するとともに、世代を超えた交流や、地元の森や緑を愛する心を育てることができる。

## 令和4年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
3	幼児期から木に親しむ木育推進事業				
事業費	3,736,521 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,672,721		63,800

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
購入希望の物品の取扱いがある業者との少額随意契約又は指名競争入札				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	町内7幼保園・こども園、北部子育て支援センター利用者：約1,000人			
期待する波及効果	子どもの豊かな成長を支援するとともに、地元の森や緑を愛する心を育てる。			
【公的関与の必要性】				
公立幼保園・こども園における導入のため。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
町（各幼保園・こども園）が管理を行うため、目的外使用のおそれはない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
ロゴマーク掲示	実施後	導入物品に焼き印もしくはシールによりロゴを掲示		
HP掲載	実施後	当該年度の活動について、HPにて広報を行った。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
利用者（園児や先生）には非常に評判がよく、大人気の遊具となっており、木のぬくもりを感じるきっかけとなっているとのこと。				

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町
------	-------------------	-----	-----

事業名	幼児期から木に親しむ木育推進事業
-----	------------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
物品購入	積み木セット、すべり台他	式	1.00	1,244,100	1,244,100	ウッドベリー
物品購入	白木棚・テーブル他	式	1.00	842,935	842,935	とりの巣工房
物品購入	木製ベンチ・テーブル他	式	1.00	124,520	124,520	株式会社 K I D' S B O X
物品購入	すべり台	式	1.00	63,000	63,000	株式会社 ジャクエツ
物品購入	ままごとキット、棚他	式	1.00	235,300	235,300	株式会社 フレーベル館
物品購入	スペースパーテーション	式	1.00	109,076	109,076	株式会社 ワークス
物品購入	小型玩具、ままごとセット他	式	1.00	328,890	328,890	株式会社 関西こどものとも社
物品購入	ままごと調理器具セット	式	1.00	15,400	15,400	三重チャイルド社
物品購入	木製整理ワゴン	式	1.00	346,500	346,500	有限会社 ケルビン
物品購入	木製積み木セット他	式	1.00	360,800	360,800	有限会社 坂倉商會
物品購入	ウッドチェア	式	1.00	66,000	66,000	片岡教材
			合計		3,736,521	

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	幼児期から木に親しむ木育推進事業
-----	------------------

## 7の(1). 写真



写真1

購入物品①



写真2

購入物品②



写真3

活用状況①



写真4

活用状況②



写真5

みえ森ロゴ①



写真6

みえ森ロゴ②

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	幼児期から木に親しむ木育推進事業
-----	------------------

7 の (2) . その他資料

### 3. 幼児期から木に親しむ木育推進事業

菰野町内の公立幼稚園・保育園・こども園において、感性豊かな幼児期から木と触れあう環境を整備し、子どもの豊かな成長を支援するとともに、世代を超えた交流や、地元の森や緑を愛する心を育て、環境を守る人づくりにつなげるため、木製遊具や木製家具等を導入しました。



導入した木製遊具等

# 朝日町

## 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

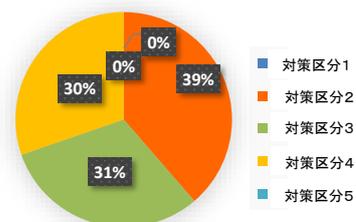
市町名	朝日町	三重県
人口 (人)	11,033	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	18.9%	12.4%
森林面積 (ha)	63.21	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	63.21	348,833.49
森林率 (%)	11.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	2.1	10.1

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

## 対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



## 2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山・竹林環境保全支援事業 (あさひ竹プロジェクト)	349,000	349,000		349,000				
2	2	里山・竹林環境保全用機器貸出事業 (あさひ竹プロジェクト)	2,194,618	2,194,618		2,194,618				
3	3	森林環境教育事業 (あさひ竹プロジェクト)	2,038,742	2,038,742			2,038,742			
4	4	森と緑とふれあう環境づくり事業 (幼保一体化施設)	1,993,200	1,993,200				1,993,200		
				0						
				0						
				0						
				0						
計			6,575,560	6,575,560	0	2,543,618	2,038,742	1,993,200	0	0

## 3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>当町は三重県一小さい自治体であり、森林面積も約63haと狭いが、その25%に当たる約16haが竹林であり、竹林割合の高さでは県内一である。また、人口が増え続け子どもが多い若い町であり年少人口 (15歳未満人口) 割合も三重県一である。</p> <p>これらの特徴を踏まえ、町と町民により適正に管理された竹林・里山・緑地や、そこから生み出される生産物等を通じ、若年層や親子が森と緑と親しめる取り組みに県民税を活用することで、竹林・里山・緑地が地域の中で魅力を発揮している姿を目指す。</p> <p>その実現のため、幼児教育段階から緑に親しむ機会を創出する「幼保一体化施設の緑化」や、あさひ竹プロジェクトの一環として、竹を使った様々な体験・学びの場を創出する「森林環境教育事業」、町民による自主的な竹林・里山整備を支援する「里山・竹林環境保全支援事業」、「里山・竹林環境保全用機器貸出事業」を実施した。</p>
事業実施により期待される効果
<p>これまでのあさひ竹プロジェクトの取組の結果、町民の里山に関する関心が高まり、町民主体による自律的な竹林・里山整備に係る活動がスタートした。樹木粉砕機の貸し出しにより、効率的な整備に繋がっている。更に、整備された竹林で採れたタケノコの地元スーパーでの販売、竹粉の田んぼへの散布、作製した竹 TENT や竹籠のイベントでの活用なども実現できた。今後、整備された竹林でのたけのこ掘り体験なども予定されている。</p> <p>これらにより、里山の安全性を高めるだけでなく、里山のもつポテンシャルを効果的に活用している姿が期待できる。</p>
情報発信への取組
<p>町のHP、広報紙等を通じた一般的なPRを実施したほか、竹プロジェクト関係の取組は新聞記事等や地元CATVに取り上げられている。また、竹あかりの来場者に対してQRコードを活用したアンケートを実施し良好なアンケート結果が得られたと同時に、多くの方にみえ森の存在を周知することができた。</p>

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 4 年度 森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑰ 基金積立 (森林整備等)	1,203	1,203
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	1,203	1,203

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
1	里山・竹林環境保全支援事業 (あさひ竹プロジェクト)					
事業費	349,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			349,000		0	

1. 事業の目的	
あさひ竹プロジェクトの一環として、町民による自律的な竹林・里山整備に係る活動を支援し、持続的な活動へとつなげることで町内の竹林・里山の安全性を高め、生活環境を向上させる。また、これらを通じ若年層や親子が森や緑と親しむ場として、竹林・里山が地域の中で魅力を発揮している姿を目指す。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】 ・町内の地域団体が自主的、計画的に里山や竹林を整備する取組みに対して事業費の一部を補助する	
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 埋縄農家組合、小向里山保全会 竹切の翁	
【実施個所及び箇所数】 埋縄地区の竹林、小向地区の里山 計2箇所	
【事業量】 0.3ha	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】 町民による自律的な竹林・里山整備に係る活動が持続的な活動へとつながり、町内の竹林・里山の地域における交流拠点としての機能を向上させ、安全性を高める。これらを通じ若年層や親子が森や緑と親しむ場として、活用している姿が期待できる。	
【効果を発揮させるための工夫・取組】 これまで実施してきた「森林環境教育事業 (あさひ竹プロジェクト) により、町民の有志の方々との密なコミュニケーションを続けてきたことにより、彼らの意見を十分に反映した制度設計となり、効果的な補助事業の実施につながった。	
【新たな対策・視点及び改善点】 これまで実施してきた「森林環境教育事業 (あさひ竹プロジェクト) により、町民の竹林に対する関心を喚起した結果、町民主体の団体による自主的な竹林・里山整備の活動がはじまった。当事業は、それらの団体の活動を加速させ、町内の竹林を持続的に整備することを目的に新たに実施したものである。	

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
1	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）					
事業費	349,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			349,000		0	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	3/4以内	上限50万円	

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

・町民主体により組成された、規約等を備え、代表者・会計担当者が明確であり、民主的に運営が行われている団体であること。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	生活環境が向上する2地区 約800戸
期待する波及効果	自主的な里山整備が進み、整備された場所での親子たけのこ掘り体験等の企画に繋がっている

## 【公的関与の必要性】

放置された里山・竹林の問題は所有者個人の問題となりがちであるが、放置竹林等への問題意識を持つ住民による自主的な里山整備を行政が支援することで、里山を地域資源として捉え町民全体で解決を図る機運醸成に繋げる。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

補助事業により購入された物品等は各団体により適切に管理するものとする。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	今後	令和4年度の活動について広報誌にて活動報告記事を7月に掲載予定
HP掲載	今後	令和4年度の活動についてHPにて活動報告記事を7月に掲載予定

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり 写真を添付

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

有志団体では補助金によりチェーンソー等の購入が進んでおり、効率的な里山整備、モチベーションアップに繋がっている。



第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山・竹林環境保全支援事業(あさひ竹プロジェクト)
-----	---------------------------

7の(1). 写真



写真1  
埋縄農家組合 活動状況



写真2  
埋縄農家組合 活動状況



写真3  
小向里山保全会 竹切の翁 活動状況



写真4  
小向里山保全会 竹切の翁 活動状況



写真5  
埋縄農家組合による整備実施個所で採れたタケノコの地元スーパーでの販売状況



写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
2	里山・竹林環境保全用機器貸出事業 (あさひ竹プロジェクト)					
事業費	2,194,618 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,194,618		0	

1. 事業の目的	
あさひ竹プロジェクトの一環として、作業効率を飛躍的に向上させる樹木粉碎機 (チップパー) を町が購入し、自主的な竹林整備を行う団体等に貸し出すこと等により、町内の竹林・里山を適正に管理し、安全性を高め、生活環境を向上させる。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】 ・町内の地域団体が自主的に里山や竹林を整備するために必要な樹木粉碎機を町が購入し、貸し出す。	
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 柿地区農家組合、小向里山保全会 竹切の翁	
【実施個所及び箇所数】 柿地区の竹林、小向地区の里山 計2箇所	
【事業量】 チップパー：1台購入 粉碎した竹：1090本	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】 町民による自律的な竹林・里山整備が促進され、安全性を高めるとともに生活環境が向上する。	
【効果を発揮させるための工夫・取組】 これまで実施してきた「森林環境教育事業 (あさひ竹プロジェクト)」により、町民の有志の方々との密なコミュニケーションを続けてきたことにより、彼らの意見を十分に反映した機器の選定に繋がった。コロナ禍等による不安定な物流の影響を受け、納品が年度後半となったが、短期間においても積極的な活用が図られた。また、副産物として生じる竹粉についても町民とともに効果的な活用方法を模索する中、農業利用の一環として田んぼへの散布が実施された。	
【新たな対策・視点及び改善点】 これまで実施してきた「森林環境教育事業 (あさひ竹プロジェクト)」により、町民の竹林に対する関心を喚起した結果、令和3年度に町民主体の団体による自主的な竹林・里山整備の活動がはじまった。当事業は、整備に当たり最大のボトルネックとなる竹木の搬出を不要とし、現地で粉碎処理することにより作業効率を大幅に向上させるものとして新規に実施するものである。	

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
2	里山・竹林環境保全用機器貸出事業（あさひ竹プロジェクト）				
事業費	2,194,618 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,194,618		0

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	その他	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

近隣自治体等の同種機械の調達業務において入札実績または落札実績がある3者による入札による

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	生活環境が向上する2地区 約800戸
期待する波及効果	自主的な里山整備が進み、副産物として生じた竹チップの農業利用の一環として、田んぼに散布しコメの生育向上、食味向上、肥料低減等の効果検証が始まっている。

## 【公的関与の必要性】

樹木粉碎機は里山整備の大幅な作業効率向上に繋がるが、高価で特殊な機械であり住民や団体が自ら購入することは難しいため。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

購入した機器は役場にて管理する。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示	実施前・中・後	購入した機器にロゴマークを貼り付け
その他	実施前・中・後	借用団体に対し、貸出時に「みえ森と緑の県民税」を活用している旨を伝

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり 写真を添付

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

団体構成員の一部から、本当に効果的なのか懐疑的な声が上がったが、初回の利用後には想像以上に効果的だったとの反響があり、積極的な利用が進んだ。スクリーン活用により微細な竹粉の生成も可能であり発酵した竹粉の田んぼへの散布が実現した。農業者からは肥料高騰の環境下において期待が持たれている。



## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山・竹林環境保全用機器貸出事業 (あさひ竹プロジェクト)
-----	-------------------------------

## 7の(1). 写真



写真1

柿地区農家組合 チッパー活用状況



写真2

柿地区農家組合 粉碎後の竹粉



写真3

柿地区農家組合 竹粉の保管・発酵



写真4

柿地区農家組合 発酵後の竹粉の田んぼへの散布



写真5

小向里山保全会 竹切の翁 チッパー活用状況



写真6

みえ森を活用していることを示すシール等

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境教育事業 (あさひ竹プロジェクト)					
事業費	2,038,742 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,746,182	292,560	0	

## 1. 事業の目的

あさひ竹プロジェクトの一環として、竹林面積割合が県内一である特徴を活かし、竹を地域資源として見つめ直し、竹を通じた新旧住民の交流を生み出し、町全体で竹・竹林の活用や課題解決に向けた関心を喚起することを目的とする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

- ①町民が集う場 (ふれあいパーク) にて竹あかり展示を実施した。
- ②竹あかりを作製するワークショップや工具を貸出し自宅で作る「おうちで作ろう、竹あかり！」を実施した。
- ③町民主体により竹の花挿しを作製し、町民の協力を得て東海道の設置する取組を支援した。
- ④竹で人が乗れる駕籠 (かご) を作製するワークショップ「竹駕籠づくりワークショップ」を開催した。
- ⑤竹で作った水鉄砲で戦う竹水鉄砲合戦を開催した。
- ⑥竹テント作製ワークショップを開催した。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

朝日町 (竹の花挿しの取組のみ朝日まちなみ検討会が実施)

## 【実施個所及び箇所数】

5箇所 (ふれあいパーク、東海道沿い、公民館、朝日小学校、保健福祉センター)

## 【事業量】

展示イベント来場者数延べ1,000人程度、各ワークショップ参加者数合計105名、竹あかり道具貸出23件

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

三重県一竹林面積割合が高い当町において、子ども、親子、地域住民が竹の魅力に触れることをきっかけに、朝日町の竹・竹林への理解を深め住民主体による自律的な竹林整備への参加者・協力者数を増やす。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

コロナ禍により予定通りの事業推進が難しい面もあったが、竹に関する多様な取り組みを実施できた。完成した竹駕籠、竹テント、竹の花挿しは秋のイベント「東海道まつり」においても活用し、広く町民に取り組みを知らしめることができた。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

竹テント、竹駕籠は完成品の継続的な利用を見据えた新しい取り組みである。竹水鉄砲合戦の取り組みは、竹プロジェクトを教育委員会に横展開した新たな取り組みであり、子ども会事業の一環として実施した。

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法 (委託 (請負) 先、補助対象者及びその選定理由)】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
直営	その他	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

・専門性の高い竹あかりの演出・展示については、県総合文化センター等での実績が豊富な県内事業者を選定 (1者随契)

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）					
事業費	2,038,742 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,746,182	292,560	0	

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	展示イベント来場者数延べ1,000人程度、各ワークショップ参加者数合計105名、竹あかり道具貸出23件、竹の花挿し設置協力60軒（小向地区の東海道沿い民家）
期待する波及効果	これまでの取組において町民の竹・竹林への関心は確実に高まっており、既の実現した里山整備団体への参加者促進効果が期待される。また、竹テントWSの実施にあたり四日市大学関係者と繋がり、四日市において自主的な竹テントづくりを目的とした団体が設立された。既に繋がりがある桑名市の桑竹会との連携も含め、北勢地域における竹林・里山整備の更なる機運醸成が期待される。

## 【公的関与の必要性】

竹林の問題は竹林所有者個人の問題となりがちであるが、竹や竹林の魅力に触れ、関心を持つきっかけを行政が作ることで竹林と無関係である住民も含めて竹林を地域資源としてとらえ、町民全体で解決を図る機運醸成に繋げる。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

購入した工具類等については引き続き役場により適切に管理する。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	竹あかり会場にて竹製ポールを使ったのぼりを設置
HP掲載	実施前・中・後	各企画開催前や開催中、開催後にHPに記事掲載
アンケート実施	実施中	各企画開催時にアンケート実施
広報誌掲載	実施前	各企画について案内する記事を広報誌に掲載
TV（行政チャンネル）	実施前・中・後	地元ローカル局（Cnet）にて各企画について紹介する番組を放送
その他	実施中	新聞等にて各企画について紹介する記事掲載
パネル展示	実施後	完成した竹駕籠を紹介するパネルを作成し、町資料館に常設
その他	実施後	秋のイベント時に竹テントを利用してブース出展し、竹プロジェクトの取り組みを紹介したほか、竹駕籠試乗、竹の花挿し絵付け体験を実施

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり 写真、新聞記事等を添付

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

例年に引き続き、各アンケートの結果は良好である。また、秋のイベント時のブース出展により、竹テント、竹駕籠、竹の花挿しのいずれに対しても町民の関心が高いことが確認できた。



## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育事業 (あさひ竹プロジェクト)
-----	-----------------------

## 7 の (1) . 写真



写真1

竹あかりの展示inふれあいパーク



写真2

竹あかりの展示inふれあいパーク のぼり設置



写真3

イベント時の竹の花挿し絵付け体験



写真4

竹テントづくりWS



写真5

竹駕籠づくりWS



写真6

イベント時の竹駕籠試乗体験

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育事業(あさひ竹プロジェクト)				

7の(2). その他の資料

令和4年度PEEK-A-BAMBOO!あさひ竹プロジェクト  
竹駕籠(たけかご)づくりワークショップ  
9/10<sup>±</sup>  
☎059-377-5658

江戸時代の庶民の乗り物竹駕籠(たけかご)を朝日町の竹を使って作ります。完成した竹駕籠は朝日町資料館に展示、東海道に関するイベント時には実際に人を乗せて活用する予定です。



時 13:00~15:00  
場 朝日町役場2階大会議室  
料 無料 他 定員20名 持物/作業用手袋  
申 朝日町産業建設課設置の申込書またはWEBより申込  
問 朝日町役場産業建設課 [www2.town.asahi.mie.jp](http://www2.town.asahi.mie.jp)

東海道五十三次に描かれた竹駕籠

竹駕籠づくりWS記事(よっかいちai9月号)

2022年8月24日の記事

## みんなで「竹駕籠」作ろう 朝日町 来月10日にワークショップ

◇ 地元行政 三重 イベント



【四日市】三重県朝日町は9月10日、人を乗せて運ぶ「竹駕籠(たけかご)づくりワークショップ」を同町役場で開く。

同町は、森林面積に占める竹林面積の割合が県内で最も多いことから、地域資源の竹を見つめ直して、町民らに竹や竹林に対...

竹駕籠づくりワークショップ新聞記事の一部(中部経済新聞R4.8.22)

竹あかりの展示 in ふれあいパーク  
開催中~1/28<sup>±</sup>  
☎059-377-5658

朝日交番隣地のふれあいパークで「竹あかりの展示inふれあいパーク」が開催。冬の夜を彩る幻想的な竹あかり。あたたかくしておでかけください。



去年のイベントの様子

時 日の入りとともに点灯、日の出とともに消灯  
場 朝日町ふれあいパーク(三重郡朝日町榊)  
(JR朝日駅徒歩10分)  
料 無料  
問 朝日町産業建設課

竹あかりの展示inふれあいパーク(よっかいちai1月号)

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育事業(あさひ竹プロジェクト)
-----	----------------------

## 7の(2). その他の資料 町公式HP記事(竹あかりの展示 in ふれあいパーク)

「竹あかりの展示 in ふれあいパーク」を開催しました!

更新日: 2023年2月1日

令和2年度からスタートしたPEEK-A-BAMBOO!あさひ竹プロジェクト。竹への関心を高めることを目的に様々な事業を開催しています。



PEEK-A-BAMBOO!あさひ竹プロジェクト公式ロゴマーク

令和4年6月に新設された朝日交番の隣地である「ふれあいパーク」にて、令和4年12月から令和5年1月にかけて「竹あかりの展示 in ふれあいパーク」を開催し、大好評のうちに終了いたしました!ここでは、町民の方が作製された作品も含め、冬の夜を彩った幻想的な竹あかりの様子を紹介します。



令和3年度の「竹あかりの展示 in 縄生桜並木」に引き続き、多くの方から「大変よかった」、「よかった」というアンケートの回答がありました。今後も開催時期、場所を調整しながら継続的な開催を検討してまいります。

なお、この事業は「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しました。



みえ森と緑の県民税公式ロゴマーク

関連リンク

[PEEK-A-BAMBOO!あさひ竹プロジェクトの始動について](#)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	森と緑とふれあう環境づくり事業 (幼保一体化施設)					
事業費	1,993,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,493,200	500,000		

1. 事業の目的	
<p>公共施設 (幼保一体化施設) の園庭を緑化することにより、幼児教育の場において園児が緑にふれあい、森や草木を大切にすることを養うための環境をつくることを目的とする。</p>	
2. 事業実績概要	
<p>【事業内容】 幼保一体化施設 (あさひ園) の芝生の維持管理 (平成28年度~30年度みえ森交付金を活用して緑化した芝生)</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 朝日町</p> <p>【実施個所及び箇所数】 1箇所</p> <p>【事業量】 芝生面積 (あさひ園) 延べ1,286㎡</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p>【事業実施により期待される効果】 裸足で芝生の上で遊ぶ園児もおり、芝生や緑の心地よさの実感に繋がる。また、それらの体験からも草木を大切にすることを養う。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】 あさひ園は約400名の園児を抱える県内有数のマンモス園であり、多数の園児が日常的に走り回る園庭に芝生は劣化が激しいため、区画分けをして計画的に芝生の維持管理を図っている。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】 新たにあさひ園通信「えんだより」にみえ森を活用して芝生を維持管理していることを紹介する記事を掲載した。</p>	

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）				
事業費	1,993,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,493,200	500,000	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

令和2年度から実施している長期的な維持管理のため昨年度受託者である地元造園業者に委託（1者随契）

## 【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	園児、職員等約500名
期待する波及効果	子どもたちはもとより、保護者にとっても最も身近な緑とのふれあいにつながる

## 【公的関与の必要性】

町有施設の整備であるため

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町有施設の整備であるため、今後も引き続き担当課により適切に管理する。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	みえ森を活用して芝生整備をしている旨を記載した記事を掲載している
標識・標柱等設置	実施前・中・後	入り口付近にみえ森を活用して芝生を維持管理している旨を記載した看板を設置している。
学校だより等掲載	実施後	「えんだより」にみえ森を活用して芝生整備をしている旨を記載した記事を掲載している

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり えんだより、HP記事

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

毎日多くの園児が園庭を利用しており、時には裸足で走り回ることもあり芝生の心地よさを肌で感じていると思われ、保育士や保護者からも好評である。

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町
------	-------------------	-----	-----

事業名	森と緑とふれあう環境づくり事業 (幼保一体化施設)
-----	---------------------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

## 幼保一体化施設 (あさひ園) の芝生の維持管理

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
工事請負費	芝刈り	m <sup>2</sup>	4800.00	35	168,000	
工事請負費	施肥	m <sup>2</sup>	3600.00	33	118,800	
工事請負費	エアレーション	m <sup>2</sup>	2400.00	35	84,000	
工事請負費	張芝工	m <sup>2</sup>	200.00	1,350	270,000	
工事請負費	鋤取り	m <sup>3</sup>	20.00	1,754	35,080	
工事請負費	トラック運搬	m <sup>3</sup>	20.00	2,622	52,440	
工事請負費	建設廃棄物受入料金	m <sup>3</sup>	20.00	2,820	56,400	
工事請負費	除草剤散布	m <sup>2</sup>	2400.00	40	96,000	
工事請負費	モニュメント粒剤	袋	2.00	11,250	22,500	
工事請負費	アージラン乳剤	本	2.00	4,950	9,900	
工事請負費	ザイトロン液	本	2.00	6,750	13,500	
工事請負費	共通仮設費	式	1.00	100,000	100,000	
工事請負費	現場管理費	式	1.00	437,000	437,000	
工事請負費	一般管理費	式	1.00	348,380	348,380	
工事請負費	消費税	式	1.00	181,200	181,200	
合計					1,993,200	

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑とふれあう環境づくり事業 (幼保一体化施設)
-----	---------------------------

7 の (1) . 写真



写真1  
園庭に設置されている看板



写真2  
園庭で遊ぶ児童



写真3  
園庭で遊ぶ児童



写真4



写真5



写真6



第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑とふれあう環境づくり事業 (幼保一体化施設)
-----	---------------------------

## 7 の (2) . その他資料

町公式HP記事 (幼保一体化施設)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税を利用して

更新日 : 2023年3月20日

あさひ園では「みえ森と緑の県民税」を利用して、園庭の芝生の維持管理をさせていただきました。

園庭には、芝生を中心に、できるだけ樹木や植物を多く植え、子どもたちで育てることで、緑の大切さを伝えています。

子どもたちは、やわらかく、水はけの良い天然芝のうえで元気いっぱい遊び、屋内では木や緑に関する絵本を読み、森や緑の大切さを学んでいます。

[あさひ園の様子 \(PDF/939KB\)](#)

## このページに関する問い合わせ先

あさひ園

電話番号 : 059-377-5671

ファクス : 059-377-5673

リンク先PDFファイル





# 川越町

## 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

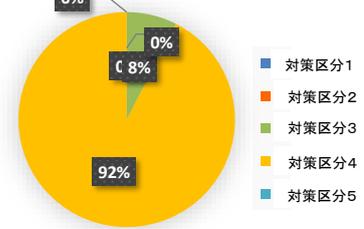
市町名	川越町	三重県
人口 (人)	15,283	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	14.3%	12.4%
森林面積 (ha)	0.00	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	0.00	348,833.49
森林率 (%)	0.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	0.3	10.1

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



## 2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	川越中学校自然教室	986,718	532,000			532,000			
2	3	川越北小学校自然教室	562,447	387,000			387,000			
3	3	川越南小学校自然教室	468,747	295,000			295,000			
4	4	川越北小学校図書室机・椅子等整備事業	4,125,000	3,978,000				3,978,000		
5	4	川越町あいあいホール改修事業	513,678,000	10,919,000				10,919,000		
				0						
				0						
				0						
計			519,820,912	16,111,000	0	0	1,214,000	14,897,000	0	0

## 3. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>当町は三重県の北部に位置し、北は員弁川、東は伊勢湾に臨む地形であり森林を有していない町です。人口は増加しており、年少人口割合は県平均を上回っている状況にあります。この状況において、学校施設への木製備品の設置や自然の中で森林や木材について学ぶ機会をもつことで、森林や緑を大切に思い育む人づくりを進めます。また、公共施設の木質化を通じて、町民が森林や木材について、学びふれあう場を提供することで森林教育を行います。</p>
事業実施により期待される効果
<p>緑豊かな環境の中で、集団生活を通じ学校生活における「仲間づくり」や「信頼関係」の土台を築き、自然と触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ機会を増加させることができます。また、身近な公共施設への県産材の使用や、学校で木製品に触れることにより、三重県の森林や木材への関心を深めてもらい木の温もり、肌触りや香りを身近に感じることができ、木材利用に対する理解や関心が深まる。</p>
情報発信への取組
<p>学校だよりや学年通信を活用し、自然教室を通じた子供の成長や取組について、情報を提供した。また、町HPを活用し、みえ森と緑の県民税市町交付金の活用実績について、情報発信した。</p>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑲ 基金積立 (木材利用等)	1,858	1,858
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	1,858	1,858

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	川越中学校自然教室					
事業費	986,718 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			532,000	0	454,718	

1. 事業の目的						
<p>野外体験活動を通じて、自然に親しみ自ら自然体験を求めていくきっかけをつくるとともに          集団生活の中で人間的なふれあいを深めることで、心身ともに健全で森や緑の大切さを知る青少年の          育成を図る。</p>						
2. 事業実績概要						
【事業内容】						
<p>中学1年生を対象に、鈴鹿市で1泊2日の集団生活を送る中で、オリエンテーリングや自然観察など自然と触れ          合う活動を実施する。</p>						
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】						
川越町						
【実施個所及び箇所数】						
1 箇所 (三重県立鈴鹿青少年センター)						
【事業量】						
自然教室 1 回						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進める うえで有効な取組であるか。】						
【事業実施により期待される効果】						
<p>緑豊かな環境の中で、集団生活を通じて、社会性を育むことができ、さらに自然に触れ合うことで、身近な          木や緑に親しむ習慣が身についた。</p>						
【効果を発揮させるための工夫・取組】						
<p>屋外活動では、昼間は屋外での体験を中心に学習し、夕方は屋内で体験のふりかえりを行うことで一層の学          習効果の向上を図った。</p>						
【新たな対策・視点及び改善点】						
<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じて制限のある中ではあるが、今後も継続的に自然教室を実施すること          により、森林や緑と接し、生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図ることを目的として実施する。</p>						

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	川越中学校自然教室					
事業費	986,718 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			532,000	0	454,718	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
その他	その他	その他		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

直営のため該当しない。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	生徒148人
期待する波及効果	家族や友人などと自然と触れ合う機会を求めるきっかけとなる

【公的関与の必要性】

中学校の授業の一環であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等でなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	町民
学校だより等掲載	実施後	生徒、保護者

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

自然教室を通じて、クラスや学年と深く交流し、成長と課題のどちらも感じられ、これを日常生活にどのように活かしていくか、振り返りが必要であると思われる。



第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越中学校自然教室
-----	-----------

## 7 の (1) . 写真



写真1

自然観察



写真2

自然観察



写真3

フォトフレームづくり



写真4

清掃活動



写真5



写真6

写真5

写真6

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越中学校自然教室
-----	-----------

## 7の(2). その他資料

## 学校だより：四気折々



四気=川越中学校訓「やる気 ほん気 こん気 けん気」  
学校教育目標『自立した生徒の育成 - 自律・調和・創造 -』のもと

## 四 気 折 々

川越町立川越中学校  
学校だより 第8号  
令和4年5月31日

### 今年度の学校行事・・・感染対策と併せて行事を実施します。 1年生『自然教室の成果 これからに“つなげる”』

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多くの制限の中、中止や変更を余儀なくされてきた学校行事。今年度は、感染症対策を行いながら『行事を実施します』(時間短縮や内容の精選をしながら)・・・

【自然教室】1年生では5月20日(金)・21日(土)の2日間、三重県立鈴鹿青少年センターにて「自然教室」を実施しました。まだまだコロナ感染症拡大の懸念される中、大きなケガ・事故なく、安心・安全に宿泊研修を終えることができたことが何よりの報告です。この行事のために毎日丁寧に時間をかけて、1つ1つの取り組みに『学ぶ目的』をしっかりと考え取り組んでいた1学年の先生方、自然教室に向けて準備と子どもたちを元気に送り出していた保護者の皆様へ感謝とお礼の言葉がありません。そして、2日間全力で取り組み、仲間と協力し合って、一生懸命に考え合って取り組んだ1年生の生徒のみなさんに『ありがとう』。無事、元気に川越町に戻ってきてくれて『ありがとう』の言葉を送ります。

## 【1年生学年目標】

『Power 全力・協力・思考力』

< 室長会の思い >

- ① 周りからの信頼
- ② クラスを越えて プラス発言を多く
- ③ 「目標」でなく「当たり前」
- ④ 協力して課題に挑む

この目標を決定する過程には、「あなたがクラスのためにできること」を一人ひとりが意見を出し合うことから始まり。その意見から「クラス目標」が決定し、そのクラス目標をもとに、室長会の思いを大切に「学年目標」が披露されました。自然教室は、この決定された学年目標がそのまま「自然教室の目標」にもつながるものでした。

2日間の活動内容には、「すべてが学び」であり、「すべての活動は学年目標につながる」。

このことを1年生全員が意識し合って取り組んだ2日間になりました。

以下は1年生の活動から一部抜粋して紹介します。

【自然観察】理科の授業の一環として、鈴鹿青少年センター周辺の自然環境にて、「自然の中の生物をスケッチ」しました。学習の目的を理解して、班ごとにまとまって取り組んでいました。

笑顔で先生に出来栄を報告する姿が印象的でした。



自然教室前日の事前指導の中で「1年生室長会」から体育館スクリーンに大きく映し出された『1年生学年目標』。室長会のメンバーから各クラスごとの考えや、クラスごとの考えや思いを含め、目標作成にいたった室長会の思いをしっかりと伝えてくれました。【写真は室長会メンバーの集合写真】です。



【ダンス教室】学年主任の石川先生の教え子にあたる「Yuka先生」にダンス講師として熱心にそして楽しく指導いただきました。ヒップホップの音楽に合わせて全員にダンスの楽しさをいっぱい伝えていただきました。時間とともに全力で身体を動かし、笑顔でリズムにあわせて動きを楽しんでいました。表面の写真のように、先生も一緒に取り組めました。自分の身体を、そして、心をめいっぱい開放して取り組んだ時間でし。子どもたちの最高の笑顔とYuka先生、1年の先生、生徒みんなの一体感が強く印象に残りました。



## 【クラストーク】

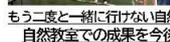
自然教室の2日間の中でも、一番大切にしたい取組でもある「クラストーク」。

一生懸命に自分の想いを伝える姿、話をしている人の横でうなづく姿、言葉が詰まってしまったときに「大丈夫だよ」と声をかける仲間の姿、自然の中の夜の研修室。

入学後、学年通信、クラス通信を柱として「想いをつなぐ」先生たち。生徒一人ひとりの様々な想いをクラスで共有し、1年生全員で共有しながら「仲間づくり」をすすめてきました。生徒の言葉(クラス通信から抜粋して)「クラストークをしました。自己紹介のときは話せなかったけど、今回は話せました。自分の気持ちが伝えられてうれしいです」。



最後に1年クラス通信から抜粋した生徒の言葉から。「自然教室で私もクラスも変わってきた。みんなのことがいっぱい知れた自然教室。このメンバーではもう二度と一緒に行けない自然教室。自然教室で私の居場所を見つけることができたと思いました。自然教室での成果を今後につなぎ、課題も今後につなぐ。そこにはいつも「仲間づくり」とともに、



川越中学校での授業の様子(学びの場) ※5月6日(金)の授業から  
川中版『学(まな) viva (ビバ)』Ver.2 谷先生の授業実践

## 【1年3組 道徳】の授業から

◆ 授業担当：谷 賢太郎 先生

◆ 授業内容：「ごめんね おばあちゃん」

～ 道徳は我を言葉化させること～

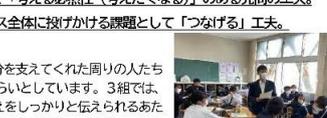
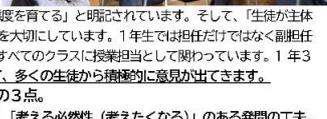
『道徳』が授業化され、今年度で4年目を迎えます。

道徳授業では、「道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てる」と明記されています。そして、「生徒が主体的に深く考えること」「生徒が本音で語り合えること」を大切にしています。1年生では担任だけでなく副担任も含めて、担任として受け持つクラスだけでなく、すべてのクラスに授業担当として関わっています。1年3組では谷先生が授業する道徳。谷先生の発問に対して、多くの生徒から積極的な意見が出てきます。

その中で、『谷先生が重視していたこと』は次の3点。

- ① 生徒が「自分事として考える」ように、そして、「考える必然性(考えたくなる)」のある発問の工夫。
- ② 生徒からの意見を否定せず、その意見からクラス全体に投げかける課題として「つなげる」工夫。
- ③ 安心して話せる雰囲気づくり。

この授業内容「ごめんね おばあちゃん」では『自分を支えてくれた周りの人々への感謝の気持ち』について気づき、考えることをねらいとしています。3組では、みんなの意見をしっかりと聴くことができ、自分の考えをしっかりと伝えられるあたたかい雰囲気印象的でした。一人ひとりがしっかりと考える時間。班で語り合いながら考える時間。その中で、仲間の意見や考えから、自分の考えを見直したり、自分の家族のことを考えたり。3組はみんなの意見をしっかりと受け止めてくれる仲間がいっぱいでした。



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
事業名	川越中学校自然教室				

7 の ( 2 ) . その他資料

HP : 自然教室

**【1年生】自然教室 出発式**

いよいよ本日から自然教室です。  
 出発式を終え、バスに乗り込みました。  
 元気よく行ってきます！

**【1年生】自然観察**

センターに着き、まずは自然観察を行なっています。  
 みんな、ルーペを使い、しっかりスケッチをしております。  
 タンポポが多いかな…？  
 班員と協力して、観察をしましょう！



2022年05月20日更新 | 1年生

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	川越北小学校自然教室					
事業費	562,447 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			387,000	0	175,447	

1. 事業の目的						
<p>集団生活の中で、自分の役割を果たし、互いに協力し合うことにより、仲間同士のつながりを深めるとともに、自然に親しみ自ら自然を大切に作る人づくりを進める。</p>						
2. 事業実績概要						
【事業内容】						
<p>小学5年生を対象に、四日市市で1泊2日の集団生活を送る中で、ウォークラリーや焼き杉づくりなど自然と触れ合う活動を実施する。</p>						
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】						
川越町						
【実施個所及び箇所数】						
1 箇所 (四日市市少年自然の家)						
【事業量】						
自然教室 1 回						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
【事業実施により期待される効果】						
<p>緑豊かな環境の中で、集団生活を通じて、社会性を育むことができ、さらに自然に触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ習慣が身についた。</p>						
【効果を発揮させるための工夫・取組】						
<p>屋外活動では、昼間は屋外での体験を中心に学習し、夕方は屋内で体験のふりかえりを行うことで一層の学習効果の向上を図った。</p>						
【新たな対策・視点及び改善点】						
<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じて制限のある中ではあるが、今後も継続的に自然教室を実施することにより、森林や緑と接し、児童の心身ともに調和のとれた健全な育成を図ることを目的として実施する。</p>						

## 令和4年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	川越北小学校自然教室					
事業費	562,447 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			387,000	0	175,447	
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
	その他	その他	その他			
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
直営のため該当しない。						
【主な経費内訳】						
(別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
	受益者	生徒79人				
	期待する波及効果	家族や友人などと自然と触れ合う機会を求めるきっかけとなる				
【公的関与の必要性】						
小学校の授業の一環であるため。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
施設整備等でなく、転用や目的外使用は想定されない。						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
HP掲載	実施後	町民				
学校だより等掲載	実施後	生徒、保護者				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						
自然教室を通じて、初めての体験や自然の中でしか味わえない爽快感を感じながら、仲間と協力する意識をもつことができ、充実したものとなった。						



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越北小学校自然教室
-----	------------

7 の ( 1 ) . 写真



写真1

焼き杉づくり



写真2

展望台からの朝日



写真3

自然の中で朝のつどい



写真4



写真5



写真6

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越北小学校自然教室
-----	------------

7の(2). その他資料

学校だより：メタセコイア

川越町立川越北小学校だより

# メタセコイア

心ゆたかたくましく、自ら進んで学ぶ意欲にあふれた子どもの育成 令和4年12月6日 第22号



三重郡子ども人権フォーラム

11月25日(金)、孤野町庁舎において「三重郡子ども人権フォーラム」が行われました。このフォーラムは、三重郡の小中学校の代表の児童生徒が集まり、人権問題について考え、人権尊重の生き方を高め合うことを目的としています。



本校からは、6年生の2名が参加しました。いじめなどさまざまな人権問題について考えていること、自分たちにできることなど話し合いました。別の学校の子どもたちとの交流は貴重な体験になったと思います。

言葉に言う前に相手に言ったらどんな気持ちになるのかよく考えてから口にするということが大切だと思いました。とてもいい経験になりました。(佐藤真慈斗さん)

いいふんいきで話し合いができました。自分にはない意見を聞いて、成長できたと思います。話したことをいろんなところで伝えられたらいいと思います。(柳瀬菜々美さん)

第2回 学校関係者評価会議

11月24日(木)、第2回学校関係者評価会議がありました。評価委員の5名の方に学校の様子や授業を見ていただき、本校の教育活動についてご意見をうかがいました。



- 授業の様子は全体的に落ち着いた雰囲気、園工の作品もいろいろ工夫してある。
- コロナの対策についてはいろいろと考えられているが、給食の熟食やマスクの着用は今後の状況をもて考えてみてはどうか。
- 子どもたちは、家でゲームやスマホの時間が長い。SNSのトラブルも心配。
- 地域の行事も少なくなってきた。地域ともかわりは大事にしたい。
- 子どもたちのあいさつはもう少ししてほしい。家庭や地域でも進めていきたい。
- 修学旅行、とてもよかったと聞いている。行き先や活動などよく考えてもらった。

5年生 自然教室

5年生は11月29日(火)30日(水)、四日市市少年自然の家で自然教室を行いました。安定しない天候の中、活動内容を変更しながら行いました。「自分たちで考え、創り上げる自然教室にしよう!」という目標をもとに、子どもたちは仲間と協力して、自分の役割を果たしよくがんばりました。保護者の方々には準備物の用意などご協力ありがとうございました。

1日目

ウォークラリー

入所式

焼き杉

2日目

白の出ハイク

レク(モルック、学年レク)

キャンドルファイヤー

朝の集い

野外炊事

道所式

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越北小学校自然教室
-----	------------

7 の ( 2 ) . その他資料

HP : 自然教室

### 自然教室 日の出ハイク

朝いちばんに展望台まで歩きました

みんなで一日のスタートをきるのは気持ちのいいものです。

雲の切れ間から日の出も見ることができました。



### 自然教室 焼杉

木の板に下絵を描き、糸のこぎりでそのかたちに切ります。

そしてガスバーナーの火で杉板を焼きます。

焼き具合もみんな違います。

たわしですすを落として、装飾をしたら出来上がり。

自分の作品をつくるのはとても楽しいです。



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	川越南小学校自然教室					
事業費	468,747 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			295,000	0	173,747	

1. 事業の目的						
<p>集団生活の中で、自分の役割を果たし、互いに協力し合うことにより、仲間同士のつながりを深めるとともに、自然に親しみ自ら自然を大切に作る人づくりを進める。</p>						
2. 事業実績概要						
<p><b>【事業内容】</b>          小学5年生を対象に、四日市市で1泊2日の集団生活を送る中で、ウォークラリーや焼き杉づくりなど自然と触れ合う活動を実施する。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b>          川越町</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b>          1箇所 (朝明溪谷・朝明茶屋)</p> <p><b>【事業量】</b>          自然教室 1回</p>						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>緑豊かな環境の中で、集団生活を通じて、社会性を育むことができ、さらに自然に触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ習慣が身についた。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>屋外活動では、昼間は屋外での体験を中心に学習し、夕方は屋内で体験のふりかえりを行うことで一層の学習効果の向上を図った。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じて制限のある中ではあるが、今後も継続的に自然教室を実施することにより、森林や緑と接し、児童の心身ともに調和のとれた健全な育成を図ることを目的として実施する。</p>						

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	川越南小学校自然教室					
事業費	468,747 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			295,000	0	173,747	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
その他	その他	その他		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

直営のため該当しない。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	生徒 62人
期待する波及効果	家族や友人などと自然と触れ合う機会を求めるきっかけとなる

【公的関与の必要性】

小学校の授業の一環であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等でなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	町民
学校だより等掲載	実施後	生徒、保護者

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

自然の中で木の枝・木の実を拾い創作活動をし、記念となる作品ができた。ウォークラリーも実施され、印象深い



第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越南小学校自然教室
-----	------------

## 7 の (1) . 写真



写真1

焼き杉づくり



写真2

キャンプファイヤー



写真3

自然の中でウォークラリー



写真4

自然の中でウォークラリー



写真5



写真5



写真6



写真6

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越南小学校自然教室
-----	------------

## 7の(2). その他資料

学校だより：川越南小だより

## 川越南小だより



川越町立川越南小学校  
令和4年11月22日発行  
No. 16

学校教育目標 (川越町教育基本方針) 『豊かな心』をもつ子の育成      文責：校長 渡瀬 幹久  
めざす子どもの姿 『一生懸命がんばる子』      めざす学校の姿 『いじめを許さない学校』

### しぜんきょうしつ      ねんせい      きょうりょく      すがた 自然教室での5年生の協力する姿

11月15日16日の自然教室は、<sup>が</sup>天気<sup>に</sup>に恵まれ、<sup>ふつかかん</sup>二日間<sup>たの</sup>を楽しく過ごすことができました。<sup>ねんせい</sup>5年生<sup>の</sup>子どもたちは、<sup>しぜん</sup>自然<sup>なか</sup>の中のウォークラリーやキャンプファイヤー、<sup>やがいすいじ</sup>野外炊事<sup>の</sup>体験を通して、「<sup>たいばん</sup>仲間<sup>と</sup>と助け<sup>あ</sup>合<sup>あ</sup>って<sup>あ</sup>協力<sup>きょうりょく</sup>すること」がしっかりとできていました。特に<sup>やがい</sup>野外炊事<sup>すいじ</sup>では、<sup>まき</sup>薪<sup>か</sup>や<sup>えだ</sup>枯れ枝<sup>は</sup>を<sup>は</sup>運<sup>は</sup>んで<sup>お</sup>火<sup>を</sup>を起<sup>お</sup>こす子<sup>こ</sup>、<sup>お</sup>起<sup>お</sup>こした<sup>あ</sup>火<sup>が</sup>が<sup>はん</sup>ご飯<sup>た</sup>を<sup>か</sup>炊<sup>く</sup>く<sup>な</sup>缶<sup>や</sup>や<sup>か</sup>カレー<sup>鍋</sup>鍋<sup>に</sup>に<sup>う</sup>ま<sup>く</sup>あたるように<sup>くろ</sup>苦労<sup>して</sup>して<sup>ちようせい</sup>調整<sup>する</sup>する子<sup>こ</sup>、<sup>ざいりよう</sup>カレー<sup>の</sup>の<sup>やさい</sup>材料<sup>の</sup>の<sup>てきわ</sup>野菜<sup>を</sup>を<sup>き</sup>手際<sup>よく</sup>よく<sup>き</sup>切<sup>る</sup>る子<sup>など</sup>など、まさに<sup>きょうりょく</sup>「協力<sup>する</sup>する姿<sup>が</sup>が<sup>み</sup>見<sup>ら</sup>れ<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>。

<sup>ふつかかん</sup>たった二日間<sup>で</sup>でしたが、<sup>たいけん</sup>いろいろな体験活動<sup>で</sup>で<sup>きょうりょく</sup>協力<sup>する</sup>することを通して、<sup>ともだち</sup>友達<sup>と</sup>との<sup>か</sup>か<sup>わ</sup>り<sup>を</sup>を<sup>ふか</sup>深<sup>め</sup>め、<sup>こ</sup>子ども<sup>たちは</sup>は<sup>おお</sup>大<sup>き</sup>き<sup>く</sup>成<sup>長</sup>したように<sup>かん</sup>感じました。



にゆうしよしき      しぜん      いえげんかんまえ  
入所式 (自然の家玄関前)



ウォークラリー (展望台で昼食)



や      すぎ  
焼き杉



キャンプファイヤー



やがいすいじ      づく  
野外炊事 (カレー作り)



やがいすいじ      ひ      お  
野外炊事 (火起こし)

※しぜんきょうしつ      かわ      ようす      がっこう      しょうかい  
自然教室の詳細な様子は学校のホームページでも紹介しています。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越南小学校自然教室
-----	------------

7 の ( 2 ) . その他資料

HP : 自然教室

### 自然教室(ウォークラリー)

ウォークラリーも順調に進んでいます。展望台からの眺めはすばらしく、遠く神島まで見えました。展望台では、用意していただいたお弁当をみんなおいしそうに食べていました。



### 自然教室(焼き杉)

ウォークラリーをすべての班がゴールして、次は焼き杉づくりをしました。まずガスバーナーで杉の板を焼いてから水で洗います。それから集めてきた木の枝や木の実などを飾り付けていきます。自然教室の記念に残るすばらしい作品ができました。



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
4	川越北小学校図書室机・椅子等整備事業				
事業費	4,125,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,978,000	0	147,000

1. 事業の目的					
川越北小学校の図書室の机・椅子等を整備し、利用する生徒に森林等の実情や問題について理解を深めてもらい関心を もってもらおう場をつくり木育学習を進めていく。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】 図書室の机・椅子等の木製品を整備し、児童に森林等の実情や問題について理解を深めてもらい関心を持つような場をつくり木育学習を進めていく。					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 川越町					
【実施個所及び箇所数】 1 箇所 (川越北小学校図書室)					
【事業量】 図書室用椅子 W480×D495×H690,760 計45脚 ブックトラックW800×D400×1250 2台 図書室用机 W1800×D600, 900×H600,610,700 計5台 木製書架W1800×D400,480×H895,1250 計					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】  県産材を使用することにより、木の温もり等の良さを感じてもらい、木材利用に対する理解が深まった。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】 児童が日常的に授業や休憩時間等で図書室を利用する際に県産材の木製品に触れる機会が増え森林や木材に対しての親しみを感じ理解を深める。そのため、授業等で森林や木材について、学べる機会を設けた。 今後、森林や木材に関する書籍について期間限定でのコーナーを設置し、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用して整備された木製備品を紹介し、森林・木材に強い関心をもつような展開をしていく。					
【新たな対策・視点及び改善点】 授業や休憩時間等で図書室を利用する際に、みえ森と緑の県民税市町交付金事業での整備をした机や椅子を紹介してもらい、児童に森林や木材について学びふれあう場を創出する。					

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
4	川越北小学校図書室机・椅子等整備事業				
事業費	4,125,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,978,000	0	147,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合			指名競争入札による

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

県内登録業者から県民税の契約実績のある業者を選定し、指名競争入札にて実施。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	生徒513人
期待する波及効果	県産材利用の促進に寄与する。また、児童家族への普及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

公共施設であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

公共施設であるため、転用等が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
その他	実施後	図書室にて、備品整備に関連して、森や緑・自然に関係する書籍を展示し
ロゴマーク掲示 (シール・プレート)	実施中・後	購入設置した備品本体にロゴマーク標示シールを設置。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

実績のある事業者との契約により、品質もよく木製品の印象も良いものとなった。

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町
------	-------------------	-----	-----

事業名	川越北小学校図書室机・椅子等整備事業
-----	--------------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
木製閲覧用机	1800*900*700	台	1.00	190,802	190,802	
木製閲覧用机	1800*600*700	台	2.00	185,645	371,290	
木製閲覧用机	1800*900*600	台	1.00	190,802	190,802	
木製閲覧用机 (円型)	φ 1200*610	台	1.00	206,272	206,272	
木製閲覧用椅子	480*495*760	脚	20.00	48,990	979,800	
木製閲覧用椅子	480*495*690	脚	25.00	48,990	1,224,750	
ブックトラック	800*400*1250	台	2.00	123,763	247,526	
木製書架	1800*480*895	台	1.00	257,840	257,840	
両面傾斜2段書架	1800*460*720/1000	台	1.00	309,408	309,408	
既存椅子等処分費		式	1.00	146,510	146,510	57円端数調整
			合計		4,125,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越北小学校図書室机・椅子等整備事業
-----	--------------------

7 の ( 1 ) . 写真



写真1  
図書室机



写真2  
図書室机

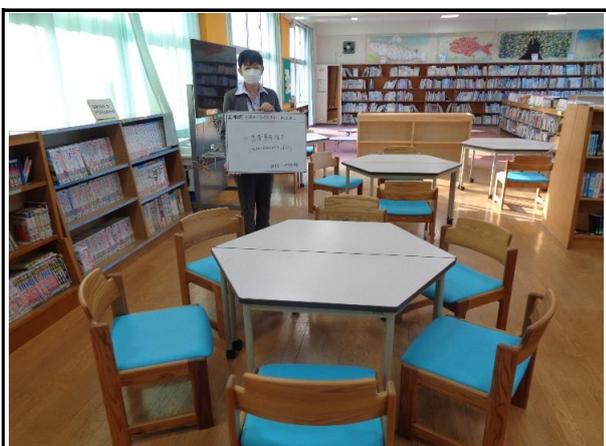


写真3  
図書室椅子



写真4  
ブックトラック



写真5  
書架



写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
5	川越町あいあいホール改修事業				
事業費	513,678,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			846,000	10,073,000	502,759,000

1. 事業の目的					
川越町の施設であり、幅広い年齢層の利用があるあいあいホールのエントランスホール及び 2 階ロビーを一部木質化し、町民を対象にした森林環境教育・木育を行う。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
天井の木質化54.5㎡、腰壁の木質化95.9㎡					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】					
川越町					
【実施個所及び箇所数】					
1 箇所 (あいあいホール)					
【事業量】					
天井の木質化54.5㎡、腰壁の木質化95.9㎡					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
県産材を使用することにより、木の温もりや木の肌触りや香りを身近に感じることができ、木材利用に対する理解が深まった。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
あいあいホール利用者に対し、県産材で木質化された空間を肌で感じ、森林や木材に対しての理解を深めるため、同施設内で県民税に関するパネル展示を行った。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
木質化された空間の質感を維持し、木材の持つ長所・短所について考える場としても活用していく必要がある。					

## 令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
5	川越町あいあいホール改修事業				
事業費	513,678,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			846,000	10,073,000	502,759,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者			一般競争入札による
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
入札公告により応募のあった業者による一般競争入札による				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	施設利用者			
期待する波及効果	県産材利用の促進に寄与する。			
【公的関与の必要性】				
公共施設であるため。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
公共施設の内装木質化であり該当しない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
パネル展示	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取組の一環として、ホールロビーにてパネルを展示した。		
HP掲載	実施後	町民		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
リニューアルに合わせて内装を木質化したことにより、以前との比較により木質化のインパクトは大きいものとなった。				

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町
------	-------------------	-----	-----

事業名	川越町あいあいホール改修事業
-----	----------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
客席天井改修工事						
直接仮設工事		式	1.00		8,765,890	
鉄骨工事		式	1.00		25,104,861	
内部改修工事		式	1.00		51,146,226	
撤去工事		式	1.00		1,024,636	
その他改修工事						
直接仮設工事		式	1.00		2,825,590	
外部改修工事		式	1.00		13,322,591	
内部改修工事		式	1.00		20,879,493	
建具改修工事		式	1.00		8,272,734	
スロープ工事		式	1.00		5,819,947	
撤去工事		式	1.00		1,176,814	
内装木質化工事		式	1.00		18,243,202	
教育センタートイレ改修工事		式	1.00		4,430,694	
あいあいホールトイレ改修工事		式	1.00		9,875,310	
墜落防止用器具費		式	1.00		40,012	
電気設備工事		式	1.00		79,199,000	
機械設備工事		式	1.00		114,236,000	
諸経費		式	1.00		102,617,000	
消費税		式	1.00		46,698,000	
			合計		513,678,000	

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越町あいあいホール改修事業
-----	----------------

## 7の(1). 写真

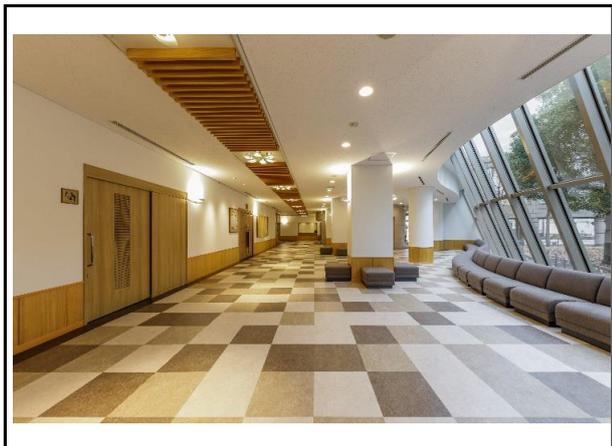


写真1

ホールロビー・通路天井腰壁木質化

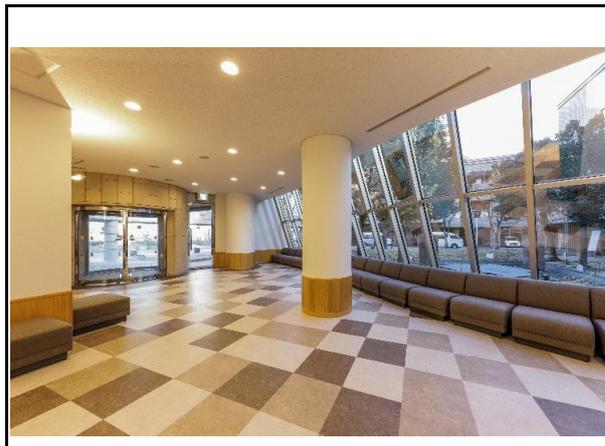


写真2

ホールロビー・通路天井腰壁木質化



写真3

ホールロビー・通路天井腰壁木質化

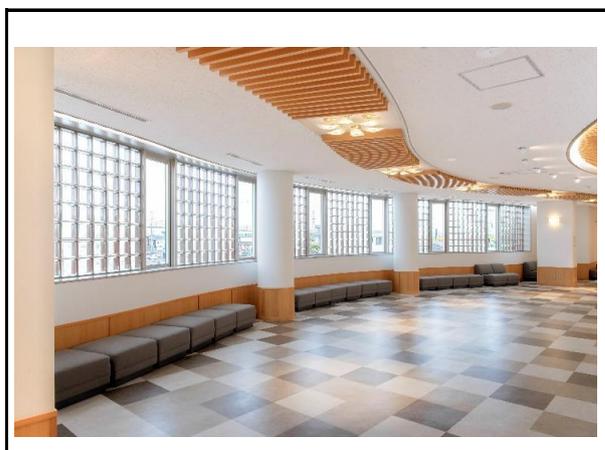


写真4

ホールロビー・通路天井腰壁木質化



写真5

パネル展示状況



写真6

パネル展示状況

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越町あいあいホール改修事業
-----	----------------

## 7 の (2) . その他資料

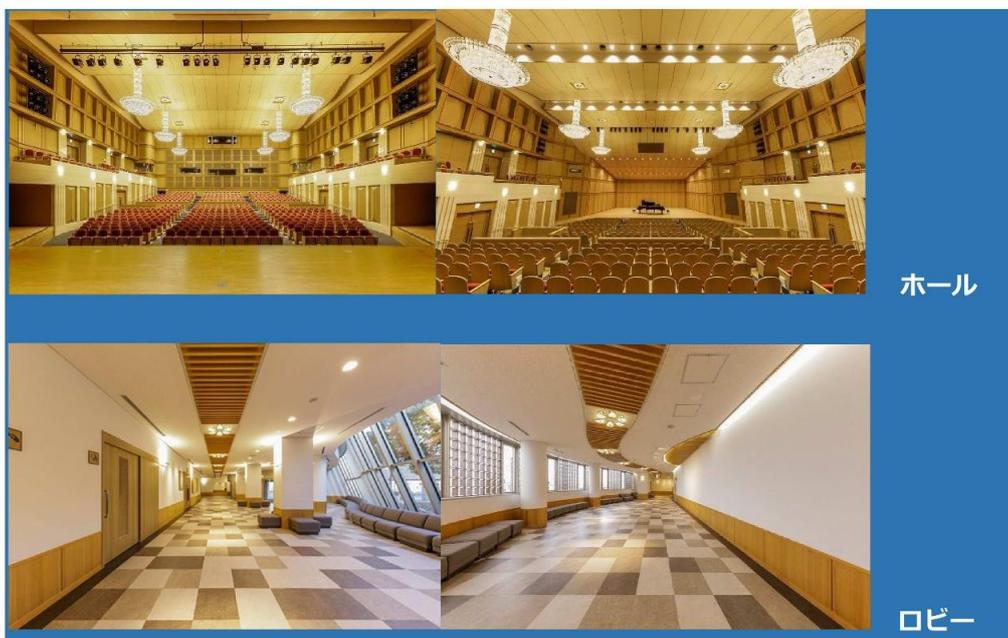
川越町HP: あいあいホールリニューアル

## 川越町あいあいホールがリニューアルオープンしました！

令和 4 年 1 月から大規模改修により休館していた川越町あいあいホールが、工事の完了に伴いリニューアルオープンします。今回のリニューアルでは、耐震性向上のための客席ホールの天井改修をはじめ、バリアフリー化や老朽化した設備の更新等を行い、今まで以上に安全・安心で快適に活用できる施設へと生まれ変わりました。

また、「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用して、ホワイエ（ロビー）の内装に三重県産木材を利用した木質化を行っております。木のぬくもりやあたたかみを感じることができる空間となりましたので、皆さんぜひご利用ください。

### 新しく生まれ変わったあいあいホールをご紹介します！



ホール

ロビー